

平成 26 年度
文部科学省委託調査

高校生の読書に関する意識等調査 報告書

平成 27 年 3 月

株式会社浜銀総合研究所

目次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査検討委員会の設置・開催	1
3. 調査実施方法	1
4. 回答者の属性	3
5. 本報告書の構成、分析の視点	5
第2章 高校生の読書習慣の実態（全体概要）	
第2章 高校生の読書習慣の実態	11
(1) 読書に対する意識	11
(2) 1日あたりの読書時間	12
(3) 1か月あたりの読書冊数（不読率）	13
(4) 1か月の読書冊数が0冊であった生徒が本を読まなかった理由	14
(5) 本を読む習慣がない生徒の特徴	15
(6) 夏休み期間の読書冊数	16
(7) 幼少期からの読書量の変化	17
(8) 本を読む場所	18
(9) 本の選び方	19
(10) 本の入手方法	20
(11) 図書館等の利用状況	21
(12) 読書の効果に対する認識	22
(13) 本をもっと読みたいようになるために必要・重要と考えること	24
(14) 電子書籍の利用状況	26

第3章 高校生の不読の背景・理由や求められる方策等に関する分析（テーマ別の詳細分析）

第3章第1節 高校生の読書量に影響する諸要因に関する分析

（1か月の読書冊数の多寡や不読率には、どのような要因が影響している？）.. 33

（1）分析の枠組み・結果の概要..... 33

（2）個人属性等に関する要因と不読率との関係..... 34

（3）家庭環境との関係..... 40

（4）学校・図書館環境との関係..... 45

第3章第2節 読書量と読書習慣の関連性に関する分析

（読書量の違いによって、読書の仕方はどのように異なるだろうか？）..... 53

（1）分析の枠組み・結果の概要..... 53

（2）1か月の読書冊数別の読書習慣の違い..... 54

第3章第3節 属性等別の不読の理由に関する分析

（高校生はなぜ本を読まないのだろうか？）..... 57

（1）分析の枠組み・結果の概要..... 57

（2）個人に関する要因別の特徴..... 58

（3）読書量の変化、夏休み期間の読書量別の特徴..... 60

第3章第4節 高校生の読書量を増やしていくための方策に関する分析

（どうすれば高校生はもっと本を読みたくなるだろうか？）..... 63

（1）分析の枠組み・結果の概要..... 63

（2）1か月の読書冊数別の回答の違い..... 64

（3）本を読まない理由別の特徴..... 65

（4）自由記述の回答から把握される特徴..... 69

第4章 まとめ・考察..... 74

参考資料..... 79

1．調査票..... 81

2．単純集計表..... 100

第 1 章

調査概要

第1章 調査概要

1. 調査目的

文部科学省「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(平成25年5月17日：閣議決定)では、子供の読書活動における課題として「小学生、中学生、高校生と学校段階が進むにつれて読書離れが進む傾向」にあること、「地域における取組の差が顕著」であることが指摘されている。

本調査は、このような状況をふまえ、今後有効な対応方策を検討し、読書活動のより一層の推進を図る観点から、他の学校段階に比べて不読率が高い高校生の読書の実態を把握することを目的として実施した。なお、調査は、文部科学省スポーツ・青少年局青少年課からの委託により、株式会社浜銀総合研究所が実施した。

2. 調査検討委員会の設置・開催

本調査の実施にあたり、読書活動に関する専門的知識を有する有識者等からなる調査検討委員会を設置し、調査手法・内容等について、指導・助言を受けた。なお、調査検討委員会は、平成26年10月2日、平成27年1月26日、平成27年3月12日の計3回開催した。

<調査検討委員会委員(50音順)>

氏名	所属
(座長) 秋田 喜代美	東京大学大学院教育学研究科 教授
今井 福司	白百合女子大学文学部 講師
下田 祐介	神奈川県立三浦臨海高等学校 総括教諭
千葉 直樹	昭島市生涯学習部市民図書館 係長
森田 盛行	全国学校図書館協議会 理事長

3. 調査実施方法

(1) 調査の対象

学校が立地する地域や学校設置主体、学科の別のバランスを考慮した上で、全国から無作為に抽出した150校の高等学校、ならびにその生徒・保護者を調査対象とした。

各調査対象校に対しては、「生徒向け調査」「保護者向け調査」「学校向け調査」の3種類の調査について、それぞれ、以下のような方法での調査実施を依頼した。

生徒向け調査	<ul style="list-style-type: none"> 当社から調査対象とする学科を指定し、その学科の第2学年のいずれか1学級を任意で選んでいただいた上で、その学級の生徒全員を対象とした ホームルーム等の時間を活用して校内での実施を依頼した
保護者向け調査	<ul style="list-style-type: none"> 生徒向け調査の対象とした学級の生徒の保護者を対象とした 調査票は生徒を通じて各家庭に持ち帰っていただいた上で、各家庭より個別に返信用封筒により返信を依頼した
学校向け調査	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象校の管理職の方に回答を依頼した

(2) 主な調査事項

「生徒向け調査」「保護者向け調査」「学校向け調査」それぞれについて、主に以下のような項目についてたずねた。

生徒向け調査	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性 ・生活習慣 (普段家にいる時間がどの程度あるか、睡眠時間はどの程度あるか、家では読書以外にどのようなことをどの程度しているのか) ・読書習慣 (平日・休日の読書量、最近1ヶ月間・夏休みの期間の読書冊数、なぜ本を読まないのか、本を読む場所、本の選び方、本の入手方法、読書が好きか、読書の効果についての認識、電子書籍に対する印象、読書量の変化) ・読書環境 (地域の図書館や書店へのアクセス、利用頻度、保護者の読書量や学校図書館(図書室)の使いやすさについての認識、どのようにすればもっと本を読みたくなると思うか)
保護者向け調査	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の読書習慣 (平日・休日の読書量、最近1ヶ月間の読書冊数、なぜ本を読まないのか、本を読む場所、本の選び方、本の入手方法、読書が好きか、読書の効果についての認識) ・高校生の読書推進の課題認識等 (幼少期も含めた子供とのかかわり方、保護者が考える高校生にとっての読書の効果、高校生の子供がもっと本を読むようにするために必要と考えること)
学校向け調査	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の規模・特徴 (設置主体、生徒・学級・教員数、市区町村の人口規模、進学率) ・学校図書館の状況 (蔵書数、図書購入費、司書教諭・学校司書、学校図書館の整備・利活用) ・読書推進の活動 (一斉読書の実施、その他読書推進に関する活動の状況、学校図書館の活用の授業実施状況) ・高校生の読書推進の課題認識等 (学校の先生が考える高校生にとっての読書の効果、高校生がもっと本を読むようにするために必要と考えること)

(3) 調査実施時期

調査対象とした各学校に対して、平成26年11月10日に調査票等を一式発送した。生徒向け調査・学校向け調査はまとめて各学校より、保護者向け調査は各家庭より個別に返信を依頼し、平成27年1月5日回収分までの調査票を集計対象とした。

(4) 調査票回収状況

「生徒向け調査」「保護者向け調査」「学校向け調査」それぞれについて、以下のように回答・返信が得られた。

生徒向け調査	<ul style="list-style-type: none"> ・134の学校から、4,734名(サンプル)の調査票返送があった。 ・このうち、在籍学年についての回答が2年生の調査票のみを有効回答とした(有効回答数4,669)
保護者向け調査	<ul style="list-style-type: none"> ・137の学校から、2,108名(サンプル)の調査票返送があった。 ・このうち、子供の在籍学年についての回答が2年生の調査票のみを有効回答とした(有効回答数2,048)
学校向け調査	・128の学校から調査票返送があった(配付150校に対する割合:85.3%)

4. 回答者の属性

「生徒向け調査」「保護者向け調査」「学校向け調査」それぞれについて、回答者・学校の属性等は次のようになっている。

これらから、生徒・学校について、全国の母集団の分布に近い形で、多様な生徒・学校から回答が得られていることがわかる。また、保護者については、主に「母親」から回答が得られている。

なお、掲載の全国データは平成26年度学校基本調査(2014年12月19日公表)の全日制高等学校第2学年に関するものである。「割合」は、四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合もある。

(1) 生徒向け調査

性別

	本調査			全国	
	男性	女性	無回答	男性	女性
件数	2,171	2,495	3	534,419	532,454
割合	46.5%	53.4%	0.1%	50.1%	49.9%

設置主体

	本調査			全国		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立
件数	39	3,237	1,393	2,870	723,468	340,535
割合	0.8%	69.3%	29.8%	0.3%	67.8%	31.9%

学科

	本調査					全国				
	普通科	工業科	商業科	その他	総合学科	普通科	工業科	商業科	その他	総合学科
件数	3,315	375	337	450	192	776,097	81,422	66,723	88,084	54,547
割合	71.0%	8.0%	7.2%	9.6%	4.1%	72.7%	7.6%	6.3%	8.3%	5.1%

本調査の「その他」には、学科について無回答であったもの(1件)を含む

(2) 保護者向け調査

高校生の子供からみた続柄

	父親	母親	祖父	祖母	その他	無回答
件数	223	1804	4	9	4	4
割合	10.9%	88.1%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%

(3) 学校向け調査

設置主体

	本調査			全国		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立
件数	1	88	39	15	2,994	1,291
割合	0.8%	68.8%	30.5%	0.3%	69.6%	30.0%

学校の全生徒数

	199人以下	200人~399人	400人~599人	600人~799人	800人~999人	1,000人以上
件数	4	27	23	28	26	20
割合	3.1%	21.1%	18.0%	21.9%	20.3%	15.6%

学校の全教員数

	39人以下	40~49人	50~59人	60人以上
件数	16	17	30	65
割合	12.5%	13.3%	23.4%	50.8%

学校が設置されている市区町村の人口規模

	3万人未満	3万人~5万人未満	5万人~10万人未満	10万人~20万人未満	20万人~30万人未満	30万人~50万人未満	50万人以上	無回答
件数	12	11	24	23	12	21	24	1
割合	9.4%	8.6%	18.8%	18.0%	9.4%	16.4%	18.8%	0.8%

大学・短期大学進学率

	5割未満	5割~7割未満	7割~9割未満	9割以上
件数	54	20	18	36
割合	42.2%	15.6%	14.1%	28.1%

5. 本報告書の構成、分析の視点

本報告書は、第2章において、「高校生の読書習慣の実態」として、主に単純集計の結果により高校生の実態についての全体概要を把握した。第3章では、「高校生の不読の背景・理由や求められる方策等に関する分析」として、クロス集計等の結果によりテーマ別の詳細分析を行った。また、これらの分析結果をふまえた考察を第4章に掲載し、巻末に参考資料として、「生徒向け調査」「保護者向け調査」「学校向け調査」のそれぞれの質問紙調査票ならびに単純集計表を掲載した。

第2章・第3章の内容・構成は次のようになっている。なお、第3章は、分析のテーマ別に、「高校生の読書量に影響する諸要因に関する分析」「読書量と読書習慣の関連性に関する分析」「属性等別の不読の理由に関する分析」「高校生の読書量を増やしていくための方策に関する分析」の4つの節から構成される。

(1) 第2章の内容

第2章「高校生の読書習慣の実態」では、高校生は普段どれくらい本を読んでいるのか、どのようにして本を選び、どこで本を読んでいるのか、また、読書をすることに対してどのような意識を持っているのか等について、主に単純集計から把握される情報に基づき、その全体状況を把握した。

なお、調査項目の一部については、生徒向け調査と保護者向け調査、あるいは学校向け調査の結果とを比較し、回答傾向の違いを見るなかで、高校生の特徴を把握することを試みた。

(2) 第3章第1節の内容

第3章第1節「高校生の読書量に影響する諸要因に関する分析」では、どのような生徒が多く本を読んでいる（読んでいない）のか、背景にどのような要因があるのかについて分析を行った。

なお、文部科学省「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成25年5月17日：閣議決定）では、全国学校図書館協議会の学校読書調査を参照し、「1か月に1冊も本を読まなかった『不読者』の割合」を「不読率」と呼んでいる。本報告書においては、「生徒向け調査」において把握された、「1か月に読んだ本の冊数が『0冊』と回答した生徒の割合」を「不読率」と呼ぶこととし、その割合の多寡に着目した分析を行った。

また、分析を行うにあたっては、不読率に影響を与えうる要因として、大きく、「個人属性等に関する要因（性別、進路希望、生活習慣、居住地域）」、「家庭環境要因（保護者の読書習慣、読書に関する子供とのかかわり方等）」、「学校・図書館環境要因（学校図書館の整備状況、学校での読書に関する取組状況等）」の3点に着目した。

< 本報告書第3章第1節の分析内容に関するイメージ >

個人属性等に関する要因
(性別、進路希望、生活習慣、居住地域)



家庭環境要因
(保護者の読書習慣、家庭の蔵書数、
読書に関する子供とのかかわり方等)



学校・図書館環境要因
(学校図書館の整備状況、
読書推進に関する取組等)



生徒の1か月の読書冊数
(不読率)

なお、「家庭環境要因」と「学校・図書館環境要因」の影響に関しては、生徒向け調査と、保護者向け調査・学校向け調査のそれぞれのデータのマッチングを行った上で分析を行った。

生徒向け調査と保護者向け調査のデータマッチングについては、各調査で把握した出席番号の情報に基づき、生徒（子供）と保護者の対応関係を把握した。このように、それぞれ別の調査で得られたデータに基づきクロス集計を行うことで、生徒の回答結果に対する保護者の影響について、因果の関係をより明確にした上で解釈等を行えるという利点がある。

生徒向け調査と学校向け調査のデータマッチングについては、学校向け調査で得られた各学校での取組状況の違いにより、在籍している生徒の回答傾向にどのような違いが見られるのかについて分析を行った。なお、それぞれ、データの欠損等がある関係で、データマッチング後の集計対象件数は次のようになっている。

	集計対象件数	生徒向け調査 有効回答数 (4,669) に占める割合	保護者向け調査 有効回答数 (2,048) に占める割合
生徒向け調査と保護者向け調査のマッチングデータ	1,631	34.9%	79.6%
生徒向け調査と学校向け調査のマッチングデータ	4,433	94.9%	

（3）第3章第2節の内容

第3章第2節「読書量と読書習慣の関連性に関する分析」では、多く本を読んでいる高校生はどのように本を読んでいるのかを把握するため、高校生の読書習慣について、1か月の読書冊数別に、本の選び方や本を読む場所等についてどのような違いがあるのかを分析し、高校生の読書習慣の特徴をより詳細に把握することを試みた。

<本報告書第3章第2節の分析内容に関するイメージ>

生徒の1か月の読書冊数



- ・本を読む場所
- ・本の選び方
- ・(紙の本の)入手方法
- ・読書の効果に対する認識

(4) 第3章第3節の内容

第3章第3節「属性等別の不読の理由に関する分析」では、高校生がなぜ本を読まないのかをより詳細に把握するため、1か月間の読書冊数が0冊であった生徒が本を読まなかった理由について、あらためて分析を行った。

この点については、個人に関する要因別の分析のほか、「高校生になってから読書量が減った生徒」や、「1か月間の読書冊数は0冊だが夏休み期間には1冊以上読んでいる生徒」にも着目し、それぞれの特徴の把握を行った。

<本報告書第3章第3節の分析内容に関するイメージ>



(5) 第3章第4節の内容

第3章第4節「高校生の読書量を増やしていくための方策に関する分析」では、高校生がどのようにすればもっと本を読むようになると考えられるのかという点をより明確に把握するために分析を実施した。

特に、1か月間の読書冊数が0冊であった生徒の意識・考え方をより詳細に把握し、現在あまり本を読んでいない生徒に対して、今後有効な取組・施策としてどのようなものがありうるかを明らかにすることを試みた。

<本報告書第3章第4節の分析内容に関するイメージ>



第 2 章

高校生の読書習慣の実態

(全体概要)

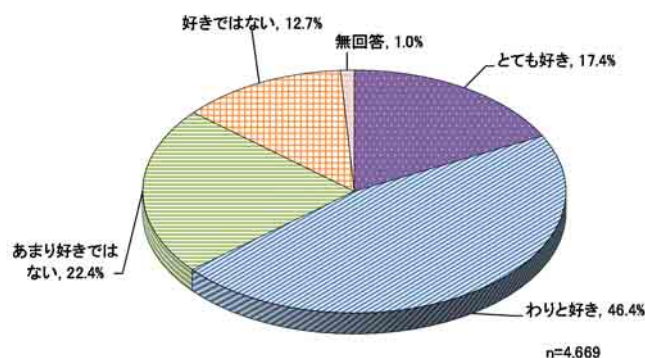
第2章 高校生の読書習慣の実態

(1) 読書に対する意識

高校生は読書が好き？

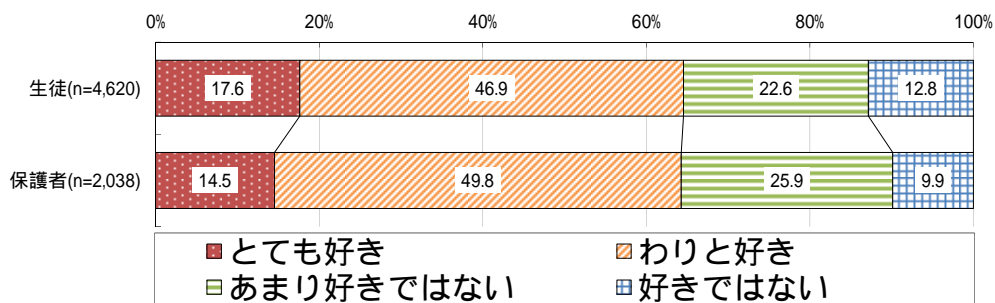
読書が「とても好き」と回答した生徒は全体の17.4%で、「わりと好き」の回答と合わせると6割超の生徒が「好き」と回答している(図表1-1-1)。

図表1-1-1 読書が好きかについての意識



なお、生徒調査と保護者調査の結果を比較すると、読書が「とても好き」「わりと好き」と回答した割合の合計は、生徒と保護者とでほとんど違いが見られず、「とても好き」の割合のみでは、生徒のほうが高くなっている(図表1-1-2)。

図表1-1-2 読書が好きかについて高校生・保護者の回答の比較



それぞれ「無回答」を除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

6割以上の生徒は「読書が好き」と回答しており、「とても好き」と回答した割合は、保護者よりも高い。

(2) 1日あたりの読書時間

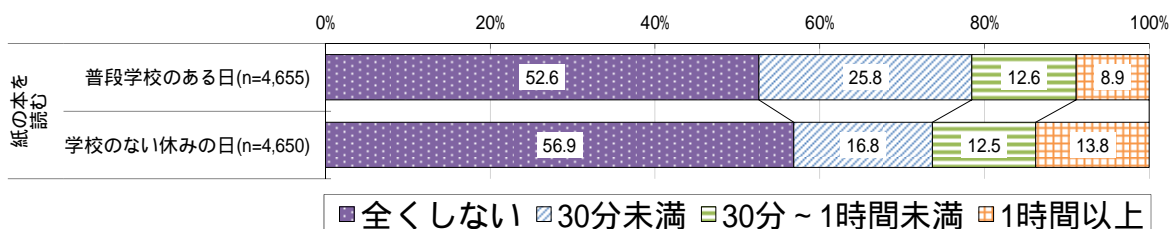
高校生は普段どれくらいの時間本を読んでいる？

「あなたは、1日に平均してどれくらい本を読みますか」という設問で、「紙の本」に関して「普段学校のある日」(平日)と「学校のない休みの日」(休日)の別にたずねたところ、平日・休日ともに、5割以上が「全くしない」との回答であった(図表 1-2-1)。

なお、「全くしない」と回答した生徒以外では、1日あたりの時間数として、平日・休日ともに「30分未満」の回答が最も多くなっている。

また、平日と休日の回答を比較すると、休日のほうが、「1時間以上」読む生徒の割合が高くなっている一方で、「全くしない」生徒の割合も高くなっていることがわかる。

図表 1-2-1 1日あたりの読書時間【紙の本について】



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。「1時間以上」の回答は「1時間～2時間未満」「2時間～3時間未満」「3時間～4時間未満」「4時間以上」の選択肢による回答を再分類して集計した。

《読み取れること・ポイント》

高校生の半数以上は普段学校のある日・学校のない休みの日ともに本を全く読んでいない。

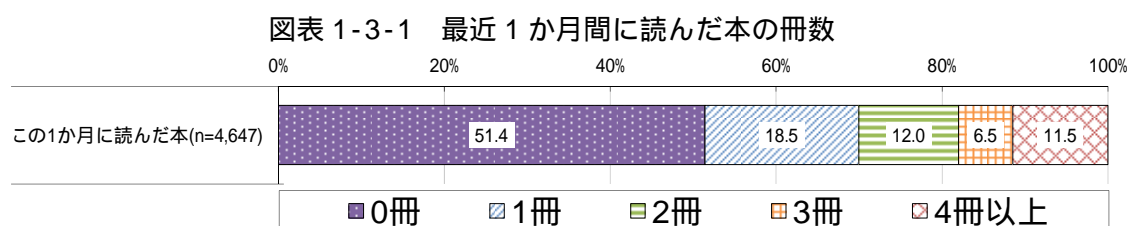
学校のない休みの日のほうが時間的にゆとりがあるのではないかと想定されるが、普段学校のある日のほうが本を読んでいる生徒の割合は高くなっている。

(3) 1か月あたりの読書冊数(不読率)

1か月に読む本の冊数が「0冊」の生徒の割合(不読率)はどれくらい?

高校生がこの1か月で読んだ本の冊数について、「0冊」との回答(不読率)は51.4%で、半数以上となっている(図表1-3-1)。

なお、平均冊数は1.69冊であり、本調査で把握された不読率や平均の読書冊数の値は、全国学校図書館協議会が実施している学校読書調査の結果と同程度となっていることが確認できる。



「無回答」は除いて集計した。「4冊以上」については数字での回答を再分類して集計した。

《読み取れること・ポイント》

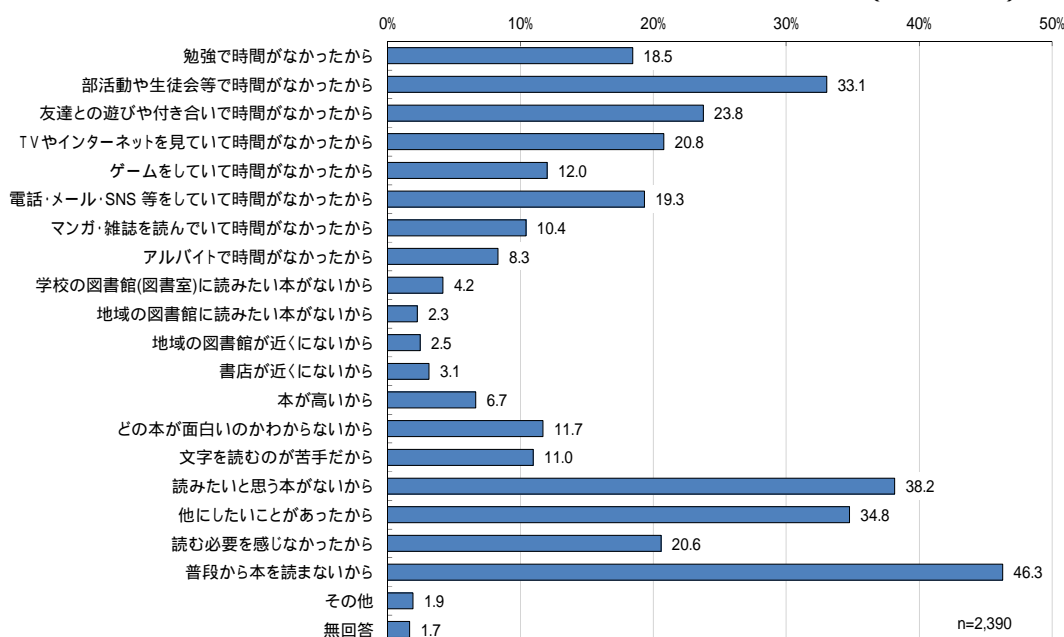
高校生の半数以上は、1か月間に1冊も本を読んでいない状況にある。読書が好きと回答した生徒は6割を超えている(図表1-1-1)ことから、「読書は好きであるが普段本を読まない」生徒が一定程度いるのではないかと推察される。

(4) 1か月の読書冊数が0冊であった生徒が本を読まなかった理由

高校生はなぜ本を読まないのだろうか？

1か月に本を読んだ冊数が「0冊」であった生徒に本を読まなかった理由をたずねたところ、最も回答割合が高いのは「普段から本を読まないから」で46.3%であった(図表1-4-1)。次いで回答割合が高いのは、順に「読みたいと思う本がないから(38.2%)」「他にしたいことがあったから(34.8%)」「部活動や生徒会等で時間がなかったから(33.1%)」となっている。他方、「学校図書館(図書室)」「地域の図書館」の整備状況の不備を理由とする選択肢に対する回答割合は低くなっている。

図表 1-4-1 1か月に本を1冊も読まなかった生徒が本を読まなかった理由(複数回答)



《読み取れること・ポイント》

本を読まない理由で最も多いのは「普段から本を読まないから」であり、本を読む習慣が身につけていない生徒が多いと考えられる。

また、「読みたいと思う本がないから」との回答割合も高く、興味関心等に合う本が身近にないことを理由として、本を読まない生徒も多いことがわかる。

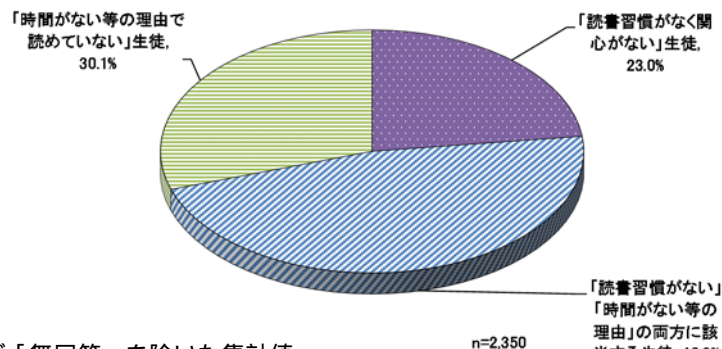
回答結果の分布から、本を読まない理由について大きく分類すると、「本を読む習慣がなく関心がない」とこと、「他の活動等に時間が取られている」ことが要因になっているのではないかと考えられ、部活動等の活動で忙しいことも、不読の一要因になっていると想定される。

(5) 本を読む習慣がない生徒の特徴

本を読む習慣が身についていない高校生はどれくらいいる？

1か月の読書冊数が「0冊」の生徒で、本を読まなかった理由について、「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」のいずれかを回答した生徒を「読書習慣がなく関心がない」生徒、また、そのほかの理由を選択した生徒を「時間がない等の理由で読めていない」生徒と考えたところ、「読書習慣がなく関心がない」生徒は23.0%、「時間がない等の理由で読めていない」生徒は30.1%、残りの46.9%は「読書習慣がない」「時間がない等の理由」の両方に該当する生徒であった(図表1-5-1)。

図表1-5-1 1か月の読書量が0冊の人の本を読まない理由の分類

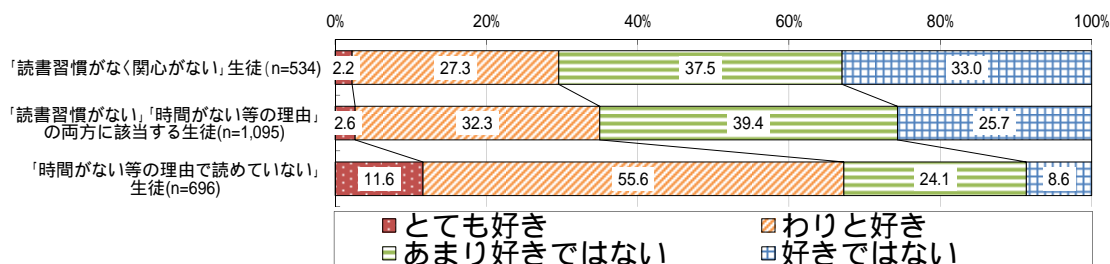


本を読まない理由が「無回答」を除いた集計値。

「読書習慣がなく関心がない」生徒は、本を読まない理由として「苦手」、「読みたい本がない」、「必要性を感じない」、「普段から読まない」の4つの理由のいずれかのみを選択。「時間がない等の理由で読めていない」生徒は、この4つの理由以外の理由のみを選択した生徒。

なお、「読書習慣がなく関心がない」生徒では、読書について3割以上の生徒が「好きではない」と回答していることも明らかになった(図表1-5-2)。

図表1-5-2 本を読まない理由分類別、読書が好きかについての意識



それぞれ「無回答」を除いた集計値。

「読書習慣がなく関心がない」生徒は、本を読まない理由として「苦手」、「読みたい本がない」、「必要性を感じない」、「普段から読まない」の4つの理由のいずれかのみを選択。「時間がない等の理由で読めていない」生徒は、この4つの理由以外の理由のみを選択した生徒。

《読み取れること・ポイント》

1か月に1冊も本を読まない生徒の約7割が、本を読まない理由として「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」のいずれかを回答している。

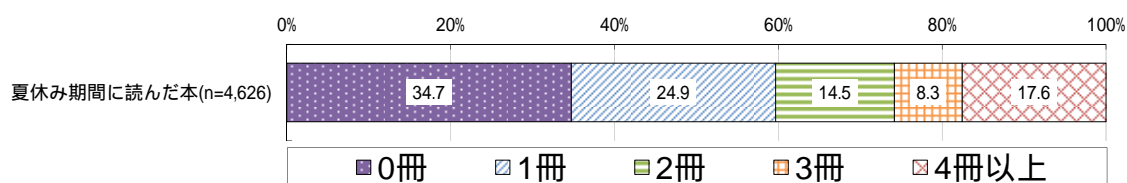
他方で、約3割は「時間がない等の理由で読めていない」生徒であり、これらの生徒は、読書が好き割合も高く、時間等があれば本を読むようになると推察される。

(6) 夏休み期間の読書冊数

1か月に読む本の冊数が「0冊」の生徒は、長期休暇(夏休み)の期間にも本を読まないのだろうか？

夏休みの期間に本を読む冊数が「0冊」との回答は34.7%であり(図表1-6-1)、「この1か月に読んだ本」の回答(図表1-3-1)と比較すると、夏休みの期間には本を読んでいる生徒の割合が高いことがわかる。

図表1-6-1 夏休み期間に読んだ本の冊数

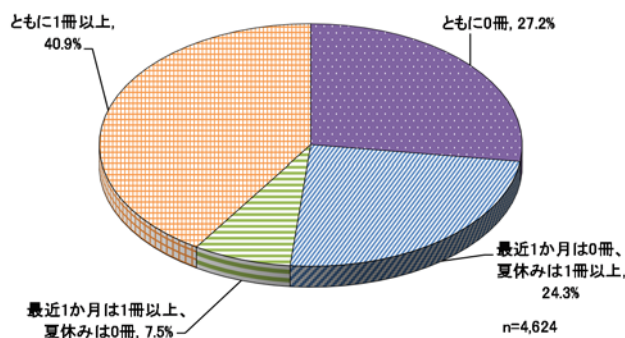


「無回答」は除いて集計した。「4冊以上」については数字での回答を再分類して集計した。

図表1-3-1、図表1-6-1の回答結果をもとに、最近1か月間と夏休み期間に読んだ本の冊数の回答を組み合わせると、全体の27.2%の生徒は「この1か月・夏休みの期間ともに0冊」との回答であった(図表1-6-2)。

他方で、「この1か月に読んだ本は0冊だが、夏休みの期間に1冊以上読んだ」という生徒も24.3%で、全体の約4分の1となっている。

図表1-6-2 最近1か月間・夏休み期間に読んだ本の冊数の回答の組み合わせ



※それぞれの本の冊数について「無回答」は除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

1か月に読んだ本が「0冊」の生徒のうち約半数が、夏休み期間については1冊以上本を読んでいる。

このことから、「普段はあまり本を読まないが、ある程度まとまった時間があれば本を読む」という生徒が一定程度いるのではないかと考えられる。

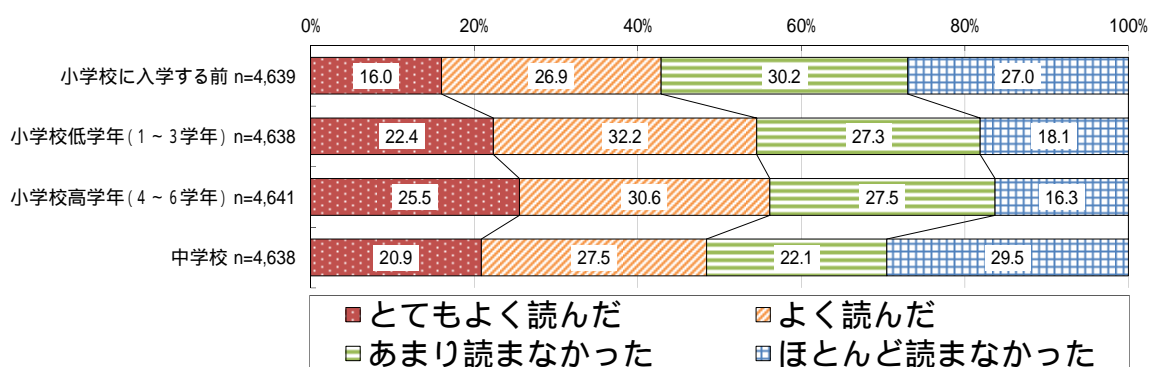
(7) 幼少期からの読書量の変化

読書量は、幼少期からどのように変化している？

高校生自身の主観・振り返りに基づく回答で、小学校に入学する前から中学校にかけて、本を「とてもよく読んだ」「よく読んだ」との回答割合の合計が最も高いのは「小学校高学年(4～6学年)」であった(図表 1-7-1)。

中学校の段階では、「ほとんど読まなかった」が29.5%と4つの選択肢の中で回答割合が最も高く、小学校高学年から中学校にかけて、読書量が減少する生徒が多いことがうかがえる。

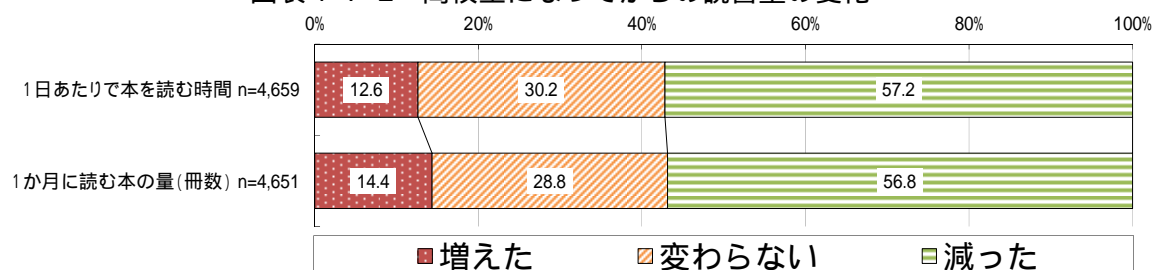
図表 1-7-1 小学校入学前から中学校までの読書量の変化



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

中学校のときと比べて高校生になってからの読書量は、「読む時間」「本の量」とともに「減った」との回答が半数以上となっている(図表 1-7-2)。また、「増えた」との回答は1割強にとどまっており、相対的に少ないことがわかる。

図表 1-7-2 高校生になってからの読書量の変化



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

読書量は小学校高学年までは増加するが、その後中学校・高校では減少傾向にある。高校生になってから、本を読む時間・冊数ともに「減った」との回答は半数以上となっており、高校生のなかには、「以前は本を読んでいたが高校生になって本を読まなくなった」という生徒が多いのではないかと考えられる。

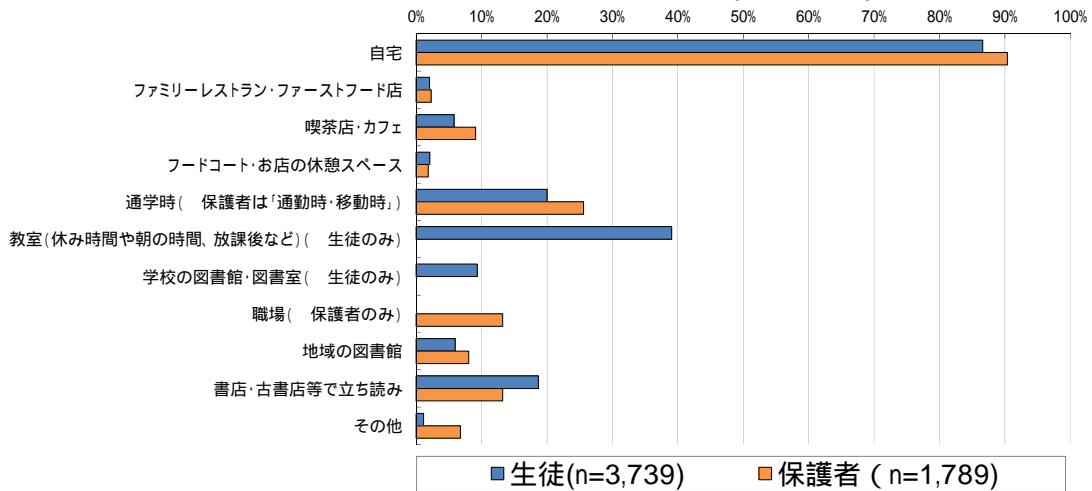
(8) 本を読む場所

高校生はどこで本を読んでいる？

生徒・保護者ともに本を読む場所は、「自宅」との回答が最も多く、本を読む者のうち8割以上が該当する(図表 1-8-1)。

また、生徒の回答で次いで多いのは「教室」であり、本を読む生徒のうち約4割が該当する。なお、生徒と保護者を比較すると、生徒では若干ではあるが、「書店・古書店等で立ち読み」との回答が高くなっていることもわかる。

図表 1-8-1 高校生・保護者が本を読む場所(複数回答)



それぞれ「全く読まない」「無回答」を除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

読書をする生徒の8割以上は自宅で本を読むが、約4割は教室で本を読んでおり、その割合は「通学時」や、「図書館」等で読む生徒の割合よりも高くなっている。

(9) 本の選び方

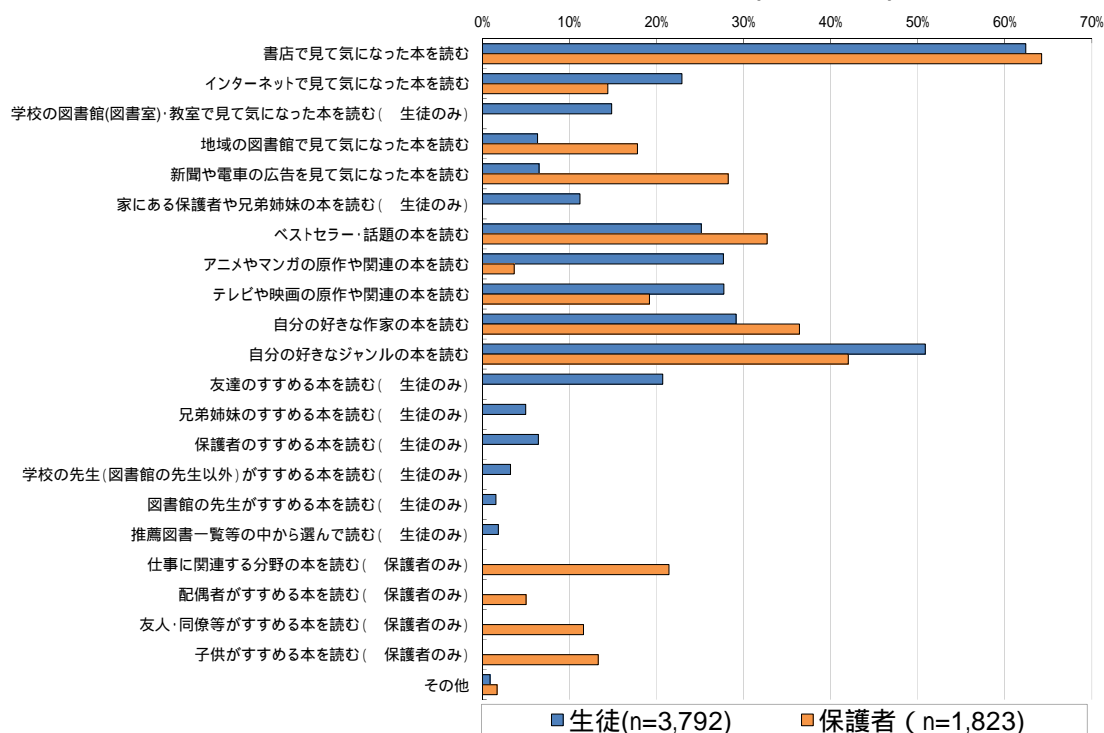
高校生はどのように読む本を選んでいる？

「読む本はどのようにして選んでいますか」という設問に対しては、生徒・保護者ともに、「書店で見て気になった本を読む」との回答が最も多くなっている(図表 1-9-1)。また、次いで「自分の好きなジャンルの本を読む」の回答割合が高くなっている。

生徒調査と保護者調査の結果を比較して差が大きく見られた点に着目すると、生徒では「アニメやマンガの原作や関連の本を読む」または「テレビや映画の原作や関連の本を読む」についての回答割合が保護者と比べて高いことが特徴的であり、「インターネットで見て気になった本を読む」の割合も保護者に比べて高い。

他方で、「新聞や電車の広告を見て気になった本を読む」や「地域の図書館で見て気になった本を読む」などについては、生徒の回答割合は保護者の回答に比べ低くなっている。このほか、「友達のすすめる本を読む」との回答は、本を読んでいる生徒のうち、2割以上の者でみられる。

図表 1-9-1 高校生・保護者の本の選び方(複数回答)



それぞれ「全く読まない」「無回答」を除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

読書をする高校生の6割以上は、書店で見て気になった本を手にしており、高校生が本を選ぶ場所としては書店が最も一般的であることがうかがえる。

「自分の好きなジャンルの本を読む」との回答割合も高く、好きなジャンルがあるということが、読書をする上で大切なのではないかとこともうかがえる。

また、高校生は保護者と比べて、アニメやマンガの原作、テレビや映画の原作や関連の本を読む人の割合が高いことがわかる。

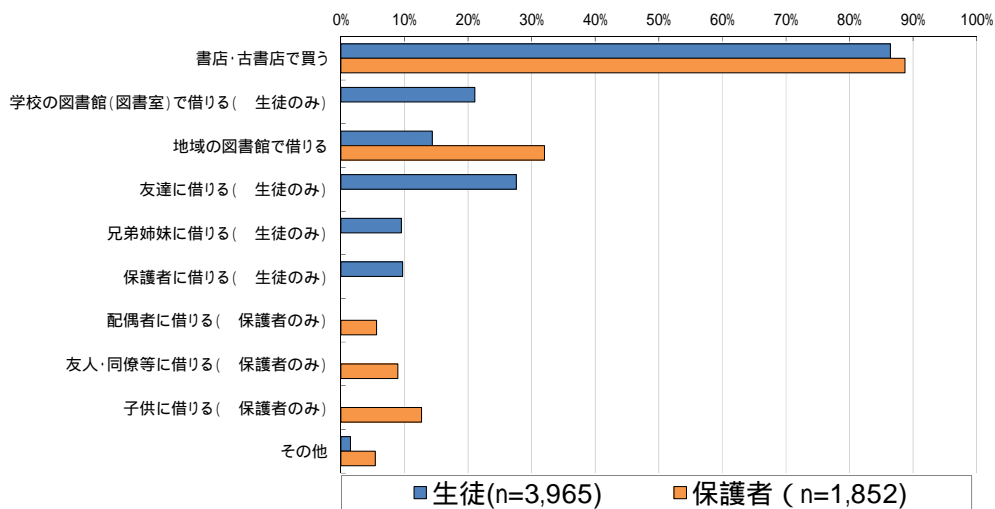
(10) 本の入手方法

高校生は読む本を買っている？借りている？

「読む本はどのようにして手に入れていますか」という設問に対して、「紙の本」については、生徒・保護者ともに、「書店・古書店で買う」との回答割合が高く、それぞれ8割以上となっている(図表1-10-1)。

生徒の回答としては、次いで「友達に借りる」の回答割合が高くなっている。

図表1-10-1 高校生・保護者の本の入手方法【紙の本について】(複数回答)



それぞれ「紙の本は読んでいない」「無回答」を除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

読書をする高校生の8割以上は、本を書店・古書店で購入している。

「借りる」との回答割合は高いわけではないが、回答の中では、「友達に借りる」との回答割合が相対的に高いという特徴が見られる。

(11) 図書館等の利用状況

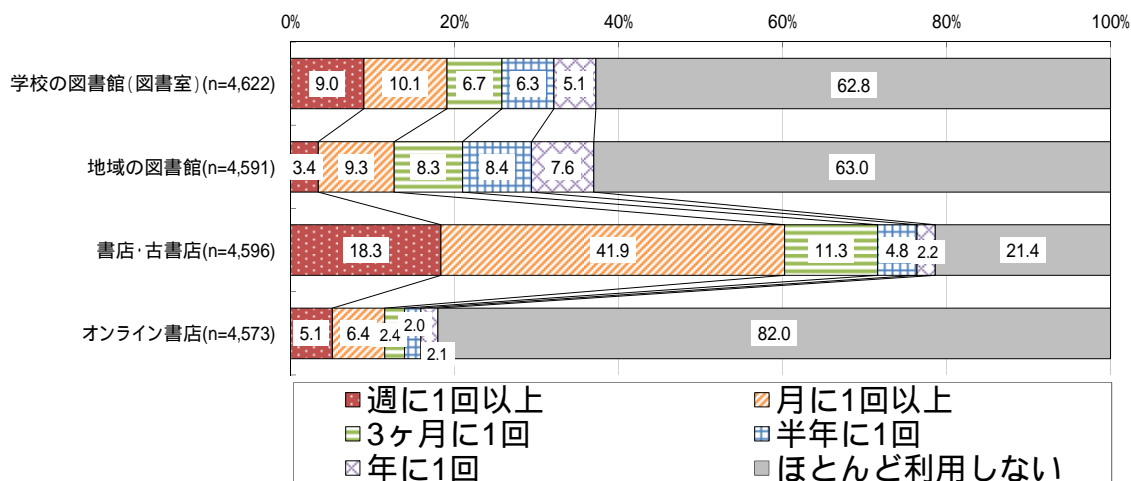
高校生はどれくらい図書館や書店を利用している？

全体の6割以上の高校生は、年間を通じて、「学校の図書館(図書室)」や「地域の図書館」を「ほとんど利用していない」と回答している(図表1-11-1)。なお、それぞれ、年に1回以上利用している生徒のなかでは、「月に1回以上」との回答が最も多くなっている。

「書店・古書店」については、「週に1回以上」利用する生徒が18.3%、「月に1回以上」利用する生徒が41.9%と、合わせて6割以上が月に1回以上の頻度で利用しており、「ほとんど利用していない」との回答割合は約2割となっている。

なお、「オンライン書店」は、「ほとんど利用しない」生徒が8割以上であり、高校生の中で利用している生徒は多くないことがわかる。

図表 1-11-1 高校生の図書館・書店等の利用状況



それぞれ「無回答」を除いて集計した。「週に1回以上」の回答は、「ほとんど毎日」「週に2~3回」「週に1回」の選択肢による回答を再分類して集計した。

《読み取れること・ポイント》

全体の約6割の生徒は、年間を通じて、学校図書館(図書室)や地域の図書館をほとんど利用していない。

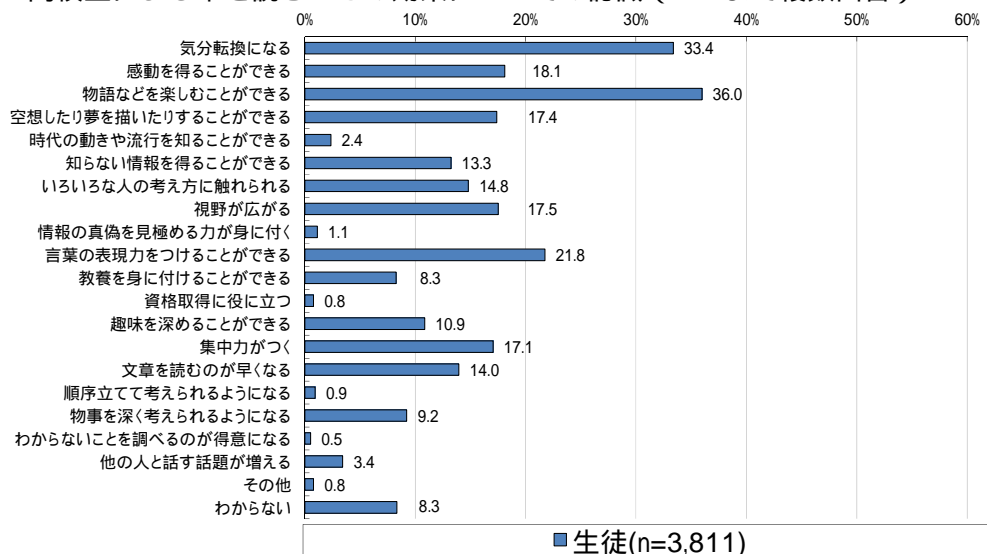
「書店・古書店」については6割以上の生徒が月に1回以上利用しており、現状として、高校生が本に触れる場所としては書店・古書店が最も多くなっていることがうかがえる。

(12) 読書の効果に対する認識

本を読むことの効果について、高校生・保護者・学校(教員)はそれぞれどのような認識を持っている？

本を読むことの効果として、生徒からの回答割合が最も高かったのは「物語などを楽しむことができる」(36.0%)で、次いで高かったのは「気分転換になる」(33.4%)であった(図表 1-12-1)。

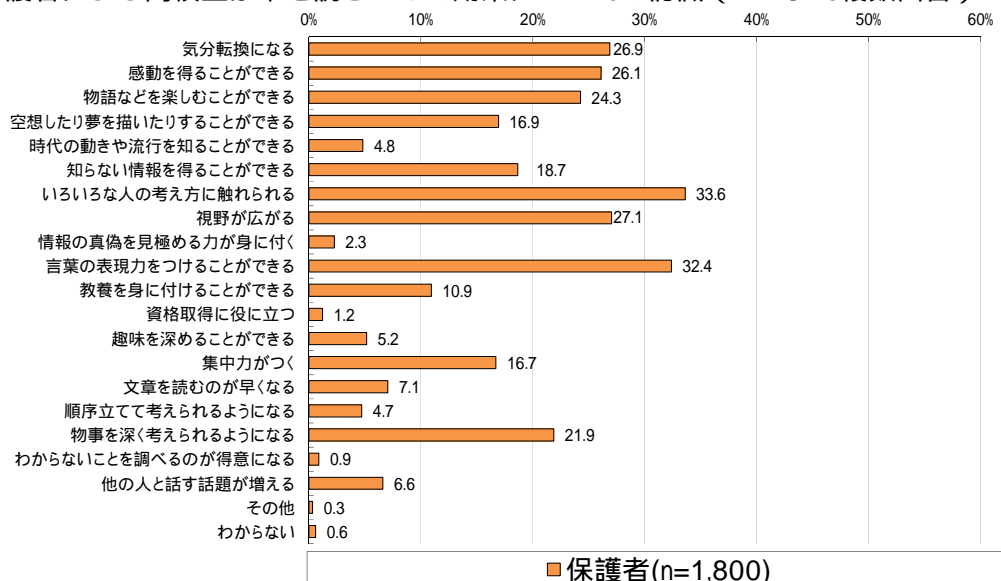
図表 1-12-1 高校生による本を読むことの効果についての認識(3つまで複数回答)



4つ以上の項目を選択したものは集計対象外とした。また、「無回答」を除いて集計した。

保護者に対して、高校生にとって本を読むことにどのような効果があると思うかをたずねたところ、最も回答割合が高かったのは、「いろいろな人の考え方に触れられる」(33.6%)で、次いで高かったのは「言葉の表現力をつけることができる」(32.4%)であった(図表 1-12-2)。

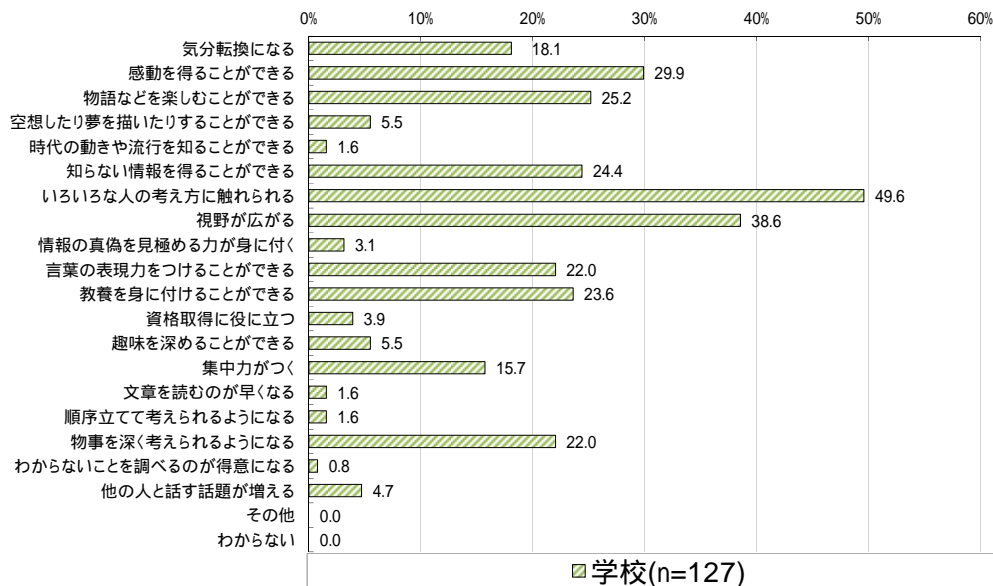
図表 1-12-2 保護者による高校生が本を読むことの効果についての認識(3つまで複数回答)



4つ以上の項目を選択したものは集計対象外とした。また、「無回答」を除いて集計した。

高校生が本を読むことの効果について、学校（教員）からの回答として最も回答割合が高かったのは、「いろいろな人の考え方に触れられる」（49.6%）で、次いで高かったのは「視野が広がる」（38.6%）であった（図表 1-12-3）。

図表 1-12-3 学校（教員）による高校生が本を読むことの効果についての認識（3つまで複数回答）



4つ以上の項目を選択したものは集計対象外とした。また、「無回答」を除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

図表 1-12-1～図表 1-12-3 に示された、生徒・保護者・学校（教員）のそれぞれの回答結果から、保護者や教員は高校生の読書について、多様な人の考えに触れ、視野を広げるといった効果を期待している人の割合が高いことがわかる。他方で、生徒自身は「楽しむ」こと、「気分転換すること」を読書の効果として認識している人の割合が高く、認識にギャップがあるのではないかと考えられる。

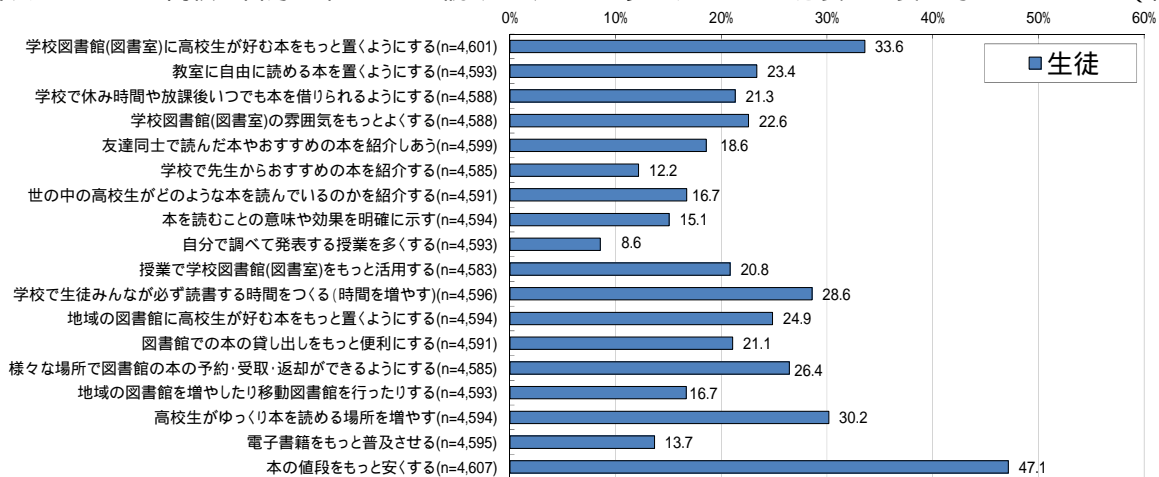
(13) 本をもっと読みたくなるようにするために必要・重要と考えること

高校生・保護者・学校(教員)はそれぞれ、高校生がもっと本を読みたくなるようにするためにはどうすればよいと考えている？

どのようにすればもっと本を読みたくなると思うかについて、生徒から「とてもそう思う」の回答割合が最も高いのは「本の値段をもっと安くする」(47.1%)で、次いで「学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする」(33.6%)、「高校生がゆっくり本を読める場所を増やす」(30.2%)となっている(図表 1-13-1)。

他方で、「自分で調べて発表する授業を多くする」「学校で先生からおすすめの本を紹介する」「電子書籍をもっと普及させる」などに対する回答割合は低くなっている。

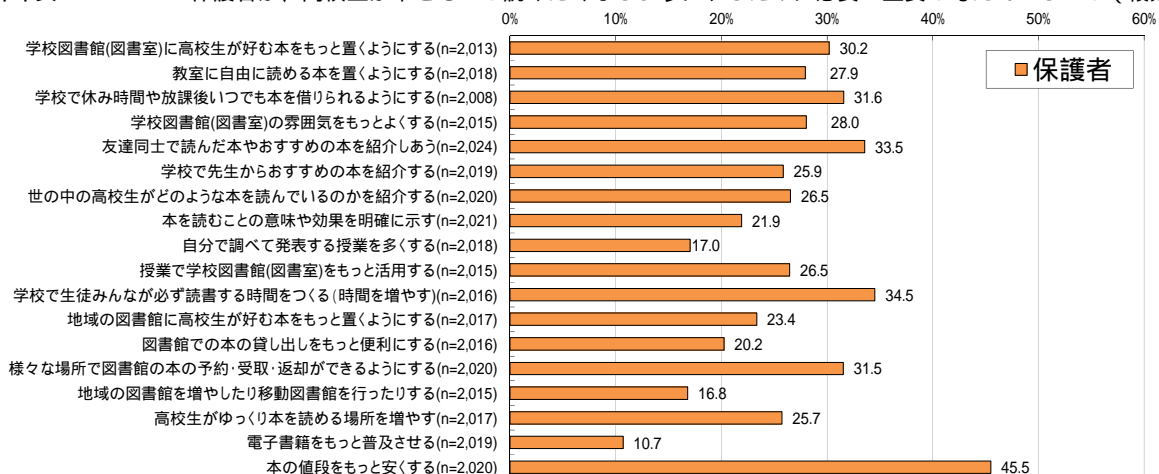
図表 1-13-1 高校生自身が本をもっと読みたくなるようにするために必要・重要と考えていること(複数回答)



それぞれ、「無回答」を除いた集計値について、「とてもそう思う」の割合。

保護者からの回答で、「とてもそう思う」の回答割合が最も高いのは「本の値段を安くする」(45.5%)で、次いで「学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)」(34.5%)、「友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう」(33.5%)となっている(図表 1-13-2)。

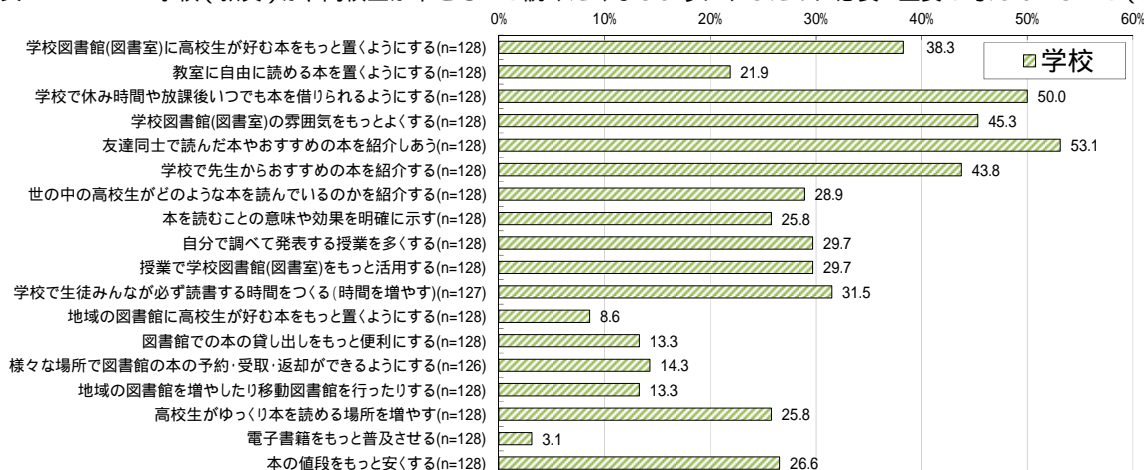
図表 1-13-2 保護者が、高校生が本をもっと読みたくなるようにするために必要・重要と考えていること(複数回答)



それぞれ、「無回答」を除いた集計値について、「とてもそう思う」の割合。

学校(教員)から、「とてもそう思う」の回答割合が最も高いのは「友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう」(53.1%)で、次いで「学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする」(50.0%)、「学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる」(45.3%)について回答割合が高くなっている(図表1-13-3)。なお、「学校で先生からおすすめの本を紹介する」(43.8%)との回答割合も4番目に高くなっている。

図表 1-13-3 学校(教員)が、高校生が本をもっと読みたくなるようにするために必要・重要と考えていること(複数回答)



それぞれ、「無回答」を除いた集計値について、「とてもそう思う」の割合。

《読み取れること・ポイント》

どのようにすればもっと本を読みたくなると思うかについて、高校生自身は主に本の値段を安くすること、学校図書館(図書室)に高校生が好む本を置くこと、ゆっくり本を読める場所を増やすこと等が必要・重要であると考えており、本を手に取りやすく(入手しやすく)また、読みやすい場所等の環境を整えることが重要であると考えられている。

「友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう」ことや「学校で先生からおすすめの本を紹介する」ことについては、保護者や学校(教員)からは必要・重要であると考えられている回答割合が高いが、生徒自身からの回答割合は相対的に低くなっている。

「電子書籍をもっと普及させる」ことについては、生徒・保護者・学校(教員)ともに、もっと本を読むようにするための方策として必要・重要であると考えている人の割合は低いという点が共通している。

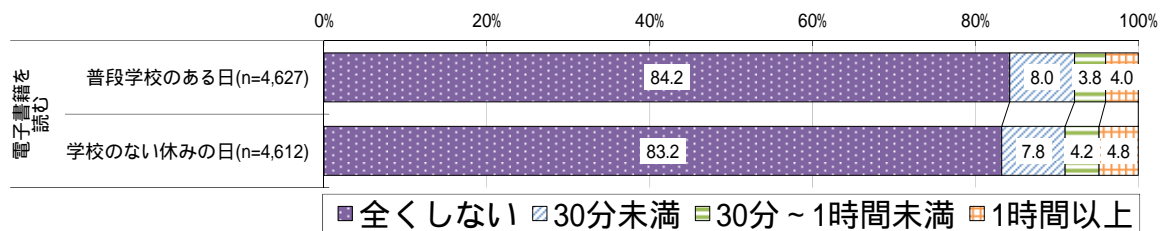
(14) 電子書籍の利用状況

電子書籍による読書時間

高校生は電子書籍にどれくらい触れている？

本を読む時間について、「電子書籍」に関しては、普段学校のある日・学校のない休みの日ともに、「全くしない」生徒の割合が8割以上となっている(図表1-14-1)。
 なお、電子書籍についても、紙の本と同様(図表1-2-1)「全くしない」以外の回答としては、1日あたりの時間数として、「30分未満」の回答が最も多くなっている。

図表1-14-1 1日あたりの読書時間【電子書籍について】



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。「1時間以上」の回答は「1時間～2時間未満」「2時間～3時間未満」「3時間～4時間未満」「4時間以上」の選択肢による回答を再分類して集計した。

《読み取れること・ポイント》

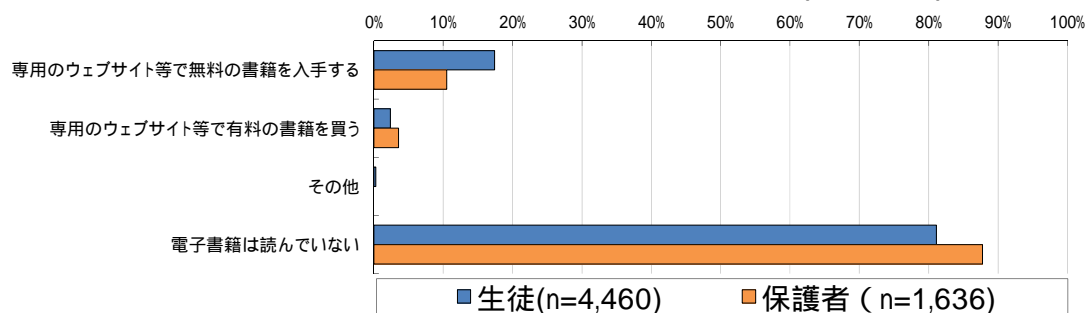
電子書籍を読んでいる生徒は全体の2割弱であり、高校生に電子書籍が広く浸透しているわけではない。

電子書籍の入手方法

高校生は電子書籍で有料の書籍を購入している？

電子書籍は生徒・保護者ともにそもそも読んでいる割合は低いですが、それぞれ、「有料の書籍を買う」ことよりも「無料の書籍を入手する」割合が高く、また、その傾向は生徒に関してより顕著に見られる(図表 1-14-2)。

図表 1-14-2 高校生・保護者の本の入手方法【電子書籍について】(複数回答)



それぞれ「無回答」を除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

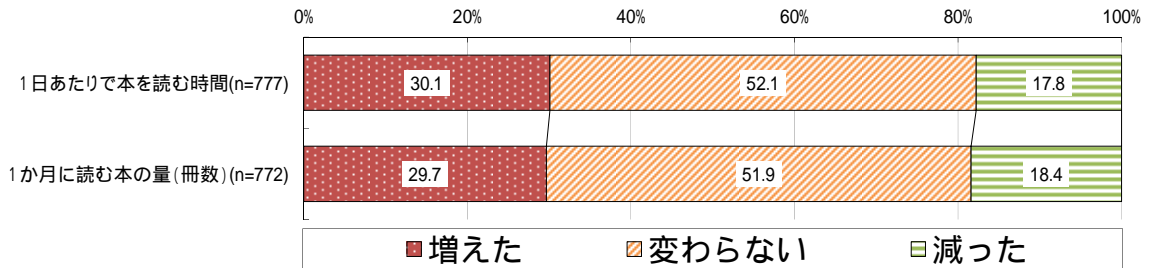
電子書籍について、有料の書籍が購入されることは少なく、無料の書籍が読まれていることが相対的に多い。

電子書籍を読むようになってからの読書量の変化

電子書籍を読むようになって生徒の読書量はどのように変化した？

現在電子書籍を読んでいる生徒について、電子書籍を読むようになってからの読書量の変化をたずねたところ、「読む時間」「読む本の冊数」とともに「増えた」との回答が約3割となっており、「減った」との回答割合よりも高くなっている(図表1-14-3)。

図表 1-14-3 電子書籍を読むようになってからの読書量の変化



電子書籍に関する設問に回答があった生徒のみを集計対象とした。

《読み取れること・ポイント》

全体の傾向として中学校・高校と読書量が減少傾向にある中で(図表1-7-1、図表1-7-2)、現在電子書籍を読んでいる生徒では、電子書籍を読むようになってから読書量が増えたとの回答割合が約3割となっており、「減った」との回答に比べて高くなっている。

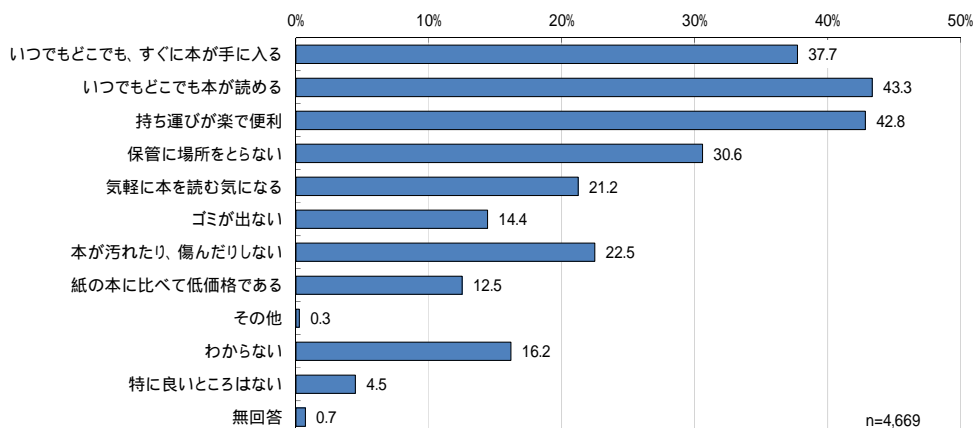
電子書籍を読んでいる高校生は全体の2割弱である(図表1-14-1、図表1-14-2)が、これらの生徒は電子書籍をうまく活用できているのではないかとことがうかがえる。

電子書籍の良い面・悪い面についての認識

高校生は電子書籍についてどのような印象を持っている？

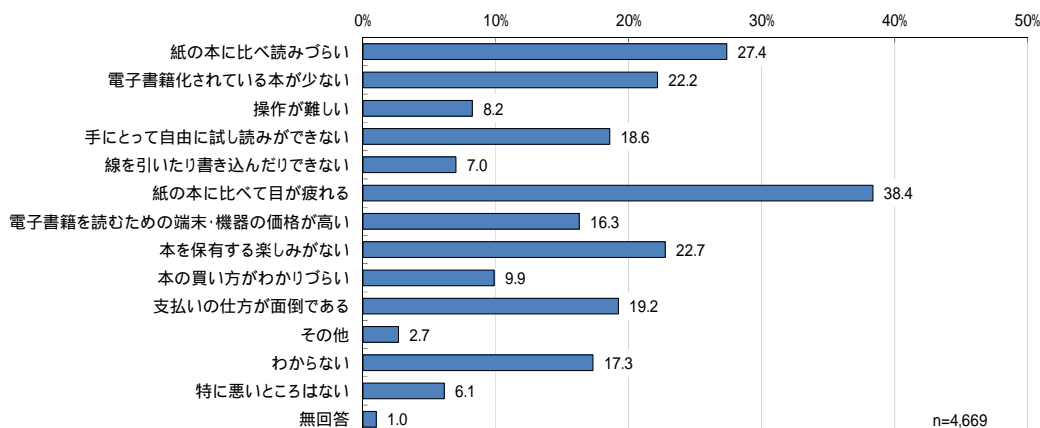
現在電子書籍を読んでいない生徒も含めた認識として、電子書籍の「良い面」としては、「いつでもどこでも本が読める」「持ち運びが楽で便利」など、利便性が高いことについて回答割合が高くなっている(図表 1-14-4)。

図表 1-14-4 電子書籍の良い面についての認識(複数回答)



「悪い面」としては「紙の本に比べて目が疲れる」といった回答が多く、次いで「紙の本に比べ読みづらい」との回答割合が高くなっている(図表 1-14-5)。

図表 1-14-5 電子書籍の悪い面についての認識(複数回答)



《読み取れること・ポイント》

電子書籍については、利便性が高いことを肯定的にとらえる回答が多い半面、悪い面として「読みにくさ」や「目の疲れ」に関する回答が多く見られる。どのようにすればもっと本を読みたくなると思うかについて、「電子書籍をもっと普及させる」ことに対する肯定的な回答割合は低かった(図表 1-13-1)が、背景として、電子書籍について「良い面」ばかりではなく、これら「悪い面」も認識されているということがあるのではないかと推察される。

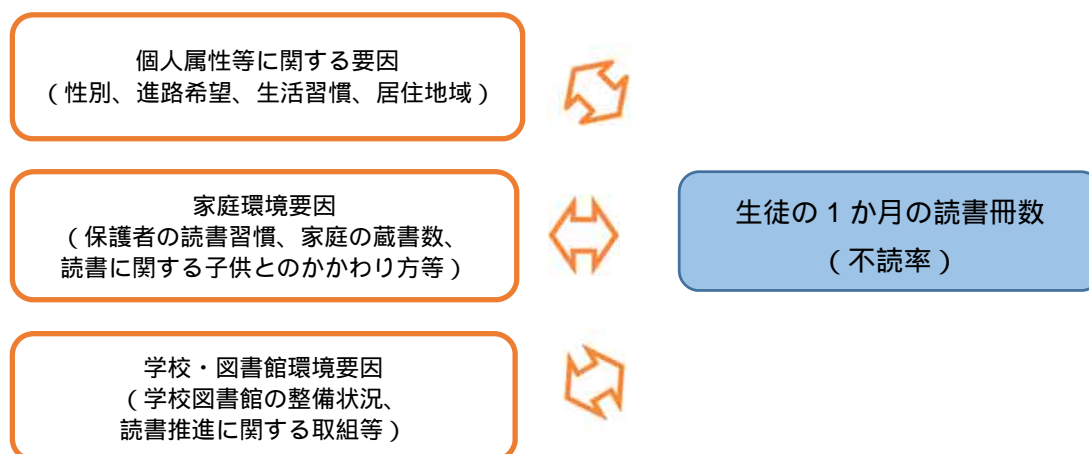
第 3 章

高校生の不読の背景・理由や求められる
方策等に関する分析
(テーマ別の詳細分析)

第3章第1節 高校生の読書量に影響する諸要因に関する分析

(1) 分析の枠組み・結果の概要

1 か月の読書冊数の多寡や不読率には、どのような要因が影響している？



《分析の結果、読み取れたこと・ポイントのまとめ》

生徒本人の進学希望や、在宅時間等の生活習慣、居住地域など個人属性等に関する要因、保護者の読書量等の家庭環境要因、学校で読書推進に関する取組状況等の学校・図書館環境要因について、それぞれ、一定程度高校生が1か月に読む読書冊数と関連性があるのではないかと考えられる。

このうち、生活習慣については、「普段家にいる時間」が短い生徒のほうが不読率は高く、「忙しさ」が、本を読まない理由のひとつとなっていることが確認できた。

家庭環境要因の影響については、現在の保護者の読書冊数や家庭の蔵書数が高校生の読書冊数の多寡に影響していると考えられるほか、高校生の段階で読書量が多い生徒は、読書冊数が少ない生徒と比較すると、読書に関する保護者とのかかわり方の度合いが幼少期だけでなく、中学校以降も強い傾向が見られる。

学校・図書館環境要因の影響については、一斉読書の時間を週に1回以上定期的に設定している学校の生徒では、不読率は約3割と低く、学校内で一斉読書の時間があることで、一定の読書量を保つことができている生徒がいることが把握される。

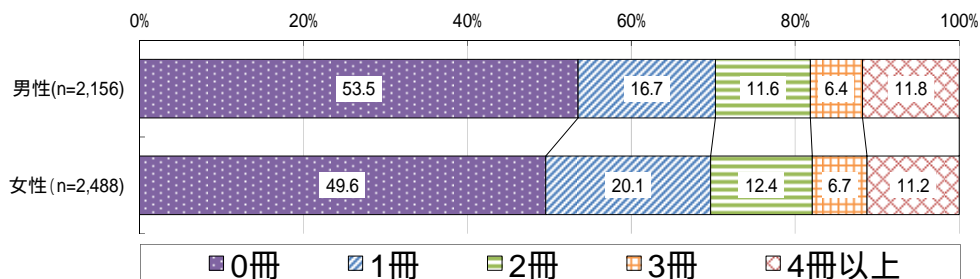
このほか、「『読書マラソン』など読書量を競う活動」や「ブックトークの実施」、「家庭における読書活動への支援」、「読書感想文コンクールへの参加」、「教室に生徒が自由に読める本を設置」等について実施されている学校(学級)の生徒では、読書活動推進に関する取組が特段実施されていない学校(学級)の生徒に比べ、生徒の不読率が低くなっている。これらの取組を推進している学校では、本を読まない生徒に対する働きかけ等がうまくなされているのではないかと推察される。

(2) 個人属性等に関する要因と不読率との関係

性別

1か月の読書冊数について性別にみると、読んだ本が「0冊」の割合（不読率）は、女性より男性のほうが高くなっている（図表2-2-1）。

図表 2-2-1 性別と最近1か月に読んだ本の冊数との関係



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

1か月の読書冊数（不読率）以外の点に着目して別途行った分析の結果からは、読書が好きかについて男性では「とても好き」「わりと好き」の回答割合の合計が59.3%であるのに対して、女性では69.0%と、10ポイント近くの差があることも把握されている（図表2-2-2）。

このほか、地域の図書館や書店・古書店を「ほとんど利用しない」との回答は女性よりも男性において高いこともわかる。

他方で、1か月に読んだ本の平均冊数や夏休みに読んだ本の平均冊数は男性のほうが多く、これらから、男性では本を多く読む層と読まない層との差が大きいのではないかと考えられる。

図表 2-2-2 性別と高校生の読書量等との関係

着目した点	男性	女性
この1か月に読んだ本が「0冊」の割合	53.5%	49.6%
この1か月に読んだ本の平均冊数	1.73冊	1.65冊
夏休みに読んだ本が「0冊」の割合	39.9%	30.2%
夏休みに読んだ本の平均冊数	3.05冊	2.70冊
普段学校のある日に紙の本を「全く読まない」割合	50.9%	54.1%
学校のない休みの日に紙の本を「全く読まない」割合	55.8%	57.7%
学校図書館（図書室）を「ほとんど利用しない」の割合	64.6%	61.2%
地域図書館（図書室）を「ほとんど利用しない」の割合	67.6%	59.1%
書店・古書店を「ほとんど利用しない」の割合	27.7%	15.9%
読書が好きかについて「とても好き」「わりと好き」の合計割合	59.3%	69.0%

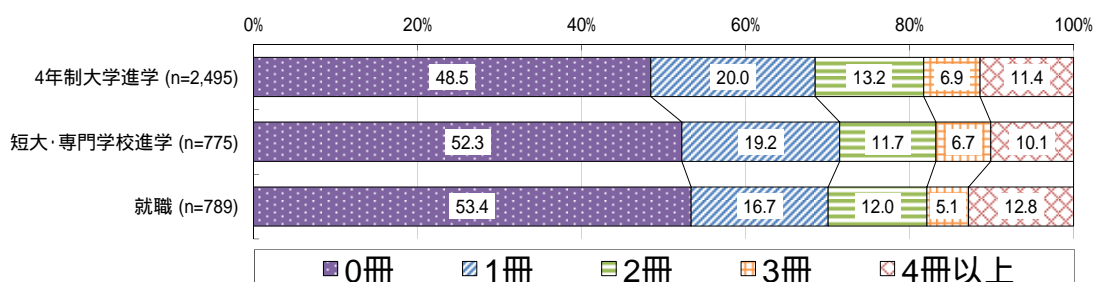
《読み取れること・ポイント》

高校生の段階で、男性と女性とでは、女性のほうが本を読む習慣が身についている生徒の割合が高いのではないかと考えられる。

進路希望別

1か月の読書冊数について生徒本人の進路希望別に見ると、1か月に読んだ本が「0冊」の割合（不読率）は、4年制大学進学希望の生徒で低く、就職希望の生徒で高くなっている（図表2-2-3）。ただし、就職希望者では「4冊以上」読んでいる生徒の割合がその他の生徒と比較して高く、本を多く読む層と読まない層との差が大きいことがうかがえる。

図表2-2-3 進路希望別と最近1か月で読んだ本の冊数との関係



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

進路希望について「その他」「まだ決まっていない」「無回答」であったものは、ここでは比較の対象外とした。

1か月の読書冊数（不読率）以外の点に着目して別途行った分析の結果からは、4年制大学進学希望の生徒では、夏休みの期間や、学校のない休みの日に本を読む割合が、その他の生徒と比較して高くなっていることが見て取れる（図表2-2-4）。

また、4年制大学進学希望の生徒では、学校図書館（図書室）や地域の図書館、書店・古書店を「ほとんど利用しない」割合は低く、本が好きな生徒の割合は高いことが把握されている（図表2-2-4）。

図表2-2-4 進路希望と高校生の読書量等との関係

着目した点	4年制大学進学	短大・ 専門学校進学	就職
この1か月に読んだ本が「0冊」の割合	48.5%	52.3%	53.4%
この1か月に読んだ本の平均冊数	1.59冊	1.80冊	1.68冊
夏休みに読んだ本が「0冊」の割合	27.0%	39.6%	45.4%
夏休みに読んだ本の平均冊数	2.95冊	2.94冊	2.32冊
普段学校のある日に紙の本を「全く読まない」割合	51.3%	53.4%	52.1%
学校のない休みの日に紙の本を「全く読まない」割合	50.4%	63.6%	63.6%
学校図書館（図書室）を「ほとんど利用しない」の割合	57.2%	66.6%	69.7%
地域図書館（図書室）を「ほとんど利用しない」の割合	54.9%	69.2%	73.7%
書店・古書店を「ほとんど利用しない」の割合	15.7%	22.6%	31.1%
読書が好きかについて「とても好き」「わりと好き」の合計割合	69.4%	63.0%	57.7%

進路希望について「その他」「まだ決まっていない」「無回答」であったものは、ここでは比較の対象外とした。

《読み取れること・ポイント》

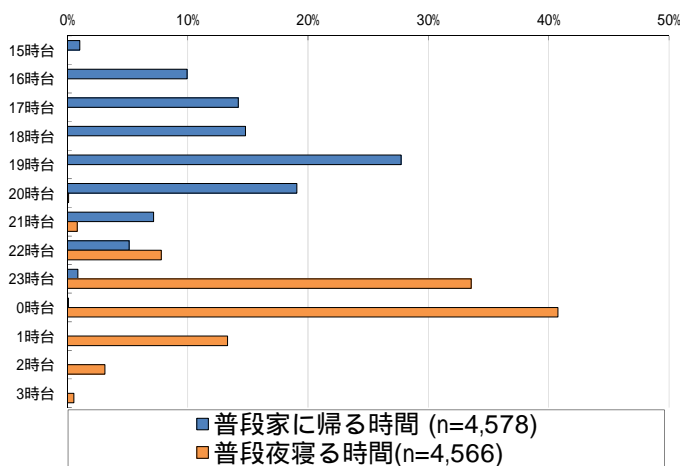
大学への進学希望者のほうが本を読む習慣が身についている生徒が多いと考えられ、本を読むかどうかは、一定程度学習習慣等と関連性があるのではないかと推察される。

生活習慣(普段家にいる時間)

高校生が普段家に帰る時間についてみると、「19 時台」である生徒の割合が最も多く、また、寝る時間については、「0 時台」の生徒が最も多くなっている(図表 2-2-5)。

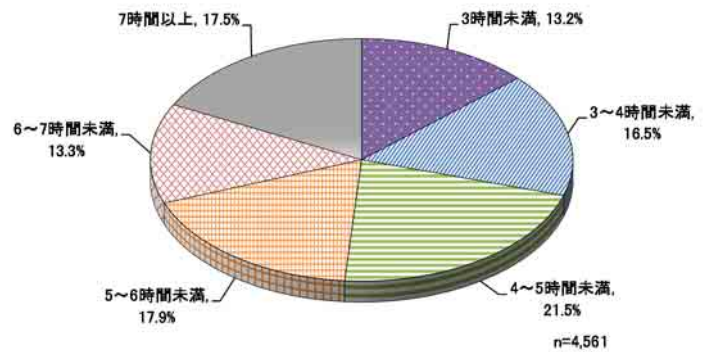
家に帰る時間から寝る時間までの間の時間を「普段家にいる時間」とし(図表 2-2-6)「4 時間未満」「4 時間～6 時間未満」「6 時間以上」の 3 群に分類して、1 か月の読書冊数の違いについてみると、読んだ本が「0 冊」の割合(不読率)は、家にいる時間が短い生徒のほうが高くなっている(図表 2-2-7)。

図表 2-2-5 高校生の「普段家に帰る時間」と「普段夜寝る時間」の回答の分布



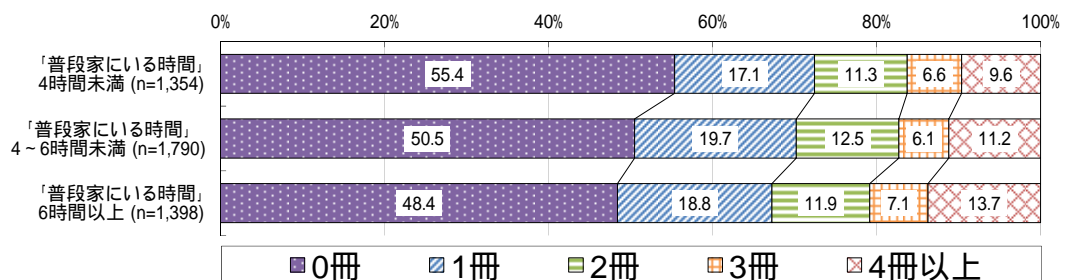
それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

図表 2-2-6 「普段家にいる時間」の分布



帰宅時間あるいは就寝時間が「無回答」であったことにより、在宅時間が算出不可のものは除いて集計した。

図表 2-2-7 「普段家にいる時間」と最近 1 か月で読んだ本の冊数との関係



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

普段家にいる時間が短い生徒のほうが不読率は高く、「忙しさ」が本を読まない理由のひとつとなっているのではないかとということがうかがえる。

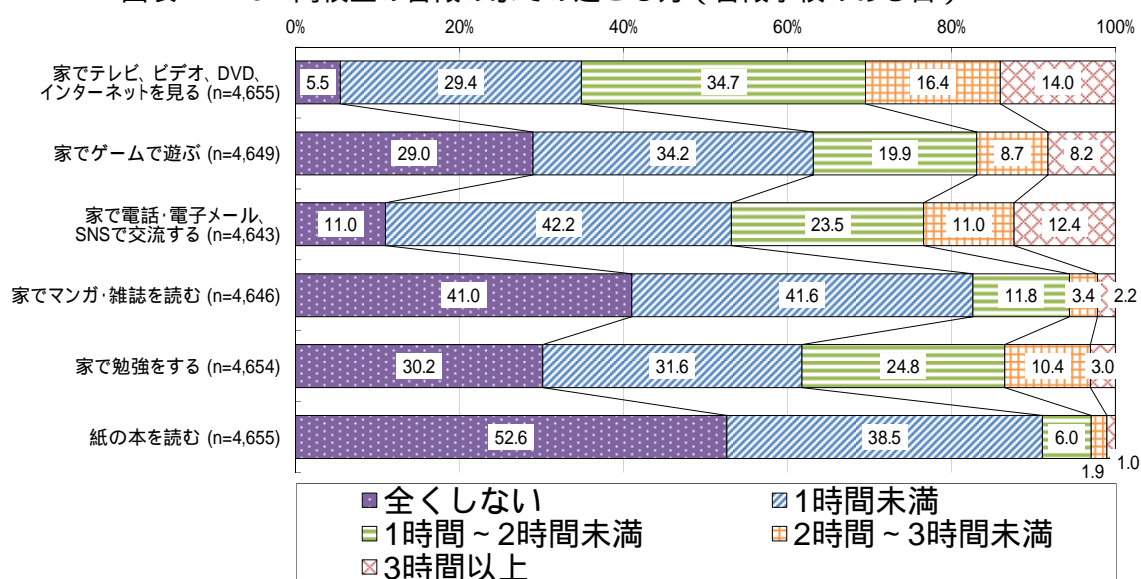
生活習慣（普段の家での他の活動時間）

普段学校のある日に、高校生が家でどのようなことをしているかについてみると、「テレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る」が最も時間が長く、「電話・電子メール、SNSで交流する」も時間が長くなっていることがわかる（図表 2-2-8）。

なお、「ゲームで遊ぶ」との回答は「勉強する」と同程度の時間であり、「マンガ・雑誌を読む」時間は勉強やゲームの時間よりも短い。

また、これらの活動と比べると、「紙の本を読む」については1日でかけられている時間がさらに短い状況にあることがわかる。

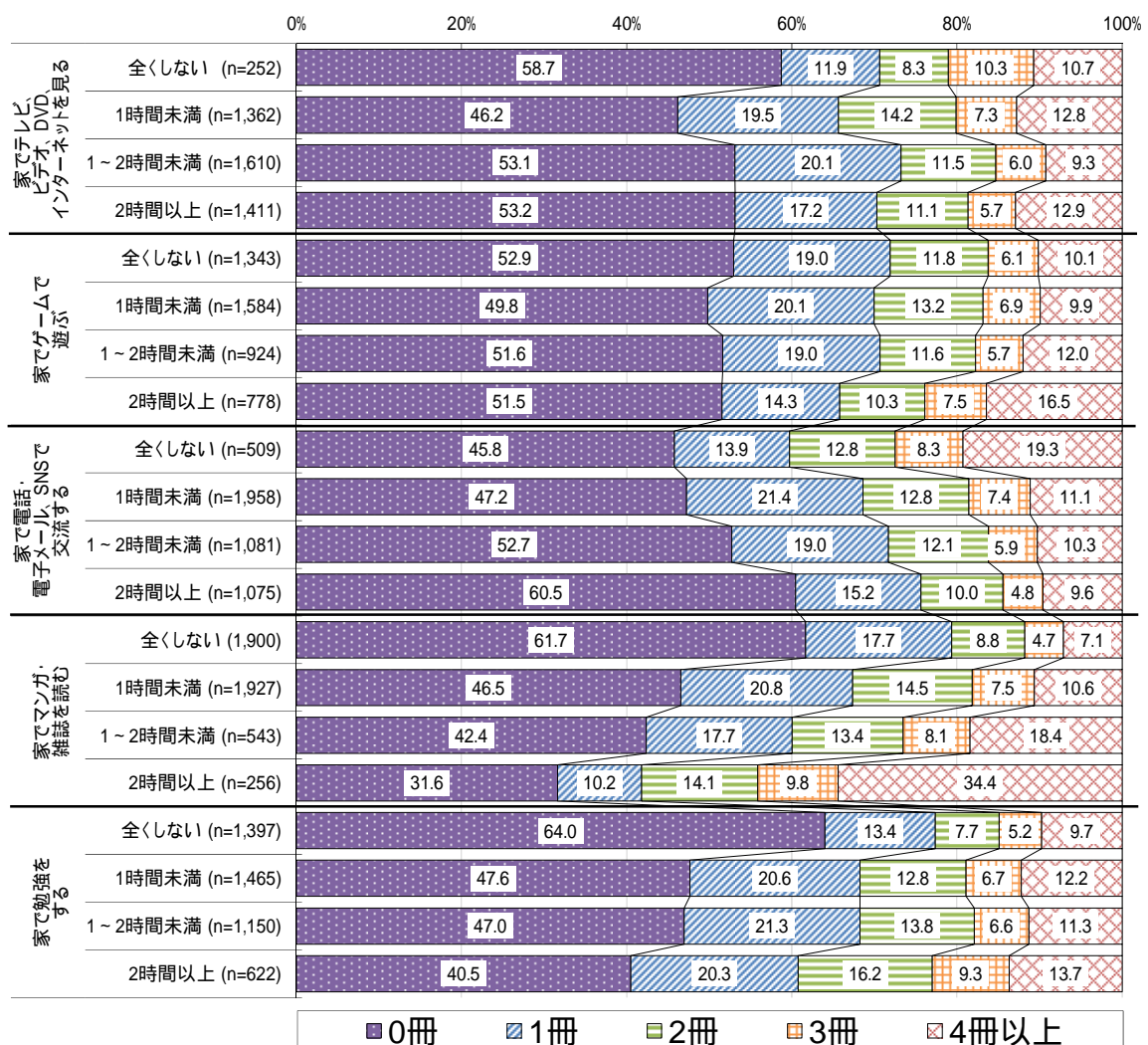
図表 2-2-8 高校生の普段の家での過ごし方（普段学校のある日）



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

普段学校のある日の家での時間の使い方と、1か月の読書冊数との関係についてみると、「電話・電子メール、SNSで交流する時間」については、時間が長い生徒のほうが1か月に読んだ本が「0冊」の割合（不読率）は高くなっている（図表2-2-9）。逆に、「マンガ・雑誌を読む時間」については、時間が長い生徒のほうが不読率は低い傾向が見られる。

図表2-2-9 高校生の普段の家での過ごし方（普段学校のある日）と最近1か月に読んだ本の冊数との関係



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

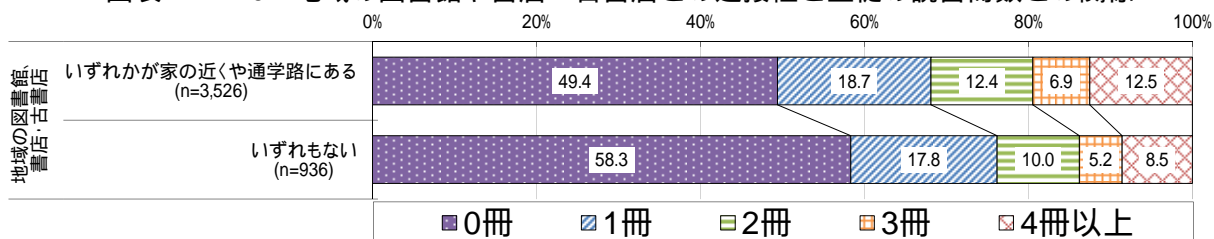
《読み取れること・ポイント》

「忙しさ」は本を読まない理由のひとつとなっていると想定される(図表2-2-7)が、必ずしも家で他のことをしている時間が長いから本を読むことができないわけではないと考えられる。マンガ・雑誌を読む時間が相対的に長い生徒は、一般的な本についても多く読むという傾向が見られる。

居住地域との関係

個々人の居住地域に関することとして、「地域の図書館」と「書店・古書店」について、いずれかが家の近くや通学路の途中にある生徒と、いずれも近くにないと回答した生徒で1か月の読書冊数の違いについてみると、いずれも近くにない生徒の不読率は58.3%と高くなっている(図表2-2-10)。

図表 2-2-10 地域の図書館や書店・古書店との近接性と生徒の読書冊数との関係



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

1か月の読書冊数(不読率)以外の点に着目して別途行った分析の結果からは、「地域の図書館」と「書店・古書店」についていずれも近くにないと回答した生徒では、実際に地域の図書館や書店・古書店を利用していない割合が高いことを確認することができる(図表2-2-11)。また、読書が好き(「とても好き」「わりと好き」と回答した生徒の割合が低いこともわかる。

図表 2-2-11 地域の図書館や書店・古書店との近接性と生徒の読書量等との関係

着目した点	地域の図書館や書店・古書店が家の近くや通学路の途中にある	いずれも家の近くや通学路の途中にはない
この1か月に読んだ本が「0冊」の割合	49.4%	58.3%
この1か月に読んだ本の平均冊数	1.79冊	1.40冊
夏休みに読んだ本が「0冊」の割合	31.6%	45.5%
夏休みに読んだ本の平均冊数	3.03冊	2.24冊
普段学校のある日に紙の本を「全く読まない」割合	51.1%	57.9%
学校のない休みの日に紙の本を「全く読まない」割合	54.8%	64.3%
学校図書館(図書室)を「ほとんど利用しない」の割合	60.9%	69.5%
地域の図書館(図書室)を「ほとんど利用しない」の割合	59.3%	77.0%
書店・古書店を「ほとんど利用しない」の割合	16.4%	37.1%
読書が好きについて「とても好き」「わりと好き」の合計割合	67.6%	54.9%

《読み取れること・ポイント》

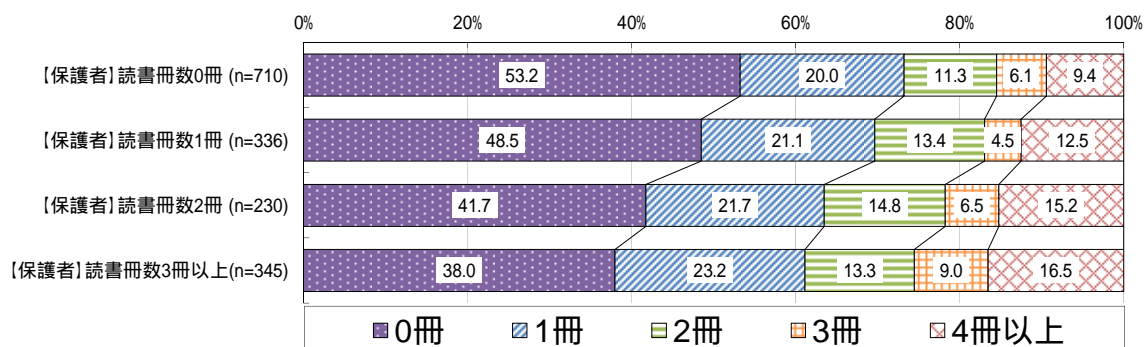
家の近くや通学路の途中に地域の図書館や書店・古書店がない生徒では、不読率が高いほか、読書が好きと回答する割合が低く、これらから、地域の環境が生徒の読書に関する行動面・心理面に及ぼす影響も小さくはないのではないかと推察される。

(3) 家庭環境との関係

保護者の読書量との関係

保護者が1か月間に本を読んだ冊数別に、その家庭の生徒の読書冊数を見ると、保護者が読んだ本の冊数が「0冊」の場合、生徒が1か月に読んだ本が「0冊」の割合(不読率)は53.2%であった。同様に、保護者が読んだ本の冊数が「1冊」の場合には生徒の不読率は48.5%、「2冊」の場合には不読率は41.7%、「3冊以上」の場合には不読率は38.0%と、保護者が本を多く読む家庭の生徒のほうが不読率は低くなっている(図表2-3-1)。

図表2-3-1 保護者の1か月の読書冊数と高校生(子供)の読書冊数との関係

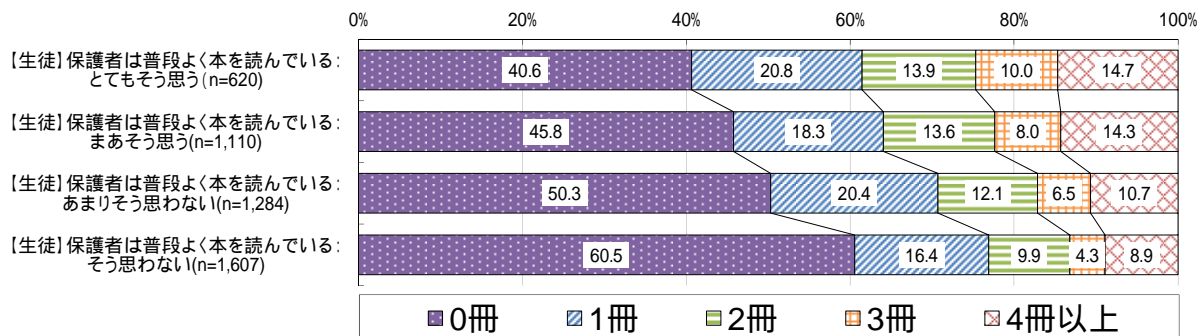


保護者の読書冊数は、保護者調査での保護者自身による回答である。それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

保護者の読書量に対する認識と高校生の読書量との関係

「あなたの保護者は普段よく本を読んでいると思いますか」との設問に「とてもそう思う」と回答した生徒については、1か月に読んだ本が「0冊」の割合(不読率)は40.6%、他方で、「そう思わない」と回答した生徒の不読率は60.5%であり、保護者の読書量をどのように認識しているかによって、生徒自身の読書量等についても違いが見られる(図表2-3-2)。

図表2-3-2 保護者の読書量に対する認識と高校生の読書冊数との関係

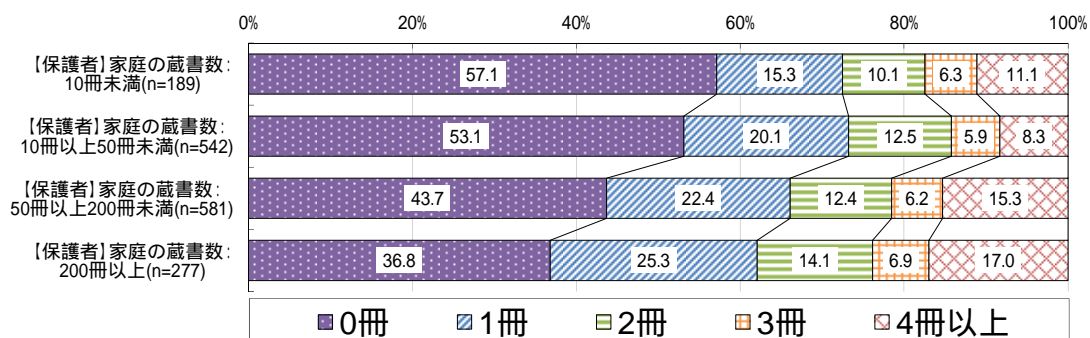


保護者の読書量に対する認識は、生徒による回答である。それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

家にある本の冊数との関係

保護者から回答を得た家庭の蔵書数について、「10冊未満」「10冊以上50冊未満」「50冊以上200冊未満」「200冊以上」の4群に分類し、生徒の読書量・読書習慣の違いについてみると、1か月に読んだ本が「0冊」の割合（不読率）は、家に本が多くある生徒のほうが低くなっている（図表2-3-3）。

図表 2-3-3 家にある本の冊数と高校生（子供）の読書冊数との関係



家庭の蔵書数は、保護者向け調査での、保護者による回答に基づき、「まったくない」「10冊未満」「10冊～50冊未満」「50冊～100冊未満」「100冊～200冊未満」「200冊～500冊未満」「500冊以上」の選択肢による回答を再分類して集計した。なお、「わからない」との回答は集計対象外とした。それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

保護者が本を多く読む家庭の生徒のほうが不読率は低く、また、家庭の蔵書数が多いほど不読率が低くなっている。なお、本調査におけるこれらの分析結果は、生徒向け調査と保護者向け調査のそれぞれから把握された情報の組み合わせにより得られたものであり、蓋然性が高いと考えられる。

また、高校生の1か月の読書冊数は、保護者がどの程度本を読んでいるかについての生徒（子供）の認識によっても差が見られ、家庭環境の影響の大きさがうかがえる。

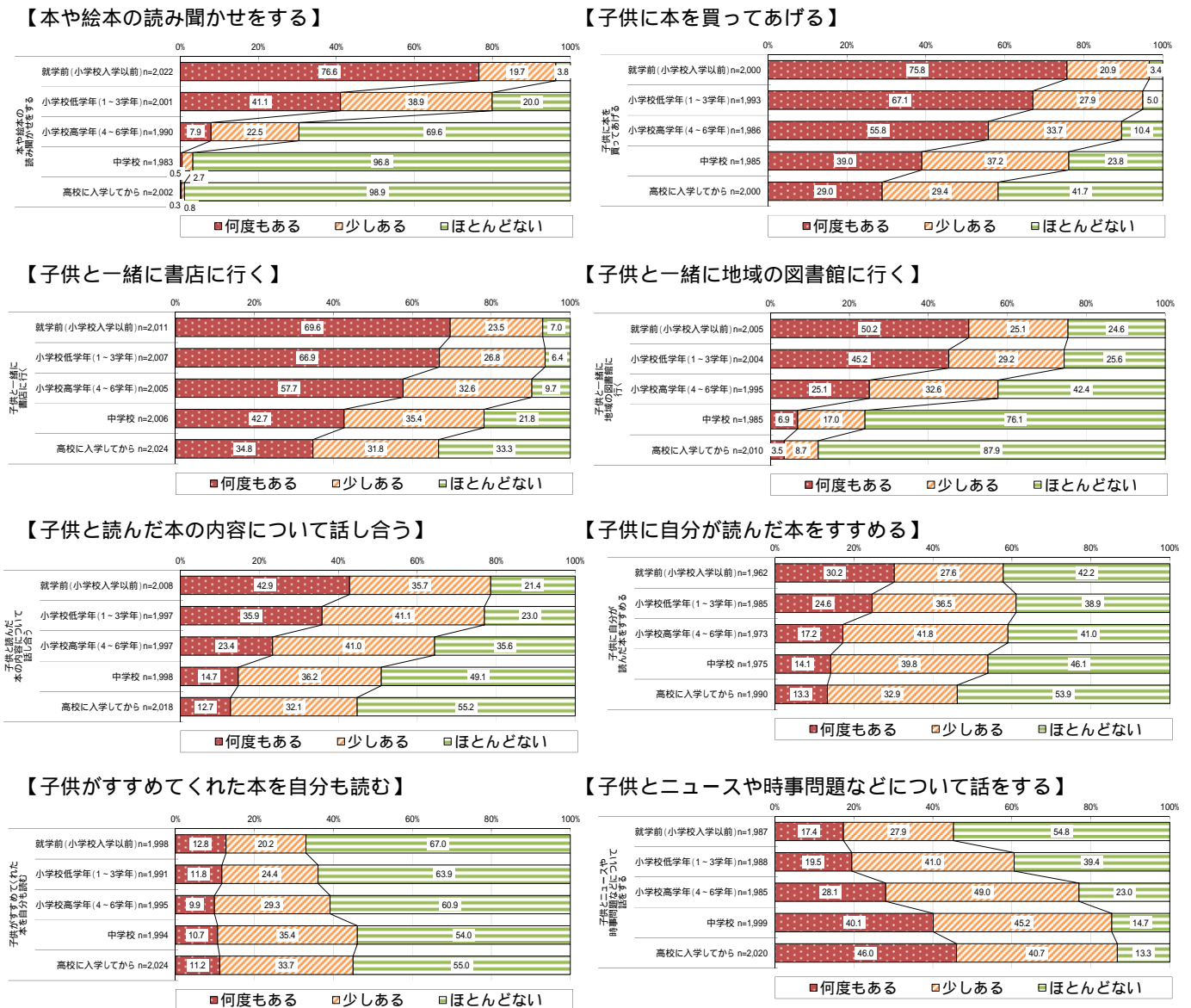
幼少期からの保護者の関与との関係

読書に関連する子供と保護者のかかわり方について、子供の成長の段階別に見ると、例えば、「本や絵本の読み聞かせをする」は就学前や小学校低学年の段階でよく行われているが、その後そのようなかかわり方は少なくなっている(図表2-3-4)。

このほか、全体としては、子供の成長とともに、読書に関する保護者と子供とのかかわりの機会・度合いは減少していく傾向にあることがわかる。ただし、全ての面においてその傾向が見られるわけではなく、「子供がすすめてくれた本を自分も読む」については、子供の成長によってその機会は次第に多くなっていることがうかがえる。

また、必ずしも読書に直接的に関係したことではないが、「ニュースや時事問題などについて話をする」についても、子供の成長とともに機会が次第に多くなっており、親子の関係性が変容していることがわかる。

図表 2-3-4 就学前から高校に至るまでの読書に関する保護者の関係性の変化



それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

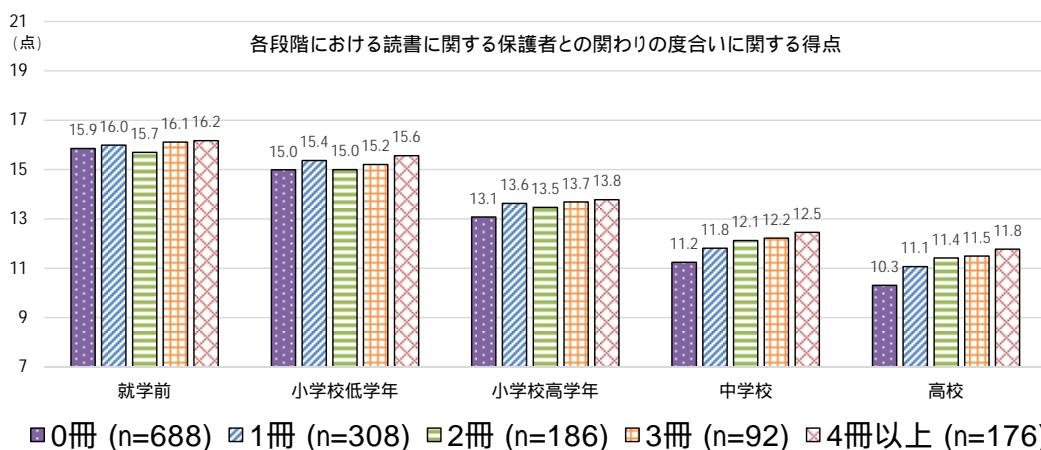
読書に関する保護者と子供との関係性について、「就学前」から「高校」までの各段階におけるかかわり方の度合いを得点化し、高校生の時点で1か月の読書冊数との関係性との把握を試みた(図表2-3-5)。なお、1~3点の得点を7項目について足し合わせているため、最低点は7点、最高点は21点の指標となっている。

1か月の読書冊数別に、「就学前」から「高校」までの各段階における読書に関する保護者とのかかわりの度合いに関する指標の平均値を見ると、例えば「就学前」に関しては、必ずしも1か月の読書冊数が「0冊」の生徒について得点が低いかといえばそうではなく、得点の平均値が最も低いのは読書冊数が「2冊」の生徒となっている。

「小学校低学年」の段階においても、読書冊数が「3冊」の生徒のほうが「1冊」の生徒よりも得点の平均値が低くなっており、また、「0冊」の生徒と「2冊」の生徒とで同程度の水準となっているなど、明確な関連性が見られるわけではないことがわかる。

他方で、「中学校」「高校」の段階では、1か月の読書冊数が多い生徒ほど、保護者とのかかわり方の度合いに関する指標の平均値が高いという傾向にある。読書冊数が多い生徒では、これらの段階でも保護者と生徒(子供)との関係性が継続しているという傾向があるのではないかと考えられる。

図表2-3-5 幼少期からの保護者とのかかわり方と高校生の読書量との関係



保護者向けの調査での、「本や絵本の読み聞かせをする」「子供に本を買ってあげる」「子供と一緒に書店に行く」「子供と一緒に地域の図書館に行く」「子供と読んだ本の内容について話し合う」「子供に自分が読んだ本をすすめる」「子供がすすめてくれた本を自分も読む」の7項目について、「何でもある」を3点、「少しある」を2点、「ほとんどない」を1点として、教育段階別に足し合わせて得点化して、生徒(子供)の1か月の読書冊数別にその得点の平均値を算出した。いずれについても回答があったもの(無回答ではなかったもの)を集計対象とした。

なお、「子供とニュースや時事問題などについて話をする」を含めて得点化してもほぼ同様の傾向が見られる。

《読み取れること・ポイント》

高校生の段階で1か月の読書冊数が多い生徒では、読書に関する保護者との関係性が、中学校段階以降もある程度継続しているのではないかと考えられる。

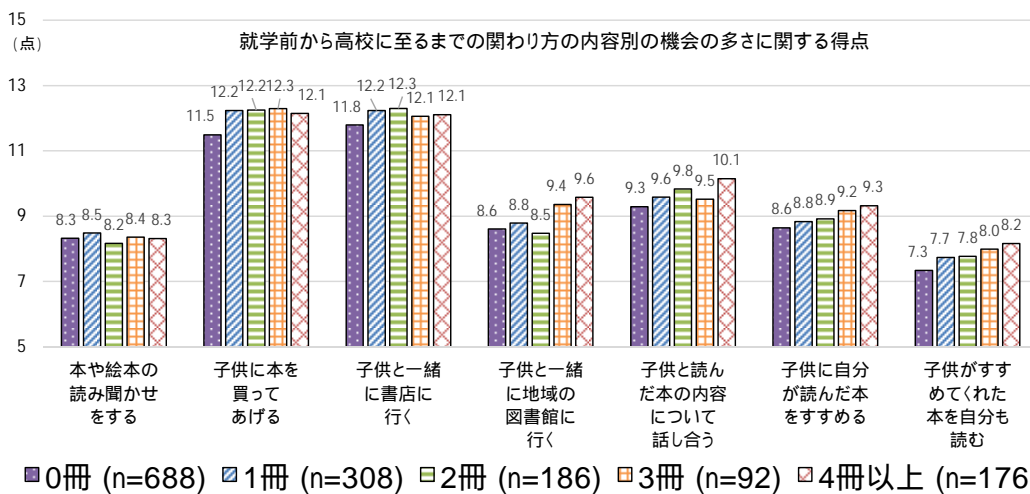
次に、視点を変え、保護者と生徒(子供)とのかかわり方の内容別に、「就学前」から「高校」に至るまでの間の機会の多さを得点化して、高校生の時点での読書量との関係性について把握を試みた(図表2-3-6)。なお、それぞれ、1~3点の得点を5項目について足し合わせているため、最低点は5点、最高点は15点の指標となっている。

これらのうち、「本や絵本の読み聞かせをする」については、主に就学前や小学校低学年の段階で行われており、回答のばらつきが小さいこともあってか、読書冊数が「0冊」の生徒と「4冊以上」の生徒の得点の平均値は同程度であり、読書量が少ない生徒と多い生徒の間に明確な傾向性は見られないことがわかる。

他方で、「子供に自分が読んだ本をすすめる」「子供がすすめてくれた本を自分も読む」については、読書量が多い生徒ほど指標の平均値が高く、本を多く読む生徒では、就学前から高校に至るまでに、保護者とそのようなかかわり方をしていることが多いことがうかがえる。

このほか、「子供に本を買ってあげる」については、「0冊」の生徒と「1冊」以上の生徒との差が大きくなっていることなども見て取れる。

図表2-3-6 保護者のかかわり方の内容と高校生の読書量との関係



保護者向け調査での、読書に関する子供とのかかわり方をたずねた各内容について、「就学前(小学校入学以前)」「小学校低学年」「小学校高学年」「中学校」「高校に入学してから」の各段階において「何度もある」を3点、「少しある」を2点、「ほとんどない」を1点として足し合わせて得点化し、生徒(子供)の1か月の読書冊数別にその得点の平均値を算出した。いずれについても回答があったもの(無回答ではなかったもの)を集計対象とした。なお、「高校に入学してから」を除き、中学校段階までの回答により得点化したもので集計しても、ほぼ同様の傾向が見られる。

《読み取れること・ポイント》

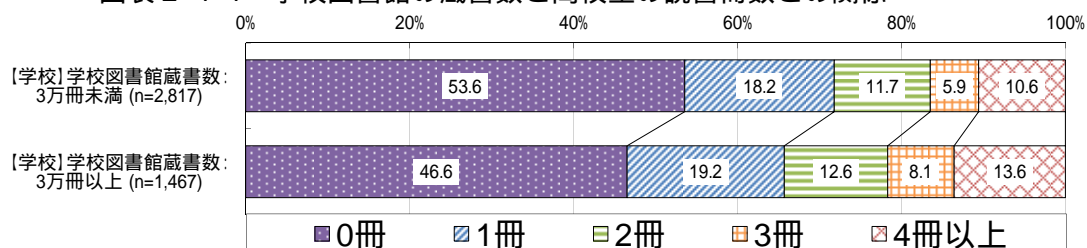
読書冊数が多い生徒に関しては、読書冊数が少ない生徒に比べて、就学前から高校生に至るまでに、保護者との間でおすすめの本を紹介しあうなどの機会がより多いのではないかと考えられる。

(4) 学校・図書館環境との関係

学校図書館の蔵書数・図書購入費との関係

学校図書館の蔵書数を「3万冊未満」と「3万冊以上」で2分類し、生徒の読書冊数との関係についてみると、1か月に読んだ本が「0冊」の割合（不読率）は、「3万冊以上」と、蔵書数が多い学校のほうが低くなっている（図表2-4-1）。

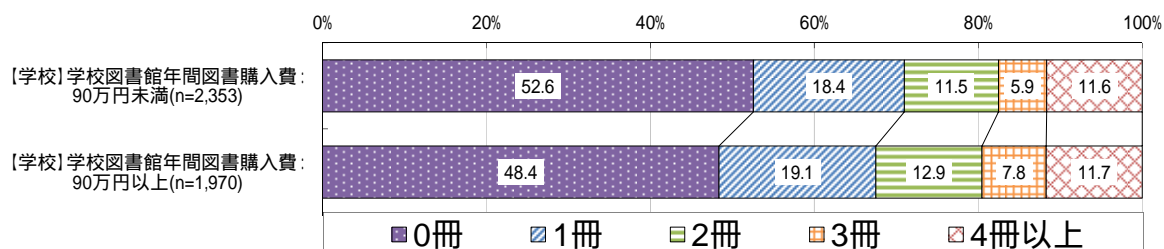
図表2-4-1 学校図書館の蔵書数と高校生の読書冊数との関係



学校図書館の蔵書数は、学校向け調査での、学校からの回答によるものである。それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

また、学校図書館の年間の図書購入費を「90万円未満」と「90万円以上」で2分類し、生徒の読書冊数との関係についてみると、1か月に読んだ本が「0冊」の割合（不読率）は、「90万円以上」と、図書購入費が多い学校のほうが低くなっている（図表2-4-2）。

図表2-4-2 学校図書館の図書購入費と高校生の読書冊数との関係



学校図書館の年間の図書購入費額は、学校向け調査での、学校からの回答によるものである。それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

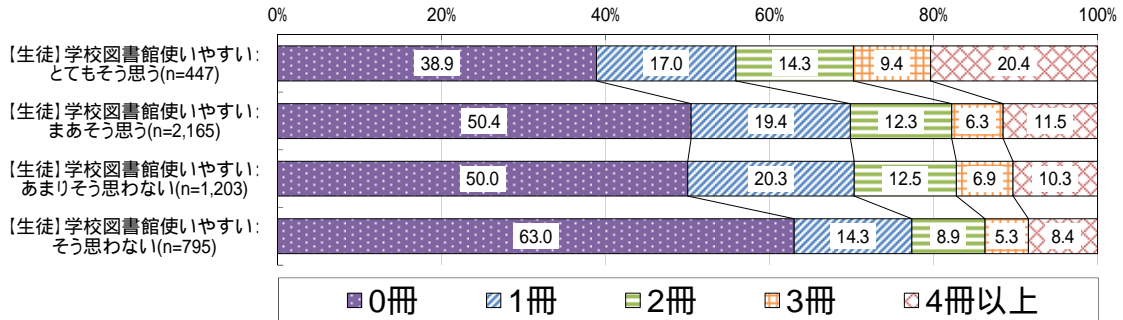
《読み取れること・ポイント》

学校図書館の蔵書数が多い学校の生徒や年間の図書購入費の額が多い学校の生徒では不読率が低くなっており、学校図書館の整備状況と読書冊数との間には一定の関連性があることがうかがえる。

生徒から見た学校図書館の「使いやすさ」との関係

学校図書館の環境整備と生徒の読書量・読書習慣との関係性について、生徒自身の主観による「使いやすさ」と、読書量との関係について見ると、学校図書館を使いやすいと思うかについて「とてもそう思う」と認識している生徒では不読率が低く、「そう思わない」と認識している生徒では不読率が高くなっている(図表2-4-3)。

図表 2-4-3 学校図書館の「使いやすさ」と高校生の読書冊数との関係



学校図書館の使いやすさについての認識は、生徒による回答である。
それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

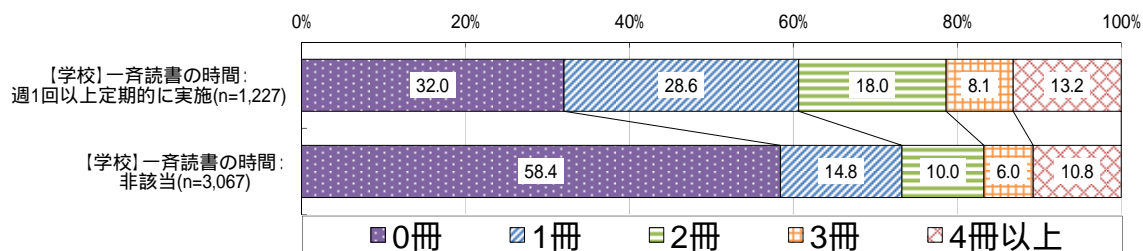
《読み取れること・ポイント》

生徒の読書冊数を増やしていくためには、学校図書館について、蔵書数等の充実だけでなく、生徒によってより「使いやすい」と思われるように整備をしていくことが重要であると考えられる。

一斉読書の時間の設定との関係

一斉読書の時間を週に1回以上定期的に設定している学校の生徒では、1か月に読んだ本が「0冊」の割合（不読率）は32.0%であった。他方で、一斉読書の時間を設定していない、または実施していても不定期での開催や実施頻度が低い学校の生徒では不読率は58.4%であり、差が大きいことがわかる（図表2-4-4）。

図表2-4-4 一斉読書の時間の設置状況と高校生の読書冊数との関係



一斉読書の実施状況については、学校向け調査での、学校からの回答によるものである。「基本的に毎日行っている」「週に複数回、定期的に行っている」「週に1回、定期的に行っている」を「週1回以上定期的に実施」とし、「月に数回程度、定期的に行っている」「不定期に行っている」「行っていない」を「非該当」として集計した。それぞれ、「無回答」は除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

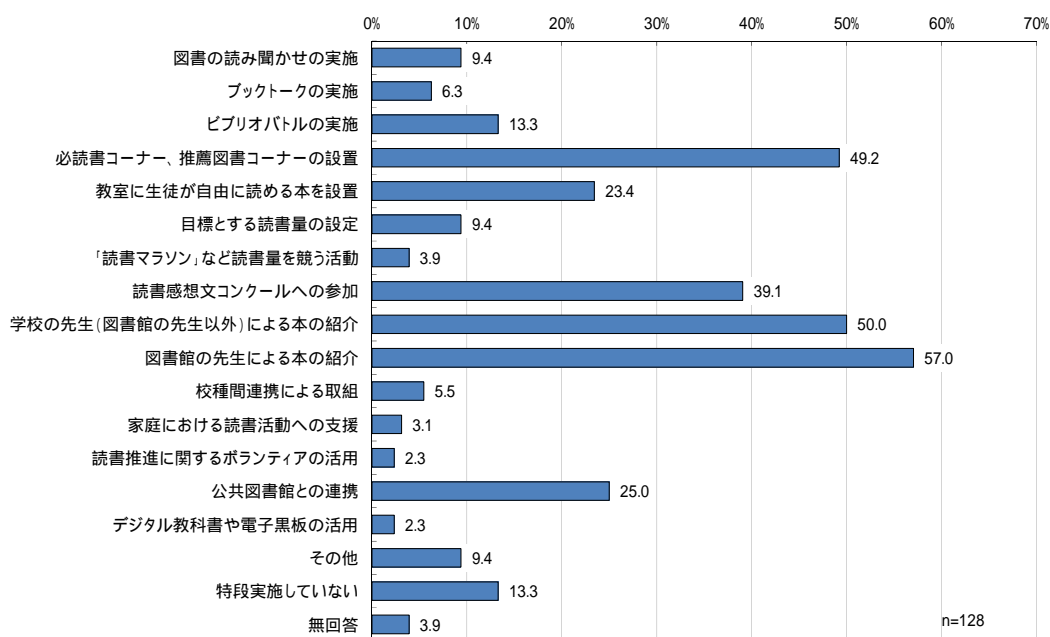
学校内で一斉読書の時間があることで、1か月に1冊以上本を読むようになっている生徒が一定程度いることが把握される。

高校生の読書の実態として、休日よりも平日のほうが本を読んでいる生徒の割合が高いこと（図表1-2-1）や、教室で本を読む生徒の割合が高いこと（図表1-8-1）が明らかになっているが、この背景には、学校内で実施される一斉読書の影響もあるのではないかと推察される。

読書活動推進に関する各種の取組との関係

一斉読書の時間のほか、各学校（学級）で読書活動推進のために取組まれていることとして、最も多いのは「図書館の先生による本の紹介」であり、次いで、「学校の先生（図書館の先生以外）による本の紹介」、「必読書コーナー、推薦図書コーナーの設置」となっている。これらの取組は、回答のあった学校（学級）の約半数で実施されている（図表 2-4-5）。
 なお、学級での読書活動推進のための取組に関し、「特段実施していない」学校は1割強となっている。

図表 2-4-5 学級で読書活動推進のための取組として実施していること（複数回答）

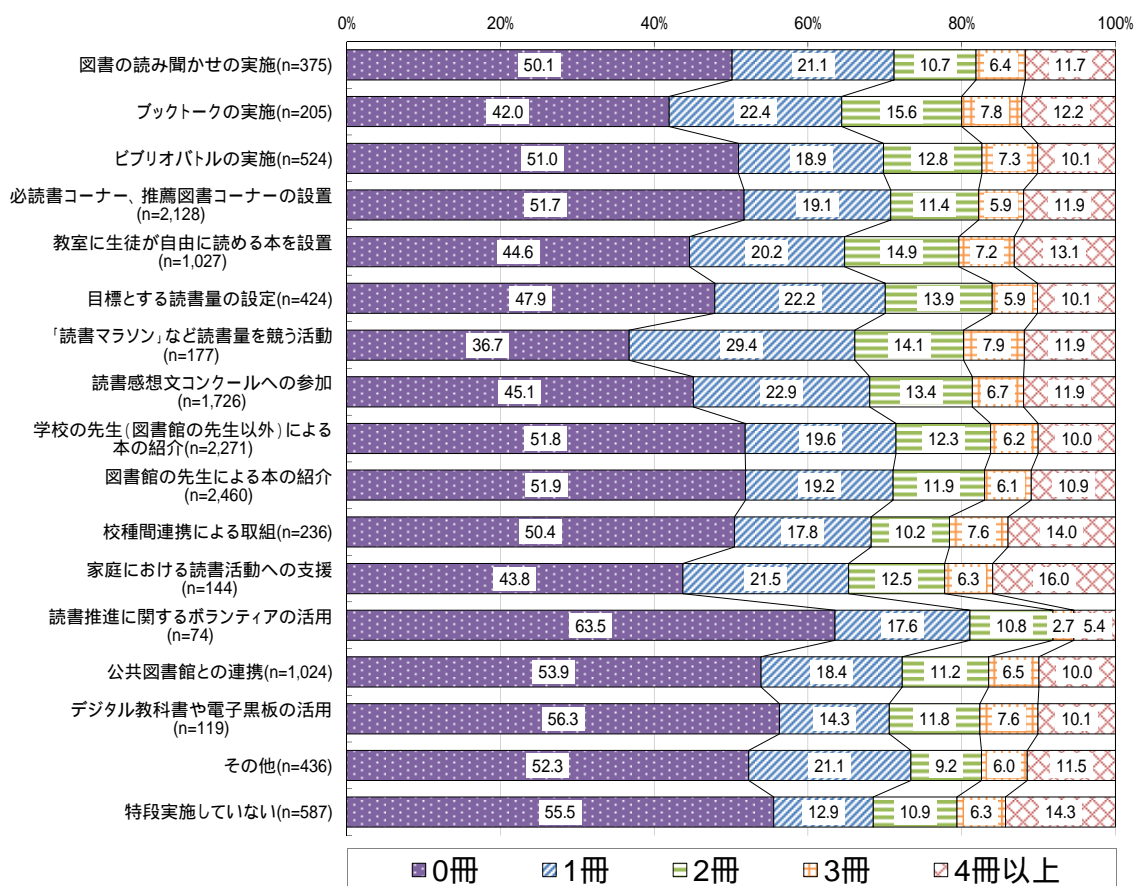


学校向け調査の回答結果である。

学校(学級)で実施されている、読書活動推進のための各種の取組と生徒の1か月の読書冊数との関係性についてみると、「読書推進に関するボランティアの活用」と「デジタル教科書や電子黒板の活用」の項目を除き、各種の取組を実施している学校(学級)では、「特段実施していない」学校に比べて生徒の不読率は低くなっている(図表2-4-6)。

これらのうち、「『読書マラソン』など読書量を競う活動」や「ブックトークの実施」「家庭における読書活動への支援」を行っている学校(学級)の生徒では、不読率が特に低くなっている。また、「読書感想文コンクールへの参加」や「教室に生徒が自由に読める本を設置」を実施している学校(学級)の場合にも不読率は低くなっているが、図表2-4-5の結果とあわせて見ると、これらは、実施している学校(学級)の割合が相対的に高い取組であることも確認される。

図表2-4-6 学級で実施されている読書活動推進のための取組と生徒の読書量との関係



それぞれ、「実施されている」と回答のあった学校に限定して、生徒の読書冊数を集計した。読書冊数について「無回答」は除いて集計した。

《読み取れること・ポイント》

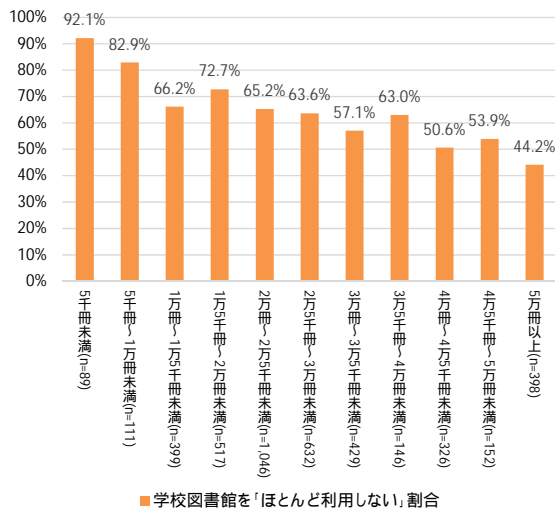
読書推進に関する各種の取組について、実施している学校(学級)の生徒では「特段実施していない」学校に比べて生徒の不読率は低くなっている項目が多く、これらの取組を推進している学校では、本を読まない生徒に対する働きかけ等がうまくなされているのではないかと推察される。

学校図書館の利活用の状況に関する分析

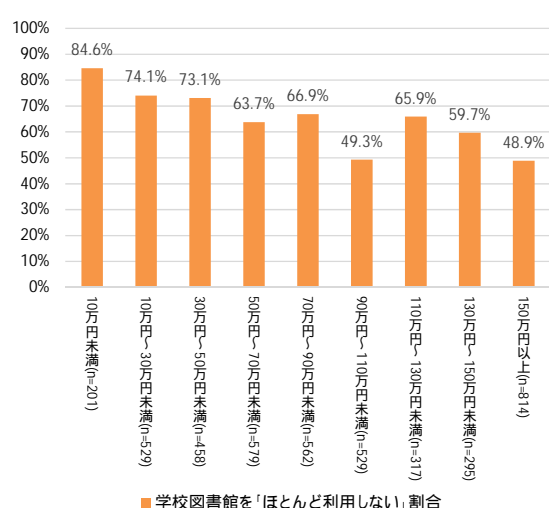
最後に、1か月の読書冊数とは別の観点から、生徒の学校図書館の利用の状況に着目し、学校図書館の整備状況や、各種の取組状況等との関連性について把握を行った。

まず、学校図書館の蔵書数や図書購入費額が多い学校では、年間を通じて学校図書館を「ほとんど利用しない」生徒の割合は低い傾向にあることがわかる(図表2-4-7、図表2-4-8)。

図表 2-4-7 学校図書館の蔵書数と学校図書館利活用の状況



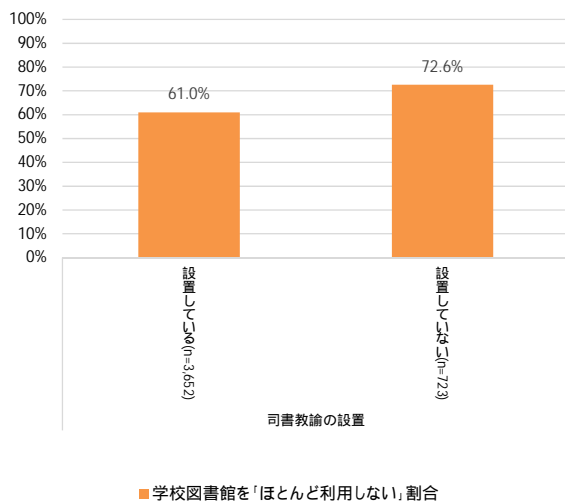
図表 2-4-8 学校図書館の図書購入費と学校図書館利活用の状況



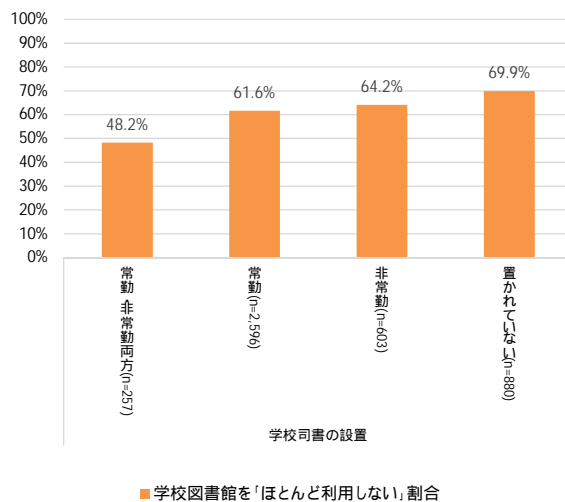
1か月の読書冊数、学校図書館の利用状況ともに回答があった生徒を集計対象とした。

次に、司書教諭や学校司書の設置状況、または学校図書館の蔵書のデータベース化の状況や、生徒が使用可能なコンピュータの設置の有無との関係についてみると、これら、学校図書館の体制が整っている学校のほうが、学校図書館を「ほとんど利用しない」生徒の割合が低くなっていることが見て取れる(図表2-4-9～図表2-4-12)。

図表 2-4-9 司書教諭の配置と学校図書館利活用の状況

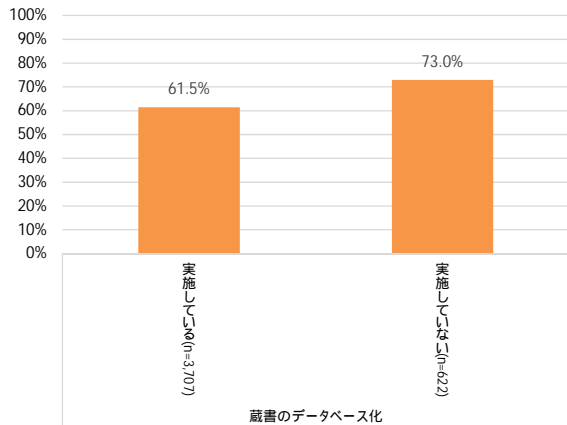


図表 2-4-10 学校司書の設置と学校図書館利活用の状況

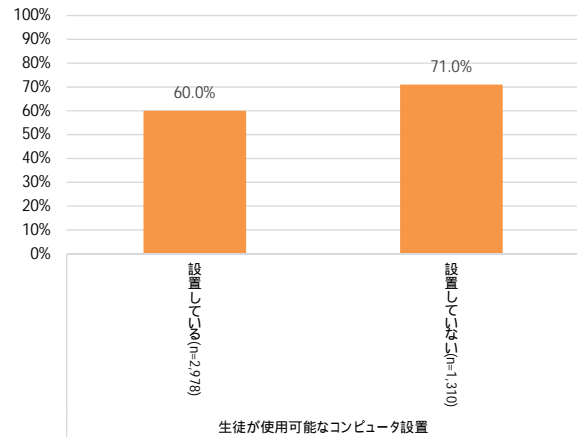


1か月の読書冊数、学校図書館の利用状況ともに回答があったものを集計対象とした。

図表 2-4-11 蔵書のデータベース化と学校図書館利活用の状況



図表 2-4-12 コンピュータ設置の状況と学校図書館利活用の状況



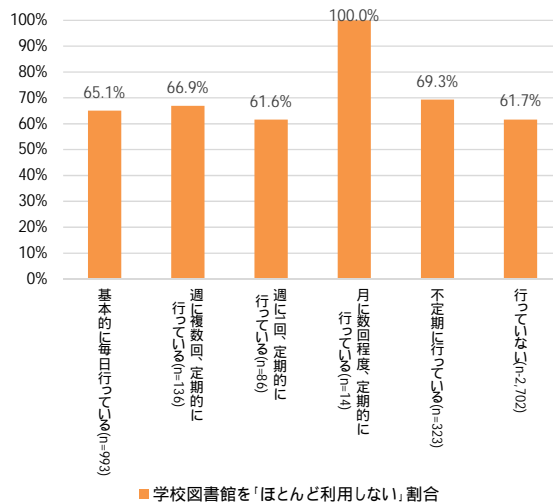
■ 学校図書館を「ほとんど利用しない」割合

■ 学校図書館を「ほとんど利用しない」割合

1 か月の読書冊数、学校図書館の利用状況ともに回答があったものを集計対象とした。

他方で、一斉読書の時間の設定状況との関係性について、週に1回以上定期的を実施している学校とそれ以外の学校とで、学校図書館の利活用の状況に関しては、明確な傾向性が見られないことがわかる(図表 2-4-13)。

図表 2-4-13 一斉読書の実施と学校図書館利活用の状況



1 か月の読書冊数、学校図書館の利用状況ともに回答があったものを集計対象とした。

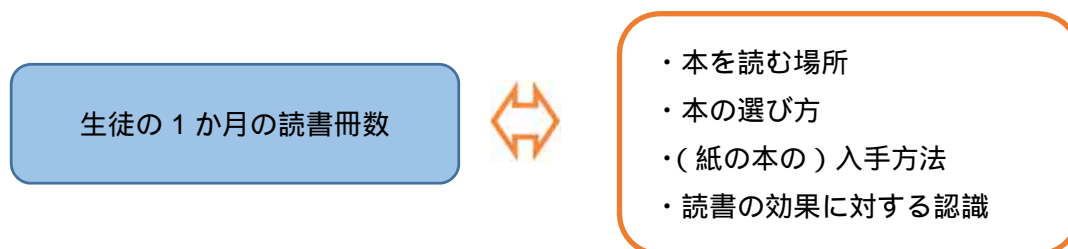
《読み取れること・ポイント》

司書教諭や学校司書の配置等も含めた学校図書館環境の充実度合いは、生徒が学校図書館を活用する度合いと関連性があると考えられる。
 学校図書館が「使いやすい」と認識している生徒では不読率が低くなっている(図表 2-4-3)ことから、一斉読書の実施等、直接的に読書量の増加に働きかける取組とは別に、高校生が学校図書館で本を手にとるようになるために環境を充実させていくという視点も重要であると考えられる。

第3章第2節 読書量と読書習慣の関連性に関する分析

(1) 分析の枠組み・結果の概要

読書量の違いによって、読書の仕方はどのように異なるだろうか？



《分析の結果、読み取れたこと・ポイントのまとめ》

本を読む場所について、1か月間の読書冊数が0冊の生徒と1冊以上の生徒とでは、特に「教室」との回答割合の違いが大きく見られるが、このような違いが見られる背景には、学校での一斉読書の時間の設置の影響もあるのではないかと推察される。

1か月に3冊以上本を読んでいる人では、「購入する」以外にも、「借りる」ということをよくしており、学校図書館(図書室)で本を借りる割合や友達から借りる生徒の割合が高くなっている。

1か月間の読書冊数が0冊の生徒では、1冊以上読んでいる生徒と比較すると、読書の意味や効果について「能力等を高めるため」のものとして回答する割合が高く、「楽しむ」ものであるとの回答割合は低い。このことから、普段本をあまり読まない生徒は、読書を「難しい」ものとしてとらえがちなのではないかと推察される。

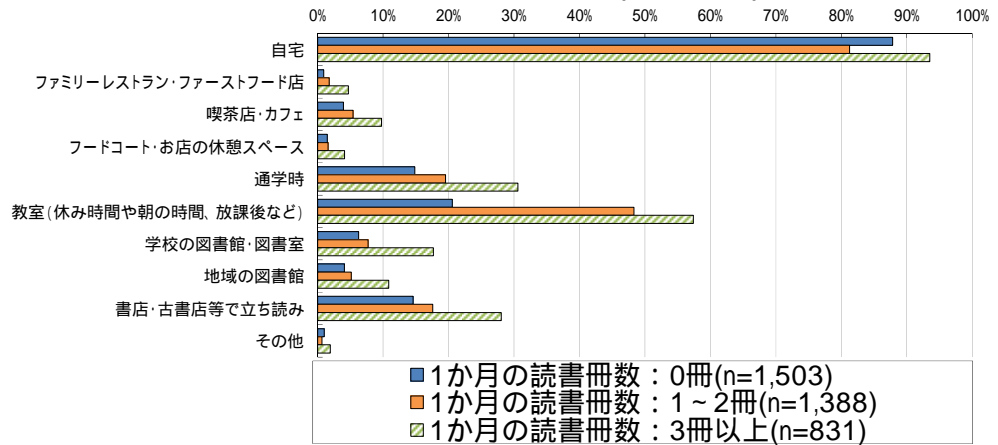
(2) 1か月の読書冊数別の読書習慣の違い

読書冊数と本を読む場所との関係

本を読む場所について、1か月間の読書冊数が0冊の生徒と1冊以上の生徒とで、特に「教室」との回答割合の違いが大きく見られることがわかる(図表3-2-1)。

なお、1か月の読書冊数が「1~2冊」の生徒と「3冊以上」の生徒とを比較すると、「3冊以上」の生徒では、様々な場所で読んでいる割合が高くなっていることがわかる。

図表 3-2-1 1か月の読書量別、本を読む場所(複数回答)

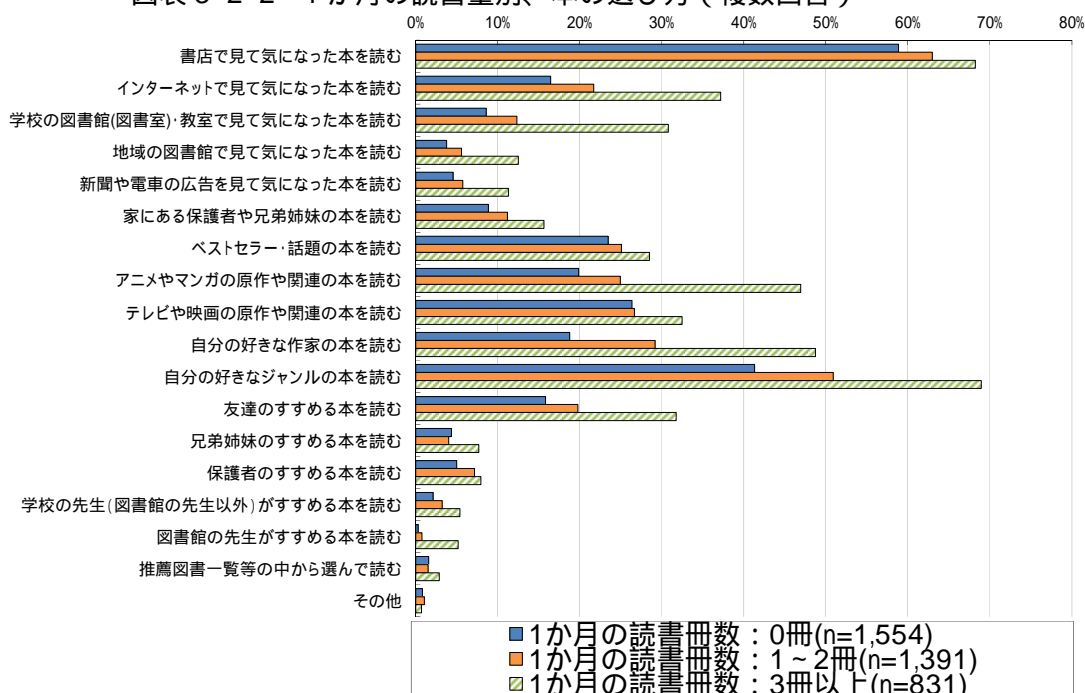


それぞれ「全く読まない」「無回答」を除いた集計値。1か月の読書冊数が0冊であっても、夏休みに読んでいる生徒や、数か月かけて1冊の本を読む生徒については回答できる設問であると考えられる。

読書冊数と本の選び方・入手方法との関係

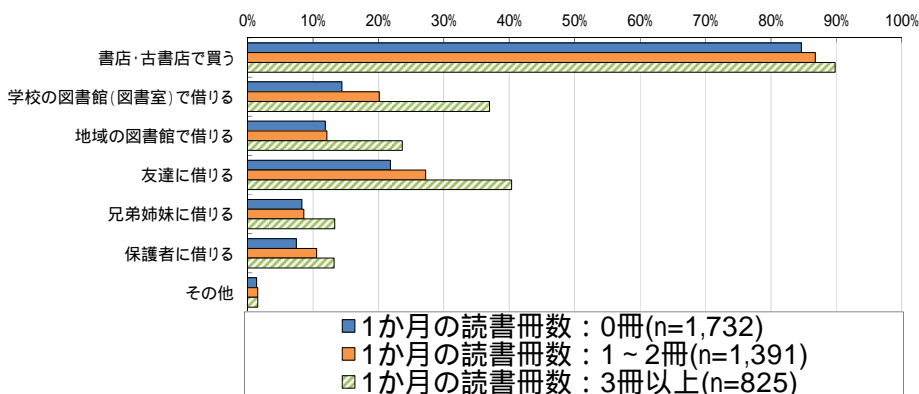
本の選び方について、本を読む生徒の中でも、1か月に3冊以上本を読んでいる人では、特に「学校の図書館(図書室)・教室で見て気になった本を読む」や「友達のすすめる本を読む」との回答割合が高くなっており(図表3-2-2)、入手の方法としても、「学校の図書館(図書室)で借りる」や「友達に借りる」との回答割合が高くなっていることがわかる(図表3-2-3)。また、ジャンルとして、1か月に3冊以上本を読んでいる人では、「自分の好きなジャンルの本を読む」「自分の好きな作家の本を読む」との回答割合が高いほか、「アニメやマンガの原作や関連の本を読む」の回答割合が顕著に高くなっている(図表3-2-2)。

図表3-2-2 1か月の読書量別、本の選び方(複数回答)



それぞれ「全く読まない」「無回答」を除いた集計値。1か月の読書冊数が0冊であっても、夏休みに読んでいる生徒や、数か月かけて1冊の本を読む生徒については回答できる設問であると考えられる。

図表3-2-3 1か月の読書量別、紙の本の入手方法(複数回答)



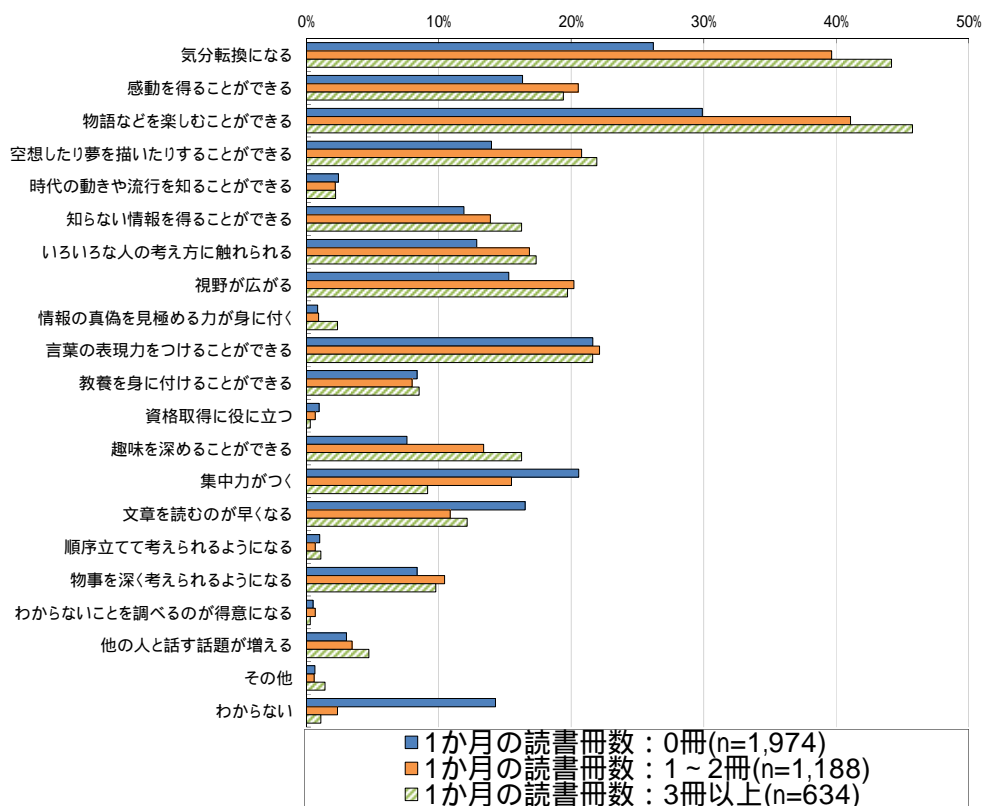
それぞれ「全く読まない」「無回答」を除いた集計値。1か月の読書冊数が0冊であっても、夏休みに読んでいる生徒や、数か月かけて1冊の本を読む生徒については回答できる設問であると考えられる。

読書冊数と読書の効果に対する認識との関係

読書の効果に対する認識について、1か月間の読書冊数が「0冊」の生徒では、「言葉の表現力をつけることができる」「教養を身に付けることができる」「集中力がつく」「文章を読むのが早くなる」などについて、1冊以上読んでいる生徒と比較して同程度、あるいはそれらの生徒よりも回答割合が高くなっている(図表3-2-4)。

他方で、「気分転換になる」や「物語などを楽しむことができる」などは回答割合が低くなっている。

図表 3-2-4 1か月の読書量別、読書の効果に対する認識(複数回答)



それぞれ、特にあてはまるもの3つまでを回答。4つ以上の項目を選択したものは集計対象外とした。また、「無回答」を除いて集計した。

1か月の読書冊数が0冊であっても、夏休みに読んでいる生徒や、数か月かけて1冊の本を読む生徒については回答できる設問であると考えられる。

第3章第3節 属性等別の不読の理由に関する分析

(1) 分析の枠組み・結果の概要

高校生はなぜ本を読まないのだろうか？



《分析の結果、読み取れたこと・ポイントのまとめ》

図表 1-4-1 から把握されるように、全体的な回答結果としては、本を読まない理由として「普段から本を読まないから」や「読みたいと思う本がないから」の回答割合が高く、本を読む習慣がないことや、興味関心等に合う本が身近にないことを理由として、本を読まない生徒が多くなっている。

その中で、属性等別の特徴としては、男性ではゲーム、女性では電話・メール・SNS 等に長い時間がかけられていることが、読書をしないことの回答理由として挙げられる割合が高い。

進路希望が4年制大学進学 of 生徒では、本を読まない理由として「勉強で時間がないから」と回答する生徒が多くなっており、短大・専門学校進学希望や就職希望の生徒では、「アルバイトで時間がなかったから」の回答割合が高いなど、「忙しさ」にも内容の違いが見られる。

家にいる時間が短い生徒では、本を読まない理由として、部活動や生徒会活動で時間がないことを挙げる生徒の割合が高く、これらの活動により「忙しい」ことにより読書をしていない生徒が一定数いることを確認することができる。

地域の図書館や書店・古書店が近くにない生徒では、そのほかの生徒と比較すると、本を読まない理由として「地域の図書館が近くにないから」「書店が近くにないから」の回答割合が高くなっており、これらの要因が本を読まない理由のひとつとなっていることを確認することができる。

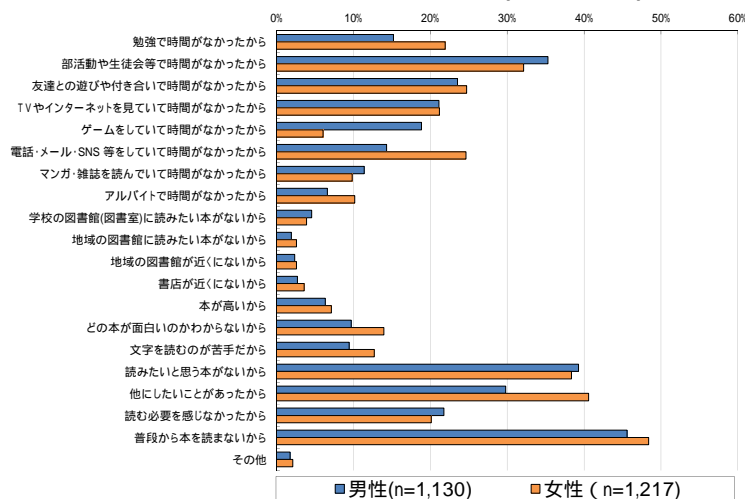
「高校生になってから読書量が減った生徒」や、「1か月間の読書冊数は0冊だが夏休み期間には1冊以上読んでいる生徒」に着目すると、1か月の読書冊数が0冊の生徒のなかには、もともと読書に関心がない生徒だけでなく、高校生になり勉強や部活動等で忙しさが増したことで、あるいは友人関係・交友関係が変化したこと等で読書量が減った生徒が含まれていることがわかる。

(2) 個人に関する要因別の特徴

性別

本を読まなかった理由についての回答を性別に見ると、男性では「部活動や生徒会等で時間がなかったから」「ゲームをしていて時間がなかったから」等についての回答割合が女性に比べて高く、女性では「勉強で時間がなかったから」「電話・メール・SNS等をしていて時間がなかったから」「他にしたいことがあったから」等の回答割合が男性に比べ高くなっている(図表4-2-1)。

図表 4-2-1 性別、本を読まない理由(複数回答)

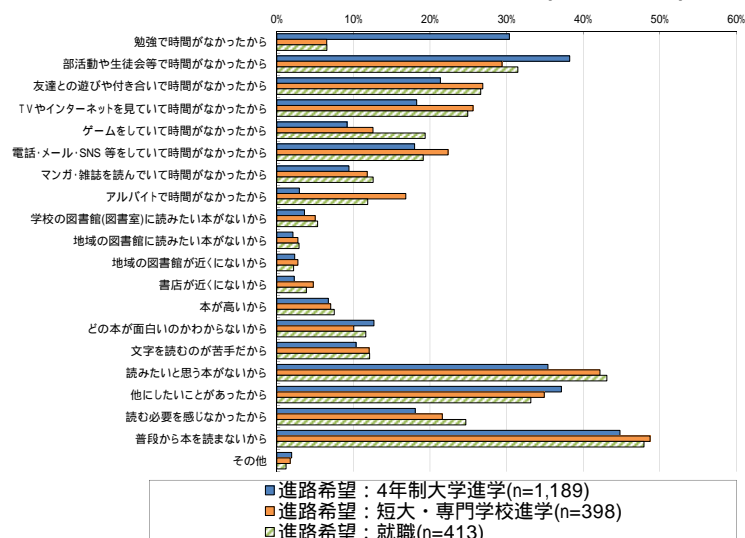


1か月の読書冊数が「0冊」の生徒が集計対象。それぞれ「無回答」を除いた集計値。

進路希望別

本を読まなかった理由について進路希望別にみると、4年制大学進学を希望する生徒では、「勉強で時間がなかったから」の回答割合が他の生徒と比べると顕著に高くなっている(図表4-2-2)。他方で、「アルバイトで時間がなかったから」は短大・専門学校進学希望の生徒や就職希望の生徒で回答割合が高くなっており、回答状況に違いが見られることがわかる。

図表 4-2-2 進路希望別、本を読まない理由(複数回答)



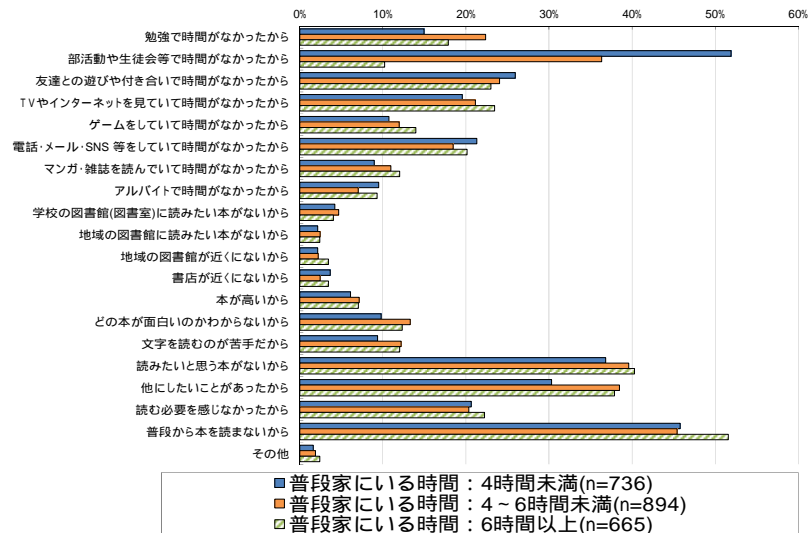
1か月の読書冊数が「0冊」の生徒が集計対象。それぞれ「無回答」を除いた集計値。

進路希望について「その他」「まだ決まっていない」「無回答」であったものは、ここでは比較の対象外とした。

生活習慣(家にいる時間)別

本を読まなかった理由について「普段家にいる時間」別に見ると、家にいる時間が相対的に短い生徒では、「部活動や生徒会等で時間がなかったから」との回答割合が高くなっている(図表4-2-3)。

図表4-2-3 普段家にいる時間別、本を読まない理由(複数回答)

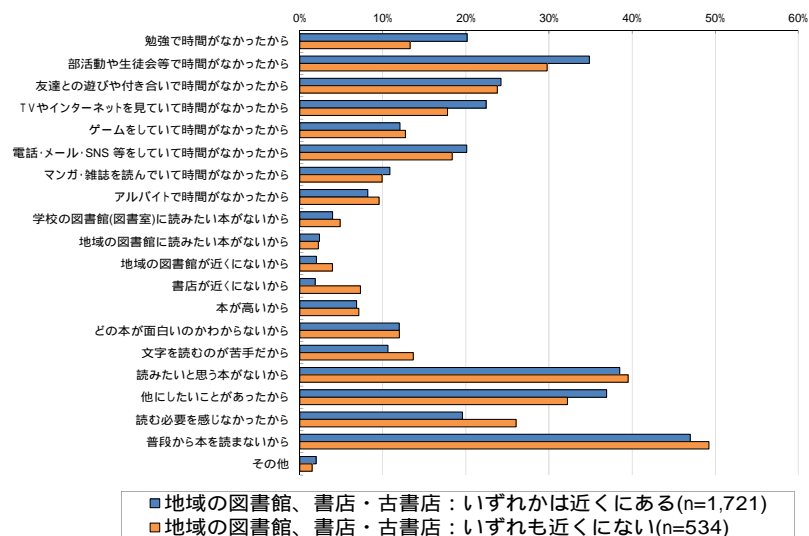


1か月の読書冊数が「0冊」の生徒が集計対象。それぞれ「無回答」を除いた集計

居住地域別

本を読まなかった理由について、居住地域別に見ると、地域の図書館や書店・古書店が近くにない生徒では、回答割合の値自体が高いわけではないが、「地域の図書館が近くにないから」「書店が近くにないから」の回答が、他の生徒の回答と比べて多くなっている(図表4-2-4)。また、「読む必要を感じなかったから」についても、地域の図書館や書店・古書店が近くにない生徒では、他の生徒と比べて回答割合が高くなっている。

図表4-2-4 地域環境別、本を読まない理由(複数回答)



1か月の読書冊数が「0冊」の生徒が集計対象。それぞれ「無回答」を除いた集計値。

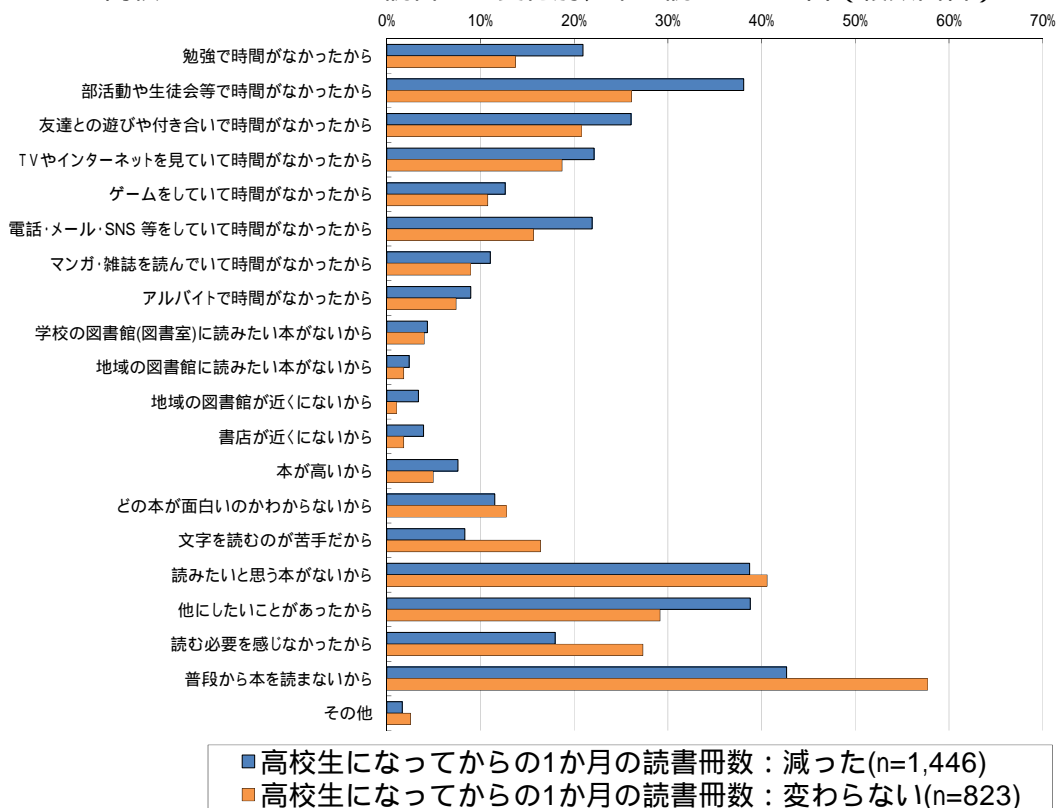
(3) 読書量の変化、夏休み期間の読書量別の特徴

高校生になってからの読書量の変化の状況別

本を読まなかった理由について、高校生になってからの読書冊数が「減った」と回答した生徒と、「変わらない」と回答した生徒とで比較すると、「減った」と回答した生徒では、「勉強で時間がなかったから」「部活動や生徒会等で時間がなかったから」、または「友達との遊びや付き合いで時間がなかったから」や「電話・メール・SNS等で時間がなかったから」の回答割合が高く、他方で、「読む必要を感じなかったから」や「普段から本を読まないから」の回答割合は低くなっている(図表4-3-1)。

他方で、「変わらない」と回答した生徒については、「減った」と回答した生徒と比較して、本を読まなかった理由として「読む必要を感じなかったから」や「普段から本を読まないから」の回答割合が高く、高校入学以前から読書習慣が身につけていなかった生徒が多いのではないかと推察される。

図表 4-3-1 高校生になってからの読書量の変化別、本を読まない理由(複数回答)

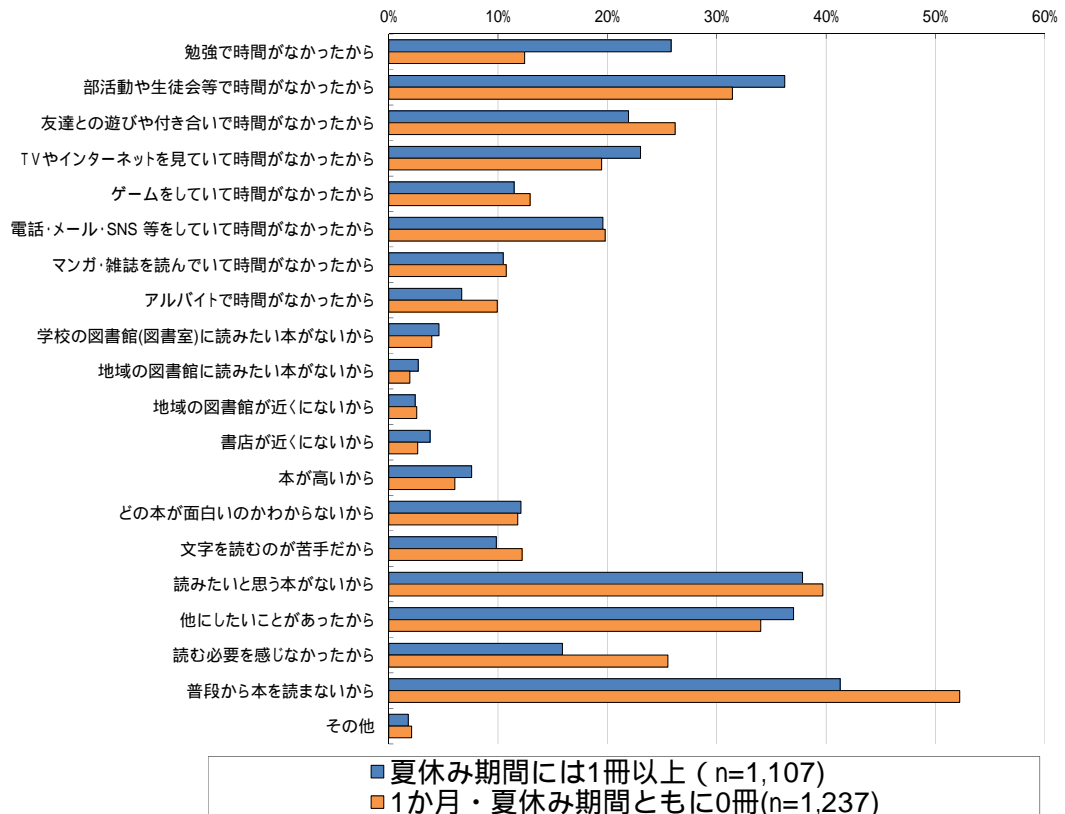


1か月の読書冊数が「0冊」の生徒が集計対象。それぞれ「無回答」を除いた集計値。

夏休み期間の読書状況別

同様に、本を読まなかった理由について、夏休みの期間には1冊以上本を読んだ生徒と、夏休み期間にも読まなかった生徒とで比較すると、夏休みの期間に本を読んだ生徒では、「勉強で時間がなかったから」等の回答割合が高く、「読む必要を感じなかったから」や「普段から本を読まないから」の回答割合は低くなっている。

図表 4-3-2 1か月の読書量・夏休みの読書量別、本を読まない理由（複数回答）



1か月の読書冊数が「0冊」の生徒が集計対象。それぞれ「無回答」を除いた集計値。

第3章第4節 高校生の読書量を増やしていくための方策に関する分析

(1) 分析の枠組み・結果の概要

どうすれば高校生はもっと本を読みたくなるだろうか？



《分析の結果、読み取れたこと・ポイントのまとめ》

学校図書館を充実させたり、地域の図書館等の利便性を高めたりすることは、現在読書をあまりしない生徒に対する効果は限定的である可能性がある。

ただ、そのようななかでも、勉強や部活動等で忙しい生徒に対しては学校内・教室内で本を読むような取組・環境整備をすすめていくことがより重要であると考えられる。また、読書以外の活動時間が長い生徒に対しては、高校生が好む本を身近な場所に置くことや、低価格で手に入る本もあることを紹介していくような取組が求められるのではないかと考えられる。

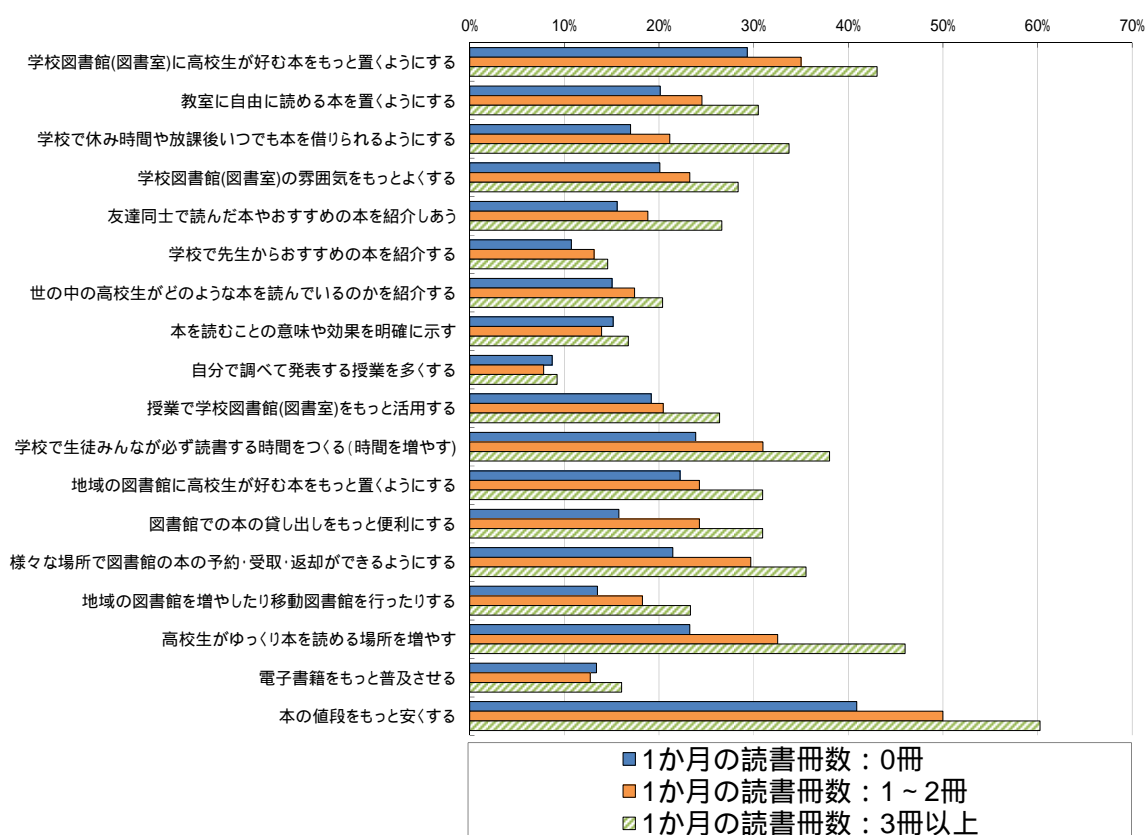
「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」の理由を回答した生徒は本を読まない生徒の約7割、また、これらの理由のみを挙げた生徒は、本を読まない生徒の約4分の1となっている。これらの生徒に対しては、まずは興味を持たせるために、高校以前の段階も含めた取組・方策が必要になるのではないかと想定される。また、これらの生徒に対しては、導入として、文字が少ない、「堅苦しくない」本を紹介していくことも有効になるのではないかと考えられる。

(2) 1か月の読書冊数別の回答の違い

もっと本を読みたくようになるために必要・重要と考えることについて、多くの項目において、1か月の読書冊数が「0冊」の生徒では1冊以上本を読む生徒に比べて肯定的な回答割合が低くなっている。

これらから、今回調査のなかで取り上げた項目・取組については、現在ある程度読書をしている生徒の読書量をさらに増やすことに対してより効果的であり、現在本をほとんど読まない生徒に対して本を読むようになるように向けさせるといった点においては、効果は限定的である可能性があることが考えられる。

図表 5-2-1 1か月の読書量別、本をもっと読みたくようになるために必要・重要と考えること



それぞれ「無回答」を除いた集計値の「とてもそう思う」の回答割合。項目によって、集計対象の度数が異なる。

(3) 本を読まない理由別の特徴

1か月の読書冊数が「0冊」だった生徒の本を読まなかった理由別に、もっと本を読みたくなるようにするために必要・重要と考えることについての回答状況についてより詳細に分析すると、例えば、「勉強で時間がなかった」「部活動や生徒会等で時間がなかった」と回答した生徒では、そのほかの生徒と比較して、「教室に自由に読める本を置くようにする」や「学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)」「高校生がゆっくり本を読める場所を増やす」等について、肯定的な回答割合が高くなっていることがわかった(図表5-3-1)。

また、勉強や部活動・生徒会等以外の理由で「時間がなかったから」と回答した生徒については、「学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする」や「本の値段をもっと安くする」について肯定的な回答割合が高くなっている。これらからは、家にいる時間や余暇の時間を、より読書のほうに向けさせるために、「高校生が好む本を増やす」ということや、「値段を安くする」(あるいは、低価格のものを紹介する)といった方策が有効である可能性があることを示唆しているのではないかと考える。

さらに、全体の中での件数は少なかったが、「地域の図書館(図書室)に読みたい本がない」「地域の図書館に読みたい本がない」「地域の図書館が近くにない」「書店が近くにない」を理由に挙げている生徒に対しては、学校図書館・地域の図書館等の環境面の整備がより有効である可能性がある。

他方で、「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」を理由として挙げた生徒に対しては、今回調査のなかで取り上げた項目・取組では、本を読むように向けさせるのは難しい可能性があると考えられる。

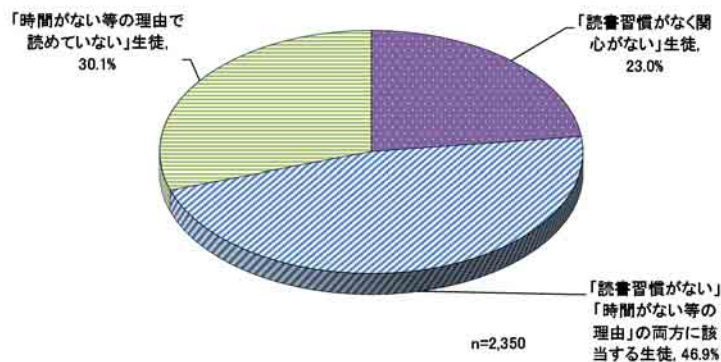
図表 5-3-1 1か月の読書量が0冊の人の本を読まない理由別、本をもっと読みたくなるようにするために必要・重要と考えること

	本の値段をもっと安くする	電子書籍をもっと普及させる	高校生がゆとり本を読める場所を増やす	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	自分で調べて発表する授業を多くする	本を読むことの意味や効果を明確に示す	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	学校で先生からおすすめの本を紹介する	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくする	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	教室に自由に読める本を置くようにする	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする
勉強で時間がなかった																		
部活動や生徒会等で時間がなかった																		
友達との遊びや付き合いで時間がなかった																		
TVやインターネットを見ていて時間がなかった																		
ゲームをしていて時間がなかった																		
電話・メール・SNS等をしていて時間がなかった																		
マンガ・雑誌を読んでいて時間がなかった																		
アルバイトで時間がなかった																		
学校の図書館(図書室)に読みたい本がない																		
地域の図書館に読みたい本がない																		
地域の図書館が近くにない																		
書店が近くにない																		
本が高い																		
どの本が面白いのかわからない																		
文字を読むのが苦手だ																		
読みたいと思う本がない																		
他にしたいことがあった																		
読む必要を感じなかった																		
普段から本を読まない																		
その他																		

1か月間で本を読まなかった理由として、各項目に選択した生徒と選択しなかった生徒とを比較した場合に、選択した生徒のほうが、どのようにすればもっと本を読みたくなるかについて「とてもそう思う」の回答割合が5ポイント以上高ければ「 」をつけた。また、10ポイント以上高い場合には、「 」をつけた。

1か月に本を読んだ冊数が「0冊」であった生徒の本を読まなかった理由について、「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」のいずれかを理由として挙げた生徒を「読書習慣がなく関心がない」生徒、また、そのほかの理由を選択した生徒を「時間がない等の理由で読めていない」生徒であると考え、それぞれの程度の人が該当するのを見たところ、「読書習慣がなく関心がない」生徒は23.0%、「時間がない等の理由で読めていない」生徒は30.1%、残りの46.9%は「読書習慣がない」「時間がない等の理由」の両方に該当する生徒であった(図表5-3-2、図表1-5-1再掲)

図表5-3-2 1か月の読書量が0冊の人の本を読まない理由の分類(図表1-5-1再掲)

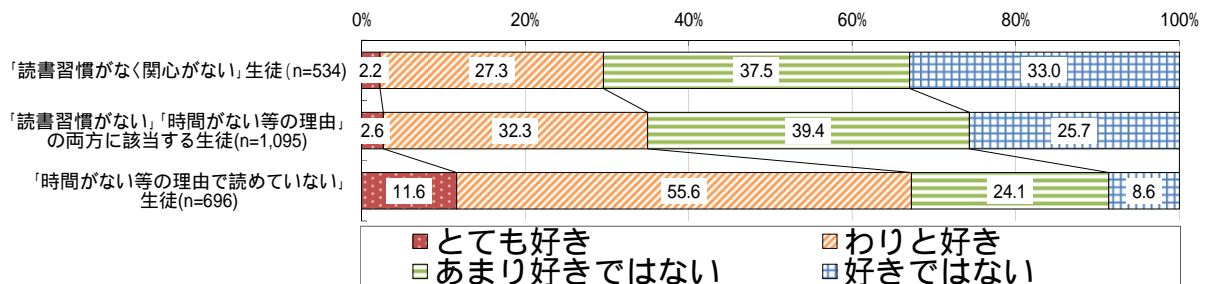


本を読まない理由が「無回答」を除いた集計値。

「読書習慣がなく関心がない」生徒は、本を読まない理由として「苦手」、「読みたい本がない」、「必要性を感じない」、「普段から読まない」の4つの理由のいずれかのみを選択。「時間がない等の理由で読めていない」生徒は、この4つの理由以外の理由のみを選択した生徒。

また、「読書習慣がなく関心がない」生徒は「時間がない等の理由で読めていない」生徒に比べ、読書について「好きではない」と考えている割合が高く、「時間がない等の理由で読めていない」生徒との違いが大きいことがわかる(図表5-3-3、図表1-5-2再掲)

図表5-3-3 本を読まない理由分類別、読書が好きかについての意識(図表1-5-2再掲)

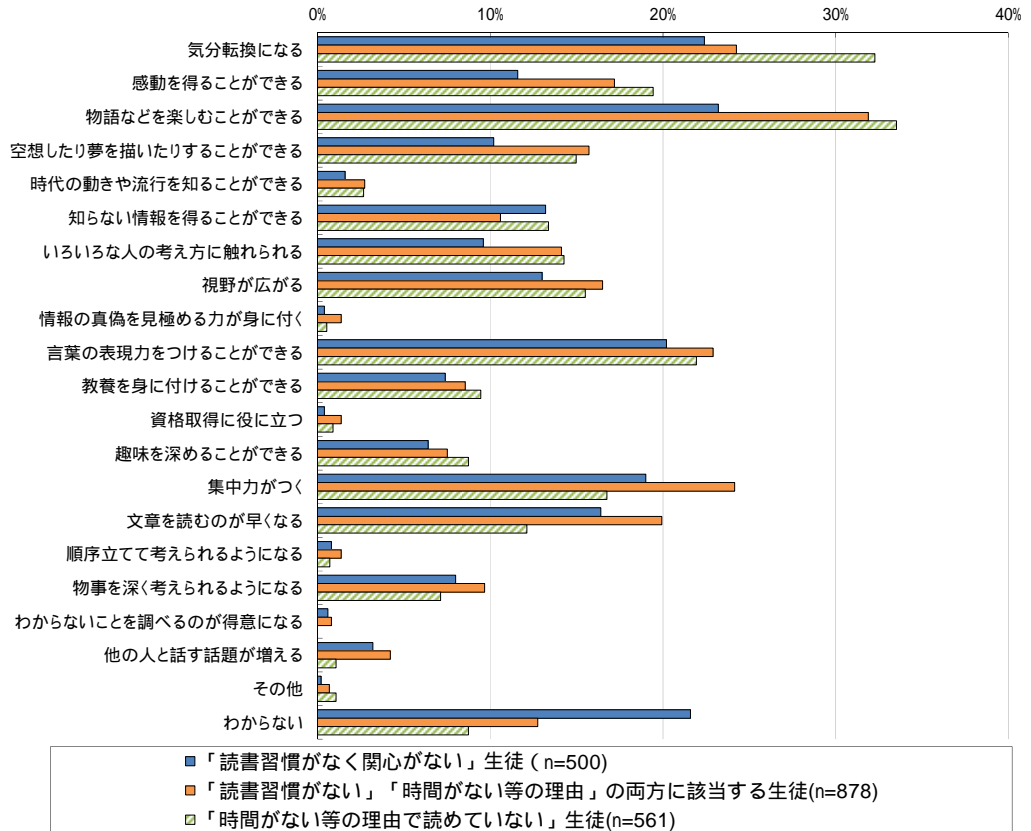


それぞれ「無回答」を除いた集計値。

「読書習慣がなく関心がない」生徒は、本を読まない理由として「苦手」、「読みたい本がない」、「必要性を感じない」、「普段から読まない」の4つの理由のいずれかのみを選択。「時間がない等の理由で読めていない」生徒は、この4つの理由以外の理由のみを選択した生徒。

さらに、「読書習慣がなく関心がない」生徒では、読書の効果について「わからない」と回答した割合が特に高くなっていることがわかった(図表5-3-4)。

図表5-3-4 本を読まない理由分類別、読書の効果についての認識



それぞれ、特にあてはまるもの3つまでを回答。4つ以上の項目を選択したものは集計対象外とした。また、「無回答」を除いて集計した。

「読書習慣がなく関心がない」生徒は、本を読まない理由として「苦手」、「読みたい本がない」、「必要性を感じない」、「普段から読まない」の4つの理由のいずれかのみを選択。「時間がない等の理由で読めていない」生徒は、この4つの理由以外の理由のみを選択した生徒。

(4) 自由記述の回答から把握される特徴

「もっと本を読みたくるようにするために有効と考えること」に関して、自由記述による回答では、生徒から全部で523件の回答が得られた。このうち、1か月に読んだ本が0冊であった生徒からの回答は225件、さらに、本を読まなかった理由として、「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」の理由を主に挙げていた生徒（「読書習慣がなく関心がない」生徒）からの回答は34件であった。これら34件の回答内容を類型化すると、「わかりやすい・高校生が好む内容のものを増やす」といった内容の回答が10件、「紹介・PRの方法を工夫する」といった内容の回答が8件あり、特に、「わかりやすさ」に関しては、文字が少ない本を望む意見が多くなっていた(図表5-4-1)。他方で、本を読まない理由として、「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」の4点以外の理由を選択した生徒（「時間が無い等の理由で読めていない」生徒）で、自由記述の回答が得られたのは74件あった。これら74件の回答を類型化すると、最も多く見られたのは「時間を（強制的に）つくる」で23件となっており、本を読まない理由の違いによって、もっと読みたくるようにするために有効と考えることの内容・傾向に違いが見られることがわかる(図表5-4-2)。

図表5-4-1 本を読まない理由として「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」の4つの理由のみを選択した生徒の自由記述による回答

分類	内容
わかりやすい・高校生が好む内容のものを増やす (10件)	<p>楽しくて、激しい内容の本が読みたい。あと写真も貼ってある本。(男性)</p> <p>楽しくて、迫力のある本。文字だけはやめて絵を取り入れてほしい。(男性)</p> <p>高校生が読みそうなものを増やしたほうがいいと思う。(男性)</p> <p>文字ばかり嫌だ！絵を増やして！(女性)</p> <p>みんなが好きそうな本をもっとたくさん置く。(女性)</p> <p>堅苦しくない文字、表紙。堅苦しいのは読む気が失せる。(女性)</p> <p>字を少なくする。(女性)</p> <p>本と言ったら難しそうな本ばかりであり興味を持ってない。例えば、手にとって少し読んでみても、買おうとか、読みたいって気持ちにはなれない。だから若い人達はマンガや雑誌にいつちゃうんだと思う。(女性)</p> <p>映画化など、人気になった本。(女性)</p> <p>好きなアーティストとかだったら読むかも。(女性)</p>
紹介・PRの方法を工夫する (8件)	<p>もっと面白い本を紹介する。(男性)</p> <p>本のPRを多くする。(男性)</p> <p>テレビ等でオススメを紹介したりする。(男性)</p> <p>「本」についてのCMがあれば、それを見て読みたくなるかもしれない。(女性)</p> <p>読書感想文の廃止。面白い本の紹介。(女性)</p> <p>月に1回おすすめの本を紹介する。(女性)</p> <p>本のあらすじがわかるようにする。(女性)</p> <p>読んで、結果なにを得られるか知りたい。(女性)</p>
時間を（強制的に）つくる (5件)	<p>読書をする時間を作ることだと思います。(男性)</p> <p>強制する。(男性)</p> <p>絶対に本を読まなければならない時間を作る。(男性)</p> <p>強制(男性)</p> <p>読書するための時間がほしい。(女性)</p>

本を安くする (5件)	本の値段をもっと安くする。(男性) 安くしろ。(男性) 本を安くする。(男性) 本の値段を安くするといいいと思う。(女性) 安くしてください。(女性)
図書館等の機能・ 環境を整える (1件)	どこにいても本が借りられるようにしてほしい。(男性)
その他 (5件)	映像の映る本がほしい。(男性) マンガ本を増やす。(男性) 自分が読みたいと思ったら読む。(男性) 自分の本嫌いを直す。(男性) 決して読書を強制しないこと。個人の読みたいものを優先すること。(男性)

図表 5-4-2 本を読まない理由として「文字を読むのが苦手だ」「読みたいと思う本がない」「読む必要を感じなかった」「普段から本を読まない」の4つの理由以外を選択した生徒の自由記述による回答

分類	内容
時間を(強制的 に)つくる (23件)	総合・奉仕の時間で、本を読む日を作ってほしい。(男性) 自分で読書する時間を作るようにする。(男性) 朝読むといいいと思う。(男性) 高校でも15分位、読書の時間を設けてほしい。小説を買ってもゆっくり読む時間がないため、5冊ほどたまって いる。(男性) 本を読む時間が足りないので、もっと読書時間のようなものを増やすといいいと思います。(男性) 本を読む時間が取れないので、授業で読む機会を作ってほしい。(男性) 時間がほしい。(男性) 朝読書、自分自身で決めればいいいと思う。(男性) 部活の時間を国が規定して、生徒に時間を与える。(男性) 読む時間があれば。(男性) 読む時間を増やす。(男性) 時間がほしい。(男性) 1日24時間では足りない。(男性) 本を読むのは好きだけど、意識しないと読まないから、高校でも朝読書とかあったらいいなと思う。(女性) 自分の時間がないので読まないけど、時間があれば読みたいので、学校などで読書の時間がほしい。(女性) 暇な時間を作る。(女性) 時間がほしいです。(女性) 読みたい本もありますが、時間がありません。本を読む時間があれば、予習や課題消化したいと思っています。 (女性) 時間をください。(女性) 朝読は必要。朝学習より読書のほうが良い。(女性) 本を読む時間があつたらいくらでも読めるのですが、もっと読書の時間がほしいです。(女性) 授業中に図書室で本を読む時間を増やす。(女性) 読むための時間がほしい。(女性)
わかりやすい・ 高校生が好む 内容のものを 増やす (12件)	読んでいて入り込める本を置く。(男性) 鉄道関係の本をもっと増やす。(男性) 字を大きく。(男性) もっといろんな小説の作品を実写化させる。(男性) 読みたくなるようなインパクトがない。(男性) 挿絵を全ページにつける。(男性) いろんなジャンルを増やし、たくさん本を置く!(男性) 筋トレの本を増やす(男性)

	<p>文庫本を増やす。(女性)</p> <p>学校に海外で流行っている本など入れてほしい。(女性)</p> <p>有名な映画などの原作本をもっと出してほしい。(女性)</p> <p>もっと内容の良い本をたくさん出すこと。(女性)</p>
紹介・PRの方法を工夫する(9件)	<p>本を紹介する。(男性)</p> <p>様々なメディアでおすすめの本や人気の本を紹介する。(男性)</p> <p>表紙を見て読みたくなる本だといいい。(男性)</p> <p>友達からのすすめ。(男性)</p> <p>CMなどでの宣伝を増やす。(女性)</p> <p>立ち読みができるようにする(最初のほうだけでも)。(女性)</p> <p>高校生におすすめの本を紹介する冊子がときどき配られますが、紹介する本をもっと増やしてほしいです。(女性)</p> <p>同じ年代の人が読んだ本を紹介し、本を読む時間を作ったりする。また、電子書籍をもっともっとアピールする。(女性)</p> <p>本の良さがわかるように街中にはりだす。(女性)</p>
本を安くする(8件)	<p>本の値段を安く。(男性)</p> <p>本の値段をもっと手軽な価格にしてもらいたい。(男性)</p> <p>値段を下げる。(男性)</p> <p>本の値段をもっと安くする。(男性)</p> <p>本の値段を安くしてくれたら買いたい。(女性)</p> <p>高校生割引制度など...。(女性)</p> <p>本を買うお金がない。読みたくても読めない。手頃な値段で買えるものを増やしてほしい。(女性)</p> <p>本の値段を安くする。(女性)</p>
図書館等の機能・環境を整える(6件)	<p>大人が教えてあげる。図書館をもっと行きやすい所に造る(学校)。(男性)</p> <p>本を読みたくなる環境を作る。(男性)</p> <p>地域の図書館を増やして、映画やテレビの原作になった本や話題の本を多く置くようにする。学校の図書室にもそういうものを置くようにする。(女性)</p> <p>図書館はとても静かで落ち着いていて良い環境だけど、その分入るのに緊張してしまうので、もう少し気楽に本を楽しめるスペースがあるといいと思います。(女性)</p> <p>図書室の雰囲気が悪い感じがする(日当たり、明るさ)。(女性)</p> <p>学校の図書館があまり静かではないので、静かにすべきだと思います。(女性)</p>
読書感想文などの仕組みを工夫する(3件)	<p>学校側から生徒に本をランダムに渡して、読書感想文とともに返却する。(男性)</p> <p>月に1回、自分の読んだ本の感想文もしくは評論を書く。電子書籍用のタブレットを無料で配布する(学校もしくは国から)。(女性)</p> <p>本のモニター。数ヶ月に1回だけ無料で本がもらえ、アンケートや感想を提出する。(女性)</p>
その他(13件)	<p>受験勉強をなくす。(男性)</p> <p>本を読むと目が悪くなるので、目が良くなる本を作ってください。(男性)</p> <p>興味のある本を探す。(男性)</p> <p>学校に を併設すればいい。(男性)(部分は古書店名の具体的な名称)</p> <p>リクエストした本を購入した場合、届いたらしっかりと伝えてほしい。(男性)</p> <p>一つ変えただけでみんながみんな本を読むようになるとは思えない。(男性)</p> <p>スマートフォンをこの世からなくす。(男性)</p> <p>漫画ばかり読まないで、本を読みたい。(男性)</p> <p>調査票番号の4(5)のような案があるなら実行すればいいと思う。(男性)</p> <p>マンガやライトノベルを読んでいる人=オタク=犯罪者予備軍というような報道を止め、サブカルチャーへの偏見をなくし、自分の好きな物を公言できるような社会にする。書店で買いたい本がどこにあるかすぐわかるようにする。(女性)</p> <p>ドラマ、映画にする。(女性)</p> <p>読みたいと思うような本を探す。(女性)</p> <p>ネット上で本の検索ができるようにする。(女性)</p>

第4章

まとめ・考察

第4章 まとめ・考察

(1) 本調査結果に基づく高校生の類型化

本調査の結果、高校生の6割以上は読書が好き(「とても好き」「わりと好き」)である(図表1-1-1)が、他方で、半数以上は1か月に1冊も本を読んでいない状況にあることを把握することができた(図表1-3-1)。

また、1か月に1冊も本を読んでいない生徒が本を読まない理由について分類すると、「本を読む習慣がなく関心がない」ことと、「他の活動等に時間が取られている」ことの大きく二つの要因が挙げられるのではないかと考えられた(図表1-4-1)。さらに、この、本を読まない理由により生徒を分類すると、1か月に1冊も本を読んでいない生徒のうち、約3割は「時間がない等の理由で読めていない」状況にあるのではないかと想定され、読書が好きかどうか等について、「読書習慣がなく関心がない」生徒とは異なる回答傾向が見られることがわかった(図表1-5-1、図表1-5-2、図表5-3-1、図表5-3-4)。

これらの結果をもとに高校生の類型化をすると、読書に関して、1か月に1冊以上本を読んでいる生徒、主に時間がないことを理由に1か月に1冊も本を読めていない生徒、読書をする習慣がなく1か月に1冊も本を読まない生徒、の3類型により、大まかな全体状況の把握・整理が可能になるのではないかと考えられる。

以下では、これらの3類型別に本調査から明らかになったことを整理するとともに、高校生の読書量を増やしていくために今後どのような取組の可能性がありうるかについて、「第三次子供読書活動推進基本計画」に示されている「家庭」、「地域」、「学校等」、「民間団体等」、「普及啓発活動」の各観点もふまえつつ、検討・考察を行った。

(2) 現状の整理と今後必要・重要になると考えられること

① 1か月に1冊以上本を読んでいる生徒の特徴から、今後読書活動推進のために必要・重要と考えられること

本調査の結果から、生徒が1か月に読む読書冊数に関して、「個人属性等に関する要因」「家庭環境要因」「学校・図書館環境要因」のそれぞれが影響している可能性があることが示された。

これらのうち、「学校・図書館環境要因」に関しては、学校図書館の蔵書数等を充実させ、生徒にとって「使いやすい」環境になるように整備していくことが重要である可能性があること(図表2-4-1、図表2-4-2、図表2-4-3)、一斉読書のほか、読書推進に関する各種の取組を実施している学校(学級)の生徒で多く本を読む傾向が見られること(図表2-4-4、図表2-4-6)が明らかになっている。司書教諭や学校司書の配置等も含めた図書館環境の整備状況が、生徒が学校図書館を活用する度合いに影響している可能性があることも示された(図表2-4-7～図表2-4-12)が、これらの観点からも、学校図書館の整備を推進することが重要になると考えられる。

また、「家庭環境要因」に関しては、現在保護者が多く本を読んでいることや、家庭の蔵書数が多いことが、生徒が読む読書冊数に影響している可能性があることが示された(図表2-3-1～図表2-3-3)。さらに、本調査の結果から、高校生の読書量の差は、中学校以降の保護者の生徒(子供)とのかかわり方の違いと関連している可能性が高いことも示された(図表2-3-5)。幼少期の「読み聞かせ」等の重要性についてはこれまでも指摘がなされており、また、様々な取組が推進されている

ところであると思われるが、主に中学校以降の段階を意識して、読書に関する保護者と生徒（子供）の関係性のあり方について検討を行っていくことが重要になるのではないかと考えられた。

このほか、個々人の居住地との関係性について、書店・古書店や地域の図書館が近隣にないような地域の生徒においては、不読率が相対的に高く、また、読書があまり好きではない生徒の割合が高いという違いがあることが明らかになった（図表 2-2-10、図表 2-2-11）。現状として、必ずしも地域の図書館が多くの子供に活用されているわけではないが（図表 1-11-1）これらの施設等との近接性が、幼少期から長い期間を通じて高校生の段階での読書量・読書習慣にも影響する可能性がある。これらのことをふまえ、特に現状において不足している地域では、地域の図書館の整備を推進していくことが求められるものと考えられる。

主に時間がないことを理由に1か月に1冊も本を読めていない生徒について特に必要・重要と考えられること本調査の結果から、一斉読書の時間を週に1回以上定期的に設定している学校の生徒では不読率が低くなっていたが（図表 2-4-4）本を読まない理由として「勉強で時間がなかった」「部活動や生徒会等で時間がなかった」等を挙げていた生徒では、その他の生徒の回答と比較すると、本をもっと読みたいくなるようにするための方策として、「学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる（時間を増やす）」に対する回答割合が高くなっている（図表 5-3-1）。

自由記述の回答からも、「時間がない等の理由で読めていない」生徒の中には、学校・教室内で本を読む時間を設けることについて肯定的に考えている生徒が多いことが把握され（図表 5-4-2）特に日常生活のなかで時間的な余裕がない生徒にとって、有効な取組となりうるのではないかと考えられる。

ただし、「ただ単に本を読む時間を設定すればよい」というわけではないという点には留意が必要である。例えば、本調査の結果、一斉読書の取組は、「学校図書館等を活用できるようになる」ということとは関連性が弱いのではないかとすることも把握されている（図表 2-4-13）。また、高校生自身は、読書の効果について「楽しむ」ことや「気分転換になる」ことを挙げる人が多いことが明らかになっているが（図表 1-12-1、図表 3-2-4）学校・教室内で本を読む時間を設けることで、これら本を読む楽しみ等に少しでも多く触れさせることを目的とするのか、別のことを目的とするのか等、生徒に本を読んでもらう（読ませる）ことに、どのような意味を持たせるのかという点もあわせて考えることが重要である。

このほか、1か月の読書冊数が0冊であっても、夏休みの期間であれば1冊以上本を読んでいる生徒が約半数見られることが明らかになった（図表 1-6-2）。このことから、普段は他の活動等で忙しくて十分な時間が取れない生徒に対して、長期休暇の期間を活用した読書の推進を図っていくということも、今後の取組の方向性として考えられる。

読書をする習慣がなく1か月に1冊も本を読まない生徒について特に必要・重要と考えられること自由記述の回答で、特に高校生の段階で「読書習慣がなく関心がない」生徒からは、「文字が少ない」本であれば読みたいと思う可能性があるという意見が多く見られた（図表 5-4-1）。これら「読書習慣がなく興味がない」生徒に対しては、高校生以前の段階も含め、まずは興味を持たせるような取組・環境整備等が必要であるが、導入として、文字が少なく「堅苦しくない」「気難しくない」書籍に触れさせる機会を増やすということが重要になりうると思われる。

また、本を読む高校生は、「アニメやマンガの原作や関連本を読む」ことや「テレビや映画の原作や関連の本を読む」ことをしている割合が高いこと（図表 1-9-1）や、「マンガ・雑誌を読む」時間が長い生徒では、本を読んでいる割合も高いこと（図表 2-2-9）も明らかになった。1 か月に本を1冊も読まない生徒では、読書を「難しい」ものとしてとらえがちなのではないかということも推察される（図表 3-2-4）が、高校生により読書に関心を持ってもらうための方策として、アニメやマンガ、テレビや映画等と関連のある書籍について、メディア等と連携しながら、PR 等の方策について検討するということが有効である可能性がある。

このほか、本を読む高校生の多くは書店で気になった本を購入して読む傾向にある（図表 1-9-1、1-10-1）が、高校生の多くは、「本の価格が高い」という認識を持っていると考えられる（図表 1-13-1、図表 5-2-1）。高校生の実態として、このような点もふまえて読書推進の方策等を検討することも必要になるのではないかと考えられる。今後、本を読んでいる生徒の興味関心を高めるための方策として、例えば、現時点では普及等が進んでいるわけではない（図表 1-14-1、図表 1-14-2）が、電子書籍の無料のコンテンツの紹介・普及を行っていくことや、あるいは、本の交換・配付のイベントを開催していくことなどにも可能性があるのではないと思われる。

參考資料

参考資料

1. 調査票

(1) 生徒向け調査

文部科学省委託調査

高校生の読書に関する意識等調査（生徒向け調査）

<調査の回答に関するお願い>

本調査では、あなたの現在の生活に関することや、これまでの読書活動等に関することについておたずねします。それぞれの質問について、あてはまる回答を選択肢から選び番号に をつけるか、記入欄に回答を記入してください。

本調査では、クラス番号・出席番号をおたずねしますが、個人が特定できる形で回答結果を公表・集計することはありません。テストではありませんので思ったままを正直にお答えください。

1. あなたのことについてお聞きします

(1) 性別

1. 男性 2. 女性

(2) 学年・クラス・出席番号

年 組 番

(3) 高校の種類

1. 国立 2. 公立 3. 私立

(4) 学科

1. 普通科 2. 工業科 3. 商業科
4. 農業科 5. 水産科 6. 家庭科
7. 看護科 8. 情報科 9. 福祉科
10. 総合学科 11. その他（具体的に： ）

(5) 高校卒業後の進路希望（一つを選択）

1. 四年制大学に進学する（文系学部） 2. 四年制大学に進学する（理系学部）
3. 四年制大学に進学する（学部等は未定） 4. 短期大学に進学する
5. 専門学校（専修学校・各種学校）に進学する 6. 就職する
7. その他（具体的に： ） 8. まだ決めていない

2. 普段の生活の様子についてお聞きします

- (1) あなたは普段学校のある日、何時ごろに起きますか。また、部活動やアルバイト、塾等を全て終えて家に帰るのは何時頃で、夜は何時頃に寝ますか。

普段朝起きる時間	時	分頃
普段家に帰る時間	時	分頃
普段夜寝る時間	時	分頃

- (2) あなたは、家にいるときに1日に平均してどのくらいの時間、次のことをしていますか。
 (「普段学校のある日」と「学校のない休みの日」についてそれぞれあてはまるもの一つを選択)

【普段学校のある日】	全く しない	1時間 未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間～ 4時間未満	4時間 以上
家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る (無料通話アプリでのチャットやSNSへの投稿を除く)	1	2	3	4	5	6
家でゲームで遊ぶ (パソコンでのオンラインゲーム、携帯型ゲーム機、携帯電話・スマートフォンでのゲームを含む)	1	2	3	4	5	6
家で電話・電子メール、SNSで交流する (無料通話アプリでのチャット、SNSへの投稿を含む)	1	2	3	4	5	6
家でマンガ・雑誌を読む	1	2	3	4	5	6
家で勉強をする (家庭教師が家に来る場合等も含む)	1	2	3	4	5	6

【学校のない休みの日】	全く しない	1時間 未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間～ 4時間未満	4時間 以上
家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る (無料通話アプリでのチャットやSNSへの投稿を除く)	1	2	3	4	5	6
家でゲームで遊ぶ (パソコンでのオンラインゲーム、携帯型ゲーム機、携帯電話・スマートフォンでのゲームを含む)	1	2	3	4	5	6
家で電話・電子メール、SNSで交流する (無料通話アプリでのチャット、SNSへの投稿を含む)	1	2	3	4	5	6
家でマンガ・雑誌を読む	1	2	3	4	5	6
家で勉強をする (家庭教師が家に来る場合等も含む)	1	2	3	4	5	6

3. 読書に関することについてお聞きします

本調査で読書の対象とする本には、紙の本だけでなく、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等で読める本(電子書籍)を含むものとします。ただし、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません。

電子書籍については、無料のものも含めますが、ニュースサイトを見たり、出版社のホームページを見たりすることについては読書の範囲には含まれません。

(1) あなたは、1日に平均してどのくらい本を読みますか。

(「紙の本」「電子書籍」のそれぞれについて、あてはまるもの一つを選択)

【普段学校のある日】	全くしない	30分未満	30分~1時間未満	1時間~2時間未満	2時間~3時間未満	3時間~4時間未満	4時間以上
紙の本 (マンガ・雑誌、新聞、教科書・参考書を除く)	1	2	3	4	5	6	7
電子書籍 (マンガ・雑誌、新聞、教科書・参考書を除く)	1	2	3	4	5	6	7

【学校のない休みの日】	全くしない	30分未満	30分~1時間未満	1時間~2時間未満	2時間~3時間未満	3時間~4時間未満	4時間以上
紙の本 (マンガ・雑誌、新聞、教科書・参考書を除く)	1	2	3	4	5	6	7
電子書籍 (マンガ・雑誌、新聞、教科書・参考書を除く)	1	2	3	4	5	6	7

(2) この1か月で何冊本を読みましたか。また、夏休みの期間には何冊読みましたか。

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません

※1冊も読まなかった場合には、「0冊」と回答してください

この1か月に読んだ本	冊	夏休みの期間に読んだ本	冊
------------	---	-------------	---

(2-1) 「この1か月に読んだ本」が「0冊」の方におたずねします。

この1か月間に本を読まなかったのはなぜですか。(あてはまるもの全てを選択)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 勉強で時間がなかったから | 2. 部活動や生徒会等で時間がなかったから |
| 3. 友達との遊びや付き合いで時間がなかったから | 4. TVやインターネットを見ていて時間がなかったから |
| 5. ゲームをしていて時間がなかったから | 6. 電話・メール・SNS等をしていて時間がなかったから |
| 7. マンガ・雑誌を読んでいて時間がなかったから | 8. アルバイトで時間がなかったから |
| 9. 学校の図書館(図書室)に読みたい本がないから | 10. 地域の図書館に読みたい本がないから |
| 11. 地域の図書館が近くにないから | 12. 書店が近くにないから |
| 13. 本が高いから | 14. どの本が面白いのかわからないから |
| 15. 文字を読むのが苦手だから | 16. 読みたいと思う本がないから |
| 17. 他にしたいことがあったから | 18. 読む必要を感じなかったから |
| 19. 普段から本を読まないから | 20. その他() |

《再び、全ての方におたずねします》

(3) あなたはどのような場所で本を読みますか。(あてはまるもの全てを選択)

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません

1. 自宅	2. ファミリーレストラン・ファーストフード店
3. 喫茶店・カフェ	4. フードコート・お店の休憩スペース
5. 通学時	6. 教室(休み時間や朝の時間、放課後など)
7. 学校の図書館・図書室	8. 地域の図書館
9. 書店・古書店等で立ち読み	10. その他()
11. 全く読まない	

(4) 読む本はどのようにして選んでいますか。(あてはまるもの全てを選択)

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません

1. 書店で見て気になった本を読む	2. インターネットで見気になった本を読む
3. 学校の図書館(図書室)・教室で見気になった本を読む	4. 地域の図書館で見気になった本を読む
5. 新聞や電車の広告を見て気になった本を読む	6. 家にある保護者や兄弟姉妹の本を読む
7. ベストセラー・話題の本を読む	8. アニメやマンガの原作や関連の本を読む
9. テレビや映画の原作や関連の本を読む	10. 自分の好きな作家の本を読む
11. 自分の好きなジャンルの本を読む	12. 友達のすすめる本を読む
13. 兄弟姉妹のすすめる本を読む	14. 保護者のすすめる本を読む
15. 学校の先生(図書館の先生以外)がすすめる本を読む	16. 図書館の先生がすすめる本を読む
17. 推薦図書一覧等の中から選んで読む	18. その他()
19. 全く読まない	

(5) 読む本はどのようにして手に入れていますか。

(「紙の本」「電子書籍」のそれぞれについて、あてはまるもの全てを選択)

【紙の本】

1. 書店・古書店で買う	2. 学校の図書館(図書室)で借りる
3. 地域の図書館で借りる	4. 友達に借りる
5. 兄弟姉妹に借りる	6. 保護者に借りる
7. その他()	8. 紙の本は読んでいない

【電子書籍】

1. 専用のウェブサイト等で無料の書籍を入手する	2. 専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う
3. その他()	4. 電子書籍は読んでいない

(6) あなたは読書が好きですか。

1. とても好き	2. わりと好き	3. あまり好きではない	4. 好きではない
----------	----------	--------------	-----------

(7) 本を読むことにはどのような効果があると思いますか。(特にあてはまるもの3つまで選択)

※普段あまり本を読まない人も、あなたの考えを教えてください

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません

1. 気分転換になる	2. 感動を得ることができる
3. 物語などを楽しむことができる	4. 空想したり夢を描いたりすることができる
5. 時代の動きや流行を知ることができる	6. 知らない情報を得ることができる
7. いろいろな人の考え方に触れられる	8. 視野が広がる
9. 情報の真偽を見極める力が身に付く	10. 言葉の表現力をつけることができる
11. 教養を身に付けることができる	12. 資格取得に役に立つ
13. 趣味を深めることができる	14. 集中力がつく
15. 文章を読むのが早くなる	16. 順序立てて考えられるようになる
17. 物事を深く考えられるようになる	18. わからないことを調べるのが得意になる
19. 他の人と話す話題が増える	20. その他()
21. わからない	

(8) これまでを振り返って、小学校に入学する前、小学校(低学年・高学年)、中学校のそれぞれの時期にどれくらい本を読みましたか。(それぞれあてはまるもの一つを選択)

	とてもよく 読んだ	よく 読んだ	あまり 読まなかった	ほとんど 読まなかった
小学校に入学する前	1	2	3	4
小学校低学年(1~3学年)	1	2	3	4
小学校高学年(4~6学年)	1	2	3	4
中学校	1	2	4	4

(9) 中学生のときと比べて、高校生になって本を読む時間や本の量は変わりましたか。

(それぞれあてはまるもの一つを選択)

1日あたりで本を読む時間	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
1か月に読む本の量(冊数)	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない

(10) 電子書籍について、どのような印象を持っていますか。

(「良い面」「悪い面」のそれぞれ、あてはまるもの全てを選択)

※電子書籍を利用したことがない人も、あなたの考えを教えてください

【良い面】

1. いつでもどこでも、すぐに本が手に入る	2. いつでもどこでも本が読める
3. 持ち運びが楽で便利	4. 保管に場所をとらない
5. 気軽に本を読む気になる	6. ゴミが出ない
7. 本が汚れたり、傷んだりしない	8. 紙の本に比べて低価格である
9. その他()	10. わからない
11. 特に良いところはない	

【悪い面】

1. 紙の本に比べ読みづらい	2. 電子書籍化されている本が少ない
3. 操作が難しい	4. 手にとって自由に試し読みができない
5. 線を引いたり書き込んだりできない	6. 紙の本に比べて目が疲れる
7. 電子書籍を読むための端末・機器の価格が高い	8. 本を保有する楽しみがない
9. 本の買い方がわかりづらい	10. 支払いの仕方が面倒である
11. その他()	12. わからない
13. 特に悪いところはない	

《電子書籍を読んでいる方におたずねします。電子書籍を読んでいない方は、そのまま次のページにお進みください》

(11) 電子書籍を読むようになってから、本を読む時間や、読む本の量は増えましたか。(それぞれあてはまるもの一つを選択)

※本にはマンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません

1日あたりで本を読む時間	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
1か月に読む本の量(冊数)	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない

《再び、全ての方におたずねします》

4．現在の読書環境等についてお聞きします

(1) 家の近くや通学路の途中に地域の図書館や書店はありますか。(それぞれ、一つを選択)

地域の図書館	1. 家の近くや通学路の途中にある	2. 家の近くや通学路の途中にはない
書店・古書店	1. 家の近くや通学路の途中にある	2. 家の近くや通学路の途中にはない

(2) 普段、どのくらい図書館や書店に行きますか。(それぞれ最も近いもの一つを選択)

※本を借りたり買ったりしていなくてもかまいません

※「オンライン書店」については、インターネットで本が買えるサービス全般を指し、電子書籍を買うだけでなく、紙の本を予約・注文できるものも含まれます

※オンライン書店の場合には、専用のウェブサイト等を見る回数についてお答えください

	ほとんど毎日	週に2～3回	週に1回	月に2～3回	月に1回	3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	ほとんど利用しない
学校の図書館(図書室)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
地域の図書館	1	2	3	4	5	6	7	8	9
書店・古書店(オンライン書店を除く)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オンライン書店	1	2	3	4	5	6	7	8	9

(3) あなたの保護者は普段よく本を読んでいると思いますか。

1. とてもそう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

(4) 学校図書館(図書室)は使いやすいと思いますか。

1. とてもそう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

(5) どのようにすれば、あなたはもっと本を読みたくなると思いますか。(それぞれあてはまるもの一つを選択)

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	1	2	3	4
教室に自由に読める本を置くようにする	1	2	3	4
学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	1	2	3	4
学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	1	2	3	4
友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	1	2	3	4
学校で先生からおすすめの本を紹介する	1	2	3	4
世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	1	2	3	4
本を読むことの意味や効果を明確に示す	1	2	3	4
自分で調べて発表する授業を多くする	1	2	3	4
授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	1	2	3	4
学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	1	2	3	4
地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	1	2	3	4
図書館での本の貸し出しをもっと便利にする(1回の本の貸し出し冊数を増やす、貸し出し期間を長くする、など)	1	2	3	4
様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	1	2	3	4
地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	1	2	3	4
高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	1	2	3	4
電子書籍をもっと普及させる	1	2	3	4
本の値段をもっと安くする	1	2	3	4

(6) その他、あなたがもっと本を読みたくなるようにするために有効と考えることがあれば、その内容について教えてください。

最後に記入もれがないか、もう一度確認してください。
御協力ありがとうございました。

(2) 保護者向け調査

文部科学省委託調査

高校生の読書に関する意識等調査(保護者向け調査)

<本調査に関するお願い>

本調査では、高校生の読書活動のより一層の推進を図ることを目的とし、高校生の保護者の方に、読書に関するお子様との関わりや普段の読書習慣についておたずねします。なお、本調査は文部科学省からの委託により、株式会社浜銀総合研究所が実施しております。

本調査とは別に、学校では、高校生のお子様にご回答いただく「生徒向け調査」を実施しています。本調査には、「生徒向け調査」にご協力いただいた高校生の保護者の方どなたかが御回答ください。

それぞれの質問について、あてはまる回答を選択肢から選び番号に をつけるか、記入欄に回答を記入してください。

調査実施状況の確認のために、「生徒向け調査」にご協力いただいた高校生のお子様のクラス番号・出席番号等をおたずねしますが、個人が特定できる形で回答結果を公表・集計することはありません。

回答いただいた調査票は、返信用封筒に封入・封緘の上、平成26年12月12日(金)までにポストにご投函ください。(切手は不要です)

《お問い合わせ先》

株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 ありかい たるた 有海・樽田

TEL : 045-225-2372 FAX : 045-225-2197 e-mail : arikai@yokohama-ri.co.jp

〒220-8616 横浜市西区みなとみらい3-1-1

1. はじめに、お子様のことについてお聞きします

(1) 「生徒向け調査」にご協力いただいた高校生のお子様の性別

1. 男性 2. 女性

(2) 「生徒向け調査」にご協力いただいた高校生のお子様の高校の種類

1. 国立 2. 公立 3. 私立

(3) 「生徒向け調査」にご協力いただいた高校生のお子様の学年・クラス・出席番号

年 組 番

2. あなた（保護者）のことについてお聞きします

(1) 高校生のお子様からみた続柄

1. 父親	2. 母親	3. 祖父
4. 祖母	5. その他 ()	

(2) あなたの現在の仕事

1. 常勤職員	2. 非常勤職員	3. 自営業・家業手伝い
4. パート・アルバイト	5. 主婦・主夫	6. その他 ()

3. あなた（保護者）の読書習慣等に関することについてお聞きします

※「3.」の設問では、本調査に御回答いただいているあなた(保護者)のことについておたずねします。

本調査で読書の対象とする本には、紙の本だけでなく、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等で読める本（電子書籍）を含むものとします。ただし、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません。

電子書籍については、無料のものも含めますが、ニュースサイトを見たり、出版社のホームページを見たりすることについては読書の範囲には含まれません。

(1) あなたは、1日に平均してどのくらい本を読みますか。

(平日・休日の別に、「紙の本」「電子書籍」のそれぞれについて、あてはまるもの一つを選択)

【平日】	全くしない	30分未満	30分~ 1時間未満	1時間~ 2時間未満	2時間~ 3時間未満	3時間~ 4時間未満	4時間以上
紙の本 (マンガ・雑誌、新聞を除く)	1	2	3	4	5	6	7
電子書籍 (マンガ・雑誌、新聞を除く)	1	2	3	4	5	6	7
【休日】	全くしない	30分未満	30分~ 1時間未満	1時間~ 2時間未満	2時間~ 3時間未満	3時間~ 4時間未満	4時間以上
紙の本 (マンガ・雑誌、新聞を除く)	1	2	3	4	5	6	7
電子書籍 (マンガ・雑誌、新聞を除く)	1	2	3	4	5	6	7

(2) この1か月でどれくらい本を読みましたか。

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞は含みません
※1冊も読まなかった場合には、「0冊」と回答してください

この1か月に読んだ本	冊
------------	---

(2-1) 「この1か月に読んだ本」が「0冊」の方におたずねします。

この1か月間に本を読まなかったのはなぜですか。(あてはまるもの全てを選択)

1. 家事・仕事等で時間がなかったから	2. 趣味等の活動で時間がなかったから
3. 友人等との遊びや付き合いで時間がなかったから	4. TVやインターネットを見ていて時間がなかったから
5. ゲームをしていて時間がなかったから	6. 電話・メール・SNS等をしていて時間がなかったから
7. マンガ・雑誌を読んでいて時間がなかったから	8. 図書館が近くにないから
9. 図書館に読みたい本がないから	10. 書店が近くにないから
11. 本が高いから	12. どの本が面白いのかわからないから
13. 文字を読むのが苦手だから	14. 読みたいと思う本がないから
15. 他にしたいことがあったから	16. 読む必要を感じなかったから
17. 普段から本を読まないから	18. その他()

《再び、全ての方におたずねします》

(3) あなたはどのような場所で本を読みますか。(あてはまるもの全てを選択)

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞は含みません

1. 自宅	2. ファミリーレストラン・ファーストフード店
3. 喫茶店・カフェ	4. フードコート・お店の休憩スペース
5. 通勤時・移動時	6. 職場
7. 地域の図書館	8. 書店・古書店等で立ち読み
9. その他()	10. 全く読まない

(4) 読む本はどのようにして選んでいますか。(あてはまるもの全てを選択)

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞は含みません

1. 書店で見て気になった本を読む	2. インターネットで見気になった本を読む
3. 地域の図書館で見気になった本を読む	4. 新聞や電車の広告を見て気になった本を読む
5. ベストセラー・話題の本を読む	6. アニメやマンガの原作や関連の本を読む
7. テレビや映画の原作や関連の本を読む	8. 自分の好きな作家の本を読む
9. 自分の好きなジャンルの本を読む	10. 仕事に関連する分野の本を読む
11. 配偶者がすすめる本を読む	12. 友人・同僚等がすすめる本を読む
13. 子供がすすめる本を読む	14. その他()
15. 全く読まない	

(5) 読む本はどのようにして手に入れていますか。

(「紙の本」「電子書籍」のそれぞれについて、あてはまるもの全てを選択)

【紙の本】

1. 書店・古書店で買う	2. 地域の図書館で借りる
3. 配偶者に借りる	4. 友人・同僚等に借りる
5. 子供に借りる	6. その他()
7. 紙の本は読んでいない	

【電子書籍】

1. 専用のウェブサイト等で無料の書籍を入手する	2. 専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う
3. その他()	4. 電子書籍は読んでいない

(6) 普段、どのくらい図書館や書店に行きますか。(それぞれ最も近いもの一つを選択)

※本を借りたり買ったりしていなくてもかまいません

※「オンライン書店」については、インターネットで本が買えるサービス全般を指し、電子書籍を買うだけでなく、紙の本を予約・注文できるものも含みます

※オンライン書店の場合には、専用のウェブサイト等を見る回数についてお答えください

	ほとんど毎日	週に2~3回	週に1回	月に2~3回	月に1回	3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	ほとんど利用しない
地域の図書館	1	2	3	4	5	6	7	8	9
書店・古書店(オンライン書店を除く)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オンライン書店	1	2	3	4	5	6	7	8	9

(7) あなたは読書が好きですか。

1. とても好き	2. わりと好き	3. あまり好きではない	4. 好きではない
----------	----------	--------------	-----------

(8) 御家庭には本がどれくらいありますか。ここで対象とする本には、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません。なお、家族が保有している本を全て含めてお考えください。(一つを選択)

1. まったくない	2. 10冊未満	3. 10冊～50冊未満
4. 50冊～100冊未満	5. 100冊～200冊未満	6. 200冊～500冊未満
7. 500冊以上	8. わからない	

(9) 御家庭では、次のようなことを今までにどのくらいしたことがありますか。本調査に御協力いただいた高校生のお子様について、「就学前(小学校入学前)」「小学校低学年(1～3学年)」「小学校高学年(4～6学年)」「中学校」「高校(現在の学校)に入学してから」のそれぞれについてお答えください。(それぞれ、あてはまるもの1つを選択)

	就学前(小学校入学前)			小学校低学年(1～3学年)			小学校高学年(4～6学年)			中学校			高校(現在の学校)に入学してから		
	何度もある	少しある	ほとんどない	何度もある	少しある	ほとんどない	何度もある	少しある	ほとんどない	何度もある	少しある	ほとんどない	何度もある	少しある	ほとんどない
本や絵本の読み聞かせをする	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子供に自分が読んだ本をすすめる	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子供に本を買ってあげる	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子供と一緒に地域の図書館に行く	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子供と一緒に書店に行く	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子供と読んだ本の内容について話し合う	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子供とニュースや時事問題などについて話をする	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子供がすすめてくれた本を自分も読む	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3

4 . 高校生の読書推進に関する課題等についてお聞きします

(1) 本調査に御協力いただいた高校生のお子様は普段よく本を読んでいると思いますか。

- | | | | |
|-------------|------------|---------------|------------|
| 1 . とてもそう思う | 2 . まあそう思う | 3 . あまりそう思わない | 4 . そう思わない |
|-------------|------------|---------------|------------|

(2) 本調査に御協力いただいた高校生のお子様にとって、本を読むことにはどのような効果があると思いますか。(特にあてはまるもの3つまで選択)

※本には電子書籍を含みますが、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 . 気分転換になる | 2 . 感動を得ることができる |
| 3 . 物語などを楽しむことができる | 4 . 空想したり夢を描いたりすることができる |
| 5 . 時代の動きや流行を知ることができる | 6 . 知らない情報を得ることができる |
| 7 . いろいろな人の考え方に触れられる | 8 . 視野が広がる |
| 9 . 情報の真偽を見極める力が身に付く | 10 . 言葉の表現力をつけることができる |
| 11 . 教養を身に付けることができる | 12 . 資格取得に役に立つ |
| 13 . 趣味を深めることができる | 14 . 集中力がつく |
| 15 . 文章を読むのが早くなる | 16 . 順序立てて考えられるようになる |
| 17 . 物事を深く考えられるようになる | 18 . わからないことを調べるのが得意になる |
| 19 . 他の人と話す話題が増える | 20 . その他 () |
| 21 . わからない | |

(3) 本調査に御協力いただいた高校生のお子様がおっと本を読みたくなるようにするためには、どのようなことが有効だと思いますか。(それぞれあてはまるもの一つを選択)

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	1	2	3	4
教室に自由に読める本を置くようにする	1	2	3	4
学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	1	2	3	4
学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	1	2	3	4
友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	1	2	3	4
学校で先生からおすすめの本を紹介する	1	2	3	4
世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	1	2	3	4
本を読むことの意味や効果を明確に示す	1	2	3	4
自分で調べて発表する授業を多くする	1	2	3	4
授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	1	2	3	4
学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	1	2	3	4
地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	1	2	3	4
図書館での本の貸し出しをもっと便利にする(1回の本の貸し出し冊数を増やす、貸し出し期間を長くする、など)	1	2	3	4
様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	1	2	3	4
地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	1	2	3	4
高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	1	2	3	4
電子書籍をもっと普及させる	1	2	3	4
本の値段をもっと安くする	1	2	3	4

(4) その他、本調査に御協力いただいた高校生のお子様がおっと本を読みたくなるようにするために、有効と考えることがあれば、その内容についてお教えてください。

御協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて 12月12日(金)までに御返送ください。

(3) 学校向け調査

文部科学省委託調査

高校生の読書に関する意識等調査(学校向け調査)

<調査の回答に関するお願い>

それぞれの質問について、あてはまる回答を選択肢から選び番号に をつけるか、記入欄に回答を記入してください。

「学校名」は、本調査の実施状況の把握を目的として記入していただくものです。また、「御記入者」の情報に关しましては、御回答いただいた内容に关し、不明な点等があった場合の問い合わせの際に使用させていただくことを想定しております。学校名や御記入者を特定した形で回答結果を公表することはいたしません。

回答結果によって、貴校が実施している読書に関する取組・推進の状況に関し個別に評価を行うことや、具体的な改善を求めるといったことは一切ございませんので、貴校の現状についてありのままをお答えください。

学校名 : _____
御記入者: 職名 _____ / お名前 _____

1. 貴校のことについてお聞きします

(1) 学校の設置主体

1. 国立 2. 公立 3. 私立

(2) 全校生徒数

1. 199人以下 2. 200人~399人 3. 400人~599人
4. 600人~799人 5. 800人~999人 6. 1,000人以上

(3) 学校の全学級数

1. 5学級以下 2. 6学級~8学級 3. 9学級~11学級
4. 12学級~14学級 5. 15学級~17学級 6. 18学級~20学級
7. 21学級~23学級 8. 24学級~26学級 9. 27学級~29学級
10. 30学級以上

(4) 学校の全教員数(非常勤講師を含む)

1. 19人以下 2. 20人~29人 3. 30人~39人
4. 40人~49人 5. 50人~59人 6. 60人以上

(5) 貴校が設置されている市区町村の人口規模(政令指定都市の場合には、市の単位でお答えください)

1. 1万人未満 2. 1万人~3万人未満 3. 3万人~5万人未満
4. 5万人~10万人未満 5. 10万人~20万人未満 6. 20万人~30万人未満
7. 30万人~50万人未満 8. 50万人以上

(6) 貴校の平成25年度卒業生の大学・短期大学進学率(進学準備中の者については、将来的には大学・短期大学に進学するものと想定してお答えください)

1. 5割未満 2. 5割~7割未満 3. 7割~9割未満 4. 9割以上

2. 学校図書館の整備等の状況についてお聞きします

(1) 学校図書館の蔵書数についてお教えてください。

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 5千冊未満 | 2. 5千冊～1万冊未満 | 3. 1万冊～1万5千冊未満 |
| 4. 1万5千冊～2万冊未満 | 5. 2万冊～2万5千冊未満 | 6. 2万5千冊～3万冊未満 |
| 7. 3万冊～3万5千冊未満 | 8. 3万5千冊～4万冊未満 | 9. 4万冊～4万5千冊未満 |
| 10. 4万5千冊～5万冊未満 | 11. 5万冊以上 | |

(2) 平成25年度の学校図書館図書購入費はどのくらいでしたか。

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. 10万円未満 | 2. 10万円～30万円未満 | 3. 30万円～50万円未満 |
| 4. 50万円～70万円未満 | 5. 70万円～90万円未満 | 6. 90万円～110万円未満 |
| 7. 110万円～130万円未満 | 8. 130万円～150万円未満 | 9. 150万円以上 |

(3) 貴校には司書教諭が置かれていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 貴校には学校司書が置かれていますか。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 常勤の職員と非常勤の職員が置かれている | 2. 常勤の職員が置かれている |
| 3. 非常勤の職員のみが置かれている | 4. 置かれていない |

(5) 学校図書館の蔵書をデータベース化していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 学校図書館に生徒が使用可能なコンピュータを整備していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) 貴校の学校図書館は、1週間あたりおよそ何日ぐらい開館していますか。

- | | | | |
|-------------|---------|--------------|---------|
| 1. 週に5日(毎日) | 2. 週に4日 | 3. 週に3日 | 4. 週に2日 |
| 5. 週に1日 | 6. 期間限定 | 7. 学校に図書館がない | |

3. 読書推進に関する体制についてお聞きします

(1) 貴校では、生徒の読書活動推進に関する基本的な方針や計画を策定していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 貴校では、学校図書館の利活用に関する基本的な方針や計画を策定していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 貴校では今年度、生徒の読書活動推進や学校図書館の利活用に関する教職員向けの研修を実施しましたか。(あてはまるもの全てを選択)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 学校内で研修会・勉強会を実施した |
| 2. 校外で行われる研修会・勉強会等に教職員を派遣した |
| 3. 実施していない |

4. 読書活動推進に関する取組や学習指導の状況についてお聞きします

以下の質問については、貴校で生徒向け調査を実施していただいた学級に関して御回答ください。

(1) 学級では一斉読書の時間を設けていますか。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 基本的に毎日行っている | 2. 週に複数回、定期的に行っている |
| 3. 週に1回、定期的に行っている | 4. 月に数回程度、定期的に行っている |
| 5. 不定期に行っている | 6. 行っていない |

(2) 学級で一斉読書の時間以外の読書活動推進に関する取組として、実施しているものを教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

※「ブックトーク」 ……一定のテーマに沿って、複数の本の紹介を行うこと

※「ビブリオバトル」 ……お気に入りの本を持ち寄り、その本についてプレゼンテーションし合い、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で決定するゲーム・イベント

※「読書マラソン」 ……読んだ本の冊数やページ数を記録して、目標とする分量への到達状況を把握したり読書量を競わせたりすること

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 図書の読み聞かせの実施 | 2. ブックトークの実施 |
| 3. ビブリオバトルの実施 | 4. 必読書コーナー、推薦図書コーナーの設置 |
| 5. 教室に生徒が自由に読める本を設置 | 6. 目標とする読書量の設定 |
| 7. 「読書マラソン」など読書量を競う活動 | 8. 読書感想文コンクールへの参加 |
| 9. 学校の先生(図書館の先生以外)による本の紹介 | 10. 図書館の先生による本の紹介 |
| 11. 校種間連携による取組 | 12. 家庭における読書活動への支援 |
| 13. 読書推進に関するボランティアの活用 | 14. 公共図書館との連携 |
| 15. デジタル教科書や電子黒板の活用 | 16. その他 |
| 17. 特段実施していない | |

(2-1) 上記(2)で、読書活動推進に関する取組について「その他」と回答した場合におたずねします。読書活動推進に関する取組として、貴校で実施していることの内容についてお教えてください。

(3) 今年度、学校図書館を活用した授業を計画的に行っていますか。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 週に1回程度、またはそれ以上行っている | 2. 月に数回程度行っている |
| 3. 学期に数回程度行っている | 4. 年に数回程度行っている |
| 5. 行っていない | |

5. 高校生の読書推進に関する課題等についてお聞きします

(1) 貴校の生徒にとって、本を読むことにはどのような効果があるとお考えですか。(特にあてはまるもの3つまで選択)

※本には、電子書籍を含むものとしますが、マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は含みません

1. 気分転換になる	2. 感動を得ることができる
3. 物語などを楽しむことができる	4. 空想したり夢を描いたりすることができる
5. 時代の動きや流行を知ることができる	6. 知らない情報を得ることができる
7. いろいろな人の考え方に触れられる	8. 視野が広がる
9. 情報の真偽を見極める力が身に付く	10. 言葉の表現力をつけることができる
11. 教養を身に付けることができる	12. 資格取得に役に立つ
13. 趣味を深めることができる	14. 集中力がつく
15. 文章を読むのが早くなる	16. 順序立てて考えられるようになる
17. 物事を深く考えられるようになる	18. わからないことを調べるのが得意になる
19. 他の人と話す話題が増える	20. その他()
21. わからない	

(2) 貴校の生徒がもっと本を読みたくなるようにするためには、どのようなことが有効だと思いますか。(それぞれあてはまるもの一つを選択)

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	1	2	3	4
教室に自由に読める本を置くようにする	1	2	3	4
学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	1	2	3	4
学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	1	2	3	4
友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	1	2	3	4
学校で先生からおすすめの本を紹介する	1	2	3	4
世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	1	2	3	4
本を読むことの意味や効果を明確に示す	1	2	3	4
自分で調べて発表する授業を多くする	1	2	3	4
授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	1	2	3	4
学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	1	2	3	4
地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	1	2	3	4
図書館での本の貸し出しをもっと便利にする(1回の本の貸し出し冊数を増やす、貸し出し期間を長くする、など)	1	2	3	4
様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	1	2	3	4
地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	1	2	3	4
高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	1	2	3	4
電子書籍をもっと普及させる	1	2	3	4
本の値段をもっと安くする	1	2	3	4

(3) その他、貴校の生徒がもっと本を読みたくなるようにするために、有効と考えることがあれば、その内容についてお教えてください。

御協力ありがとうございました。生徒向けの調査票とともに御返送ください。

2. 単純集計表

(1) 生徒向け調査

1. あなたのことについてお聞きします

1(1) 性別

	件数	割合	
		N=4,669	割合 (除無回答) N=4,666
男性	2,171	46.5	46.5
女性	2,495	53.4	53.5
無回答	3	0.1	-
全 体	4,669	100.0	100.0

1(2) 学年

	件数	割合	
		N=4,669	割合 (除無回答) N=4,669
2年	4,669	100.0	100.0
無回答	0	0.0	-
全 体	4,669	100.0	100.0

1(3) 高校の種類

	件数	割合	
		N=4,669	割合 (除無回答) N=4,669
国立	39	0.8	0.8
公立	3,237	69.3	69.3
私立	1,393	29.8	29.8
無回答	0	0.0	-
全 体	4,669	100.0	100.0

1(4) 学科

	件数	割合	
		N=4,669	割合 (除無回答) N=4,668
普通科	3,315	71.0	71.0
工業科	375	8.0	8.0
商業科	337	7.2	7.2
農業科	107	2.3	2.3
水産科	33	0.7	0.7
家庭科	7	0.1	0.1
看護科	32	0.7	0.7
情報科	0	0.0	0.0
福祉科	0	0.0	0.0
総合学科	192	4.1	4.1
その他	270	5.8	5.8
無回答	1	0.0	-
全 体	4,669	100.0	100.0

1(5) 高校卒業後の進路希望

	件数	割合	
		N=4,669	割合 (除無回答) N=4,653
四年制大学に進学する(文系学部)	1,415	30.3	30.4
四年制大学に進学する(理系学部)	724	15.5	15.6
四年制大学に進学する(学部等は未定)	364	7.8	7.8
短期大学に進学する	136	2.9	2.9
専門学校(専修学校・各種学校)に進学する	642	13.8	13.8
就職する	794	17.0	17.1
その他	54	1.2	1.2
まだ決めていない	524	11.2	11.3
無回答	16	0.3	-
全 体	4,669	100.0	100.0

2. 普段の生活の様子についてお聞きします

2(1) 普段朝起きる時間

	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,587
2時台	2	0.0	0.0
3時台	8	0.2	0.2
4時台	70	1.5	1.5
5時台	644	13.8	14.0
6時台	2,468	52.9	53.8
7時台	1,367	29.3	29.8
8時台	28	0.6	0.6
無回答	82	1.8	-
全 体	4,669	100.0	100.0

2(1) 普段家に帰る時間

	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,578
15時台	47	1.0	1.0
16時台	455	9.7	9.9
17時台	650	13.9	14.2
18時台	677	14.5	14.8
19時台	1,269	27.2	27.7
20時台	873	18.7	19.1
21時台	328	7.0	7.2
22時台	235	5.0	5.1
23時台	40	0.9	0.9
0時台	4	0.1	0.1
無回答	91	1.9	-
全 体	4,669	100.0	100.0

2(1) 普段夜寝る時間

	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,566
20時台	5	0.1	0.1
21時台	38	0.8	0.8
22時台	356	7.6	7.8
23時台	1,532	32.8	33.6
0時台	1,861	39.9	40.8
1時台	608	13.0	13.3
2時台	142	3.0	3.1
3時台	24	0.5	0.5
無回答	103	2.2	-
全 体	4,669	100.0	100.0

2(1) 睡眠時間

	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,565
5時間未満	177	3.8	3.9
5～6時間未満	691	14.8	15.1
6～7時間未満	1,781	38.1	39.0
7～8時間未満	1,474	31.6	32.3
8～9時間未満	394	8.4	8.6
9時間以上	48	1.0	1.1
算出不可	104	2.2	-
全 体	4,669	100.0	100.0
平 均	N=4,565	6.6時間	

2(1) 普段家にいる時間

	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,561
2時間未満	133	2.8	2.9
2～3時間未満	471	10.1	10.3
3～4時間未満	754	16.1	16.5
4～5時間未満	981	21.0	21.5
5～6時間未満	816	17.5	17.9
6～7時間未満	608	13.0	13.3
7～8時間未満	477	10.2	10.5
8～9時間未満	219	4.7	4.8
9時間以上	102	2.2	2.2
算出不可	108	2.3	-
全 体	4,669	100.0	100.0
平 均	N=4,561	4.9時間	

2(2) 家にいるときに1日に平均してどのくらいの時間、次のことをしていますか

【普通学校のある日】		全くしない	1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答	全体
件数	家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る	255	1368	1614	765	303	350	14	4,669
	家でゲームで遊ぶ	1347	1590	926	405	166	215	20	4,669
	家で電話・電子メール、SNSで交流する	510	1959	1089	511	239	335	26	4,669
	家でマンガ・雑誌を読む	1906	1933	547	160	54	46	23	4,669
	家で勉強をする	1,404	1,471	1,152	486	97	44	15	4,669
割合	家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る N=4,669	5.5	29.3	34.6	16.4	6.5	7.5	0.3	100.0
	家でゲームで遊ぶ N=4,669	28.8	34.1	19.8	8.7	3.6	4.6	0.4	100.0
	家で電話・電子メール、SNSで交流する N=4,669	10.9	42.0	23.3	10.9	5.1	7.2	0.6	100.0
	家でマンガ・雑誌を読む N=4,669	40.8	41.4	11.7	3.4	1.2	1.0	0.5	100.0
	家で勉強をする N=4,669	30.1	31.5	24.7	10.4	2.1	0.9	0.3	100.0
割合 (除無回答)	家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る N=4,655	5.5	29.4	34.7	16.4	6.5	7.5	-	100.0
	家でゲームで遊ぶ N=4,649	29.0	34.2	19.9	8.7	3.6	4.6	-	100.0
	家で電話・電子メール、SNSで交流する N=4,643	11.0	42.2	23.5	11.0	5.1	7.2	-	100.0
	家でマンガ・雑誌を読む N=4,646	41.0	41.6	11.8	3.4	1.2	1.0	-	100.0
	家で勉強をする N=4,654	30.2	31.6	24.8	10.4	2.1	0.9	-	100.0
【学校のない休みの日】		全くしない	1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答	全体
件数	家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る	233	712	1258	1148	486	817	15	4,669
	家でゲームで遊ぶ	1253	1187	969	556	245	449	10	4,669
	家で電話・電子メール、SNSで交流する	506	1567	1075	647	294	564	16	4,669
	家でマンガ・雑誌を読む	1690	1752	767	277	82	86	15	4,669
	家で勉強をする	1,415	1,156	948	647	303	186	14	4,669
割合	家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る N=4,669	5.0	15.2	26.9	24.6	10.4	17.5	0.3	100.0
	家でゲームで遊ぶ N=4,669	26.8	25.4	20.8	11.9	5.2	9.6	0.2	100.0
	家で電話・電子メール、SNSで交流する N=4,669	10.8	33.6	23.0	13.9	6.3	12.1	0.3	100.0
	家でマンガ・雑誌を読む N=4,669	36.2	37.5	16.4	5.9	1.8	1.8	0.3	100.0
	家で勉強をする N=4,669	30.3	24.8	20.3	13.9	6.5	4.0	0.3	100.0
割合 (除無回答)	家でテレビ、ビデオ、DVD、インターネットを見る N=4,654	5.0	15.3	27.0	24.7	10.4	17.6	-	100.0
	家でゲームで遊ぶ N=4,659	26.9	25.5	20.8	11.9	5.3	9.6	-	100.0
	家で電話・電子メール、SNSで交流する N=4,653	10.9	33.7	23.1	13.9	6.3	12.1	-	100.0
	家でマンガ・雑誌を読む N=4,654	36.3	37.6	16.5	6.0	1.8	1.8	-	100.0
	家で勉強をする N=4,655	30.4	24.8	20.4	13.9	6.5	4.0	-	100.0

3. 読書に関することについてお聞きします

3(1) 1日に平均してどのくらい本を読みますか(マンガ・雑誌、新聞、教科書・参考書を除く)

		全くしない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答	全体	
件数	普通学校のある日	紙の本	2450	1203	588	277	90	24	23	14	4,669
		電子書籍	3897	368	176	110	46	6	24	42	4,669
	学校のない休みの日	紙の本	2644	782	583	390	157	47	47	19	4,669
		電子書籍	3,839	358	192	98	57	28	40	57	4,669
割合	普通学校のある日	紙の本 N=4,669	52.5	25.8	12.6	5.9	1.9	0.5	0.5	0.3	100.0
		電子書籍 N=4,669	83.5	7.9	3.8	2.4	1.0	0.1	0.5	0.9	100.0
	学校のない休みの日	紙の本 N=4,669	56.6	16.7	12.5	8.4	3.4	1.0	1.0	0.4	100.0
		電子書籍 N=4,669	82.2	7.7	4.1	2.1	1.2	0.6	0.9	1.2	100.0
割合 (除無回答)	普通学校のある日	紙の本 N=4,655	52.6	25.8	12.6	6.0	1.9	0.5	0.5	-	100.0
		電子書籍 N=4,627	84.2	8.0	3.8	2.4	1.0	0.1	0.5	-	100.0
	学校のない休みの日	紙の本 N=4,650	56.9	16.8	12.5	8.4	3.4	1.0	1.0	-	100.0
		電子書籍 N=4,612	83.2	7.8	4.2	2.1	1.2	0.6	0.9	-	100.0

3(2) この1か月で何冊本を読みましたか。また、夏休みの期間には何冊読みましたか(マンガ・雑誌、新聞、教科書・参考書を除く)

		0冊	1冊	2冊	3冊	4～6冊	7～10冊	11～20冊	21冊以上	無回答	全体	平均(冊)
件数	この1か月に読んだ本	2390	862	558	304	307	123	64	39	22	4,669	1.69
	夏休み期間に読んだ本	1,607	1,153	671	383	436	187	116	73	43	4,669	2.86
割合	この1か月に読んだ本 N=4,669	51.2	18.5	12.0	6.5	6.6	2.6	1.4	0.8	0.5	100.0	
	夏休み期間に読んだ本 N=4,669	34.4	24.7	14.4	8.2	9.3	4.0	2.5	1.6	0.9	100.0	
割合 (除無回答)	この1か月に読んだ本 N=4,647	51.4	18.5	12.0	6.5	6.6	2.6	1.4	0.8	-	100.0	
	夏休み期間に読んだ本 N=4,626	34.7	24.9	14.5	8.3	9.4	4.0	2.5	1.6	-	100.0	

【3(2) この1か月に読んだ本で「0冊」と回答した人のみ】

3(2-1) この1か月に本を読まなかったのはなぜですか(複数回答)

	件数	割合	割合 (除無回答)
		N=2,390	N=2,350
勉強で時間がなかったから	441	18.5	18.8
部活動や生徒会等で時間がなかったから	790	33.1	33.6
友達との遊びや付き合いで時間がなかったから	568	23.8	24.2
TVやインターネットを見ていて時間がなかったから	497	20.8	21.1
ゲームをしていて時間がなかったから	287	12.0	12.2
電話・メール・SNS等をしていて時間がなかったから	462	19.3	19.7
マンガ・雑誌を読んでいて時間がなかったから	249	10.4	10.6
アルバイトで時間がなかったから	199	8.3	8.5
学校の図書館(図書室)に読みたい本がないから	100	4.2	4.3
地域の図書館に読みたい本がないから	54	2.3	2.3
地域の図書館が近くにないから	59	2.5	2.5
書店が近くにないから	75	3.1	3.2
本が高いから	159	6.7	6.8
どの本が面白いのかわからないから	280	11.7	11.9
文字を読むのが苦手だから	262	11.0	11.1
読みたいと思う本がないから	912	38.2	38.8
他にしたいことがあったから	831	34.8	35.4
読む必要を感じなかったから	492	20.6	20.9
普段から本を読まないから	1,106	46.3	47.1
その他	46	1.9	2.0
無回答	40	1.7	-
全 体	7,909	-	-

3(3) あなたはどのような場所で本を読みますか(複数回答)

	件数	割合	割合 (除無回答)
		N=4,669	N=4,652
自宅	3,239	69.4	69.6
ファミリーレストラン・ファーストフード店	77	1.6	1.7
喫茶店・カフェ	217	4.6	4.7
フードコート・お店の休憩スペース	78	1.7	1.7
通学時	749	16.0	16.1
教室(休み時間や朝の時間、放課後など)	1,461	31.3	31.4
学校の図書館・図書室	349	7.5	7.5
地域の図書館	223	4.8	4.8
書店・古書店等で立ち読み	698	14.9	15.0
その他	42	0.9	0.9
全く読まない	913	19.6	19.6
無回答	17	0.4	-
全 体	8,063	-	-

3(4) 読む本はどのようにして選んでいますか(複数回答)

	件数	割合	割合 (除無回答)
		N=4,669	N=4,644
書店で見て気になった本を読む	2,367	50.7	51.0
インターネットで見て気になった本を読む	870	18.6	18.7
学校の図書館(図書室)・教室で見て気になった本を読む	563	12.1	12.1
地域の図書館で見て気になった本を読む	241	5.2	5.2
新聞や電車の広告を見て気になった本を読む	247	5.3	5.3
家にある保護者や兄弟姉妹の本を読む	425	9.1	9.2
ベストセラー・話題の本を読む	954	20.4	20.5
アニメやマンガの原作や関連の本を読む	1,050	22.5	22.6
テレビや映画の原作や関連の本を読む	1,052	22.5	22.7
自分の好きな作家の本を読む	1,105	23.7	23.8
自分の好きなジャンルの本を読む	1,929	41.3	41.5
友達のすすめる本を読む	786	16.8	16.9
兄弟姉妹のすすめる本を読む	189	4.0	4.1
保護者のすすめる本を読む	245	5.2	5.3
学校の先生(図書館の先生以外)がすすめる本を読む	123	2.6	2.6
図書館の先生がすすめる本を読む	59	1.3	1.3
推薦図書一覧等の中から選んで読む	70	1.5	1.5
その他	34	0.7	0.7
全く読まない	852	18.2	18.3
無回答	25	0.5	-
全 体	13,186	-	-

3(5) 読む本はどのようにして手に入れていますか(複数回答)

【紙の本】	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,637
書店・古書店で買う	3,427	73.4	73.9
学校の図書館(図書室)で借りる	836	17.9	18.0
地域の図書館で借りる	570	12.2	12.3
友達に借りる	1,095	23.5	23.6
兄弟姉妹に借りる	377	8.1	8.1
保護者に借りる	385	8.2	8.3
その他	59	1.3	1.3
紙の本は読んでいない	672	14.4	14.5
無回答	32	0.7	-
全 体	7,453	-	-

【電子書籍】	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,460
専用のウェブサイト等で無料の書籍を入手する	776	16.6	17.4
専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う	107	2.3	2.4
その他	12	0.3	0.3
電子書籍は読んでいない	3,617	77.5	81.1
無回答	209	4.5	-
全 体	4,721	-	-

3(6) あなたは読書が好きですか

	件数	割合	割合
		N=4,669	(除無回答) N=4,620
とても好き	814	17.4	17.6
わりと好き	2,168	46.4	46.9
あまり好きではない	1,045	22.4	22.6
好きではない	593	12.7	12.8
無回答	49	1.0	-
全 体	4,669	100.0	100.0

3(7) 本を読むことにはどのような効果があると思いますか(3つまで回答)

4つ以上の項目を選択した回答者は集計対象外とした

	件数	割合	割合
		N=3,842	(除無回答) N=3,811
気分転換になる	1,272	33.1	33.4
感動を得ることができる	691	18.0	18.1
物語などを楽しむことができる	1,371	35.7	36.0
空想したり夢を描いたりすることができる	663	17.3	17.4
時代の動きや流行を知ることができる	90	2.3	2.4
知らない情報を得ることができる	505	13.1	13.3
いろいろな人の考え方に触れられる	565	14.7	14.8
視野が広がる	668	17.4	17.5
情報の真偽を見極める力が身に付く	43	1.1	1.1
言葉の表現力をつけることができる	829	21.6	21.8
教養を身に付けることができる	315	8.2	8.3
資格取得に役に立つ	30	0.8	0.8
趣味を深めることができる	414	10.8	10.9
集中力がつく	650	16.9	17.1
文章を読むのが早くなる	532	13.8	14.0
順序立てて考えられるようになる	36	0.9	0.9
物事を深く考えられるようになる	352	9.2	9.2
わからないことを調べるのが得意になる	20	0.5	0.5
他の人と話す話題が増える	131	3.4	3.4
その他	30	0.8	0.8
わからない	318	8.3	8.3
無回答	31	0.8	-
全 体	9,556	-	-

3(8) 小学校に入学する前、小学校(低学年・高学年)、中学校のそれぞれの時期にどれくらい本を読みましたか

		とてもよく読んだ	よく読んだ	あまり読まなかった	ほとんど読まなかった	無回答	全体	
件数	小学校に入学する前	743	1246	1399	1251	30	4,669	
	小学校低学年(1-3学年)	1037	1494	1267	840	31	4,669	
	小学校高学年(4-6学年)	1185	1421	1278	757	28	4,669	
	中学校	969	1,277	1,023	1,369	31	4,669	
割合	小学校に入学する前	N=4,669	15.9	26.7	30.0	26.8	0.6	100.0
	小学校低学年(1-3学年)	N=4,669	22.2	32.0	27.1	18.0	0.7	100.0
	小学校高学年(4-6学年)	N=4,669	25.4	30.4	27.4	16.2	0.6	100.0
	中学校	N=4,669	20.8	27.4	21.9	29.3	0.7	100.0
割合 (除無回答)	小学校に入学する前	N=4,639	16.0	26.9	30.2	27.0	-	100.0
	小学校低学年(1-3学年)	N=4,638	22.4	32.2	27.3	18.1	-	100.0
	小学校高学年(4-6学年)	N=4,641	25.5	30.6	27.5	16.3	-	100.0
	中学校	N=4,638	20.9	27.5	22.1	29.5	-	100.0

3(9) 中学生のときと比べて、高校生になって本を読む時間や本の量は変わりましたか

		増えた	減った	変わらなかった	無回答	全体	
件数	1日あたりで本を読む時間	589	2,664	1,406	10	4,669	
	1か月に読む本の量(冊数)	668	2,644	1,339	18	4,669	
割合	1日あたりで本を読む時間	N=4,669	12.6	57.1	30.1	0.2	100.0
	1か月に読む本の量(冊数)	N=4,669	14.3	56.6	28.7	0.4	100.0
割合 (除無回答)	1日あたりで本を読む時間	N=4,659	12.6	57.2	30.2	-	100.0
	1か月に読む本の量(冊数)	N=4,651	14.4	56.8	28.8	-	100.0

3(10) 電子書籍について、どのような印象を持っていますか(複数回答)

【良い面】	件数	割合 N=4,669	割合 (除無回答) N=4,636
いつでもどこでも、すぐに本が手に入る	1,761	37.7	38.0
いつでもどこでも本が読める	2,024	43.3	43.7
持ち運びが楽で便利	2,000	42.8	43.1
保管に場所をとらない	1,428	30.6	30.8
気軽に本を読む気になる	991	21.2	21.4
ゴミが出ない	673	14.4	14.5
本が汚れたり、傷んだりしない	1,050	22.5	22.6
紙の本に比べて低価格である	584	12.5	12.6
その他	12	0.3	0.3
わからない	755	16.2	16.3
特に良いところはない	209	4.5	4.5
無回答	33	0.7	-
全 体	11,520	-	-

【悪い面】	件数	割合 N=4,669	割合 (除無回答) N=4,622
紙の本に比べ読みづらい	1,278	27.4	27.7
電子書籍化されている本が少ない	1,035	22.2	22.4
操作が難しい	384	8.2	8.3
手にとって自由に試し読みができない	867	18.6	18.8
線を引いたり書き込んだりできない	327	7.0	7.1
紙の本に比べて目が疲れる	1,791	38.4	38.7
電子書籍を読むための端末・機器の価格が高い	760	16.3	16.4
本を保有する楽しみがない	1,062	22.7	23.0
本の買い方がわかりづらい	461	9.9	10.0
支払いの仕方が面倒である	897	19.2	19.4
その他	125	2.7	2.7
わからない	808	17.3	17.5
特に悪いところはない	286	6.1	6.2
無回答	47	1.0	-
全 体	10,128	-	-

【いずれかの設問に回答があった者についてのみ集計】

3(11) 電子書籍を読むようになってから、本を読む時間や読む本の量は増えましたか

		増えた	減った	変わらなかった	無回答	全体	
件数	1日あたりで本を読む時間	234	138	405	0	777	
	1か月に読む本の量(冊数)	229	142	401	5	777	
割合	1日あたりで本を読む時間	N=777	30.1	17.8	52.1	0.0	100.0
	1か月に読む本の量(冊数)	N=777	29.5	18.3	51.6	0.6	100.0
割合 (除無回答)	1日あたりで本を読む時間	N=777	30.1	17.8	52.1	-	100.0
	1か月に読む本の量(冊数)	N=772	29.7	18.4	51.9	-	100.0

4.現在の読書環境等についてお聞きします

4(1)家の近くや通学路の途中に地域の図書館や書店はありますか

		家の近くや 通学路の途 中にある	家の近くや 通学路の途 中にはない	無回答	全体
件数	地域の図書館	2503	2005	161	4,669
	書店・古書店	3,157	1,333	179	4,669
割合	地域の図書館 N=4,669	53.6	42.9	3.4	100.0
	書店・古書店 N=4,669	67.6	28.6	3.8	100.0
割合 (除無回答)	地域の図書館 N=4,508	55.5	44.5	-	100.0
	書店・古書店 N=4,490	70.3	29.7	-	100.0

4(2)普段、どのくらい図書館や書店に行きますか

		ほとんど 毎日	週に2～ 3回	週に1回	月に2～ 3回	月に1回	3ヶ月に 1回	半年に1 回	年に1回	ほとんど 利用しな い	無回答	全体
件数	学校の図書館(図書室)	104	136	174	237	231	310	293	236	2901	47	4,669
	地域の図書館	39	42	75	197	228	383	385	349	2893	78	4,669
	書店・古書店	74	296	473	1087	840	520	221	102	983	73	4,669
	オンライン書店	74	78	81	120	173	110	91	95	3,751	96	4,669
割合	学校の図書館(図書室) N=4,669	2.2	2.9	3.7	5.1	4.9	6.6	6.3	5.1	62.1	1.0	100.0
	地域の図書館 N=4,669	0.8	0.9	1.6	4.2	4.9	8.2	8.2	7.5	62.0	1.7	100.0
	書店・古書店 N=4,669	1.6	6.3	10.1	23.3	18.0	11.1	4.7	2.2	21.1	1.6	100.0
	オンライン書店 N=4,669	1.6	1.7	1.7	2.6	3.7	2.4	1.9	2.0	80.3	2.1	100.0
割合 (除無回答)	学校の図書館(図書室) N=4,622	2.3	2.9	3.8	5.1	5.0	6.7	6.3	5.1	62.8	-	100.0
	地域の図書館 N=4,591	0.8	0.9	1.6	4.3	5.0	8.3	8.4	7.6	63.0	-	100.0
	書店・古書店 N=4,596	1.6	6.4	10.3	23.7	18.3	11.3	4.8	2.2	21.4	-	100.0
	オンライン書店 N=4,573	1.6	1.7	1.8	2.6	3.8	2.4	2.0	2.1	82.0	-	100.0

4(3)あなたの保護者は普段よく本を読んでいると思いますか

	件数	割合 N=4,669	割合 (除無回答) N=4,642
とてもそう思う	623	13.3	13.4
まあそう思う	1,114	23.9	24.0
あまりそう思わない	1,287	27.6	27.7
そう思わない	1,618	34.7	34.9
無回答	27	0.6	-
全 体	4,669	100.0	100.0

4(4)学校図書館(図書室)は使いやすいと思いますか

	件数	割合 N=4,669	割合 (除無回答) N=4,631
とてもそう思う	450	9.6	9.7
まあそう思う	2,170	46.5	46.9
あまりそう思わない	1,210	25.9	26.1
そう思わない	801	17.2	17.3
無回答	38	0.8	-
全 体	4,669	100.0	100.0

4(5) どのようにすれば、あなたはもっと本を読みたくてと思いませんか

		とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わ ない	そう思 わない	無回答	全体		
件数	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	1545	1940	613	503	68	4,669		
	教室に自由に読める本を置くようにする	1073	1641	1140	739	76	4,669		
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	978	1694	1172	744	81	4,669		
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	1036	1707	1117	728	81	4,669		
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	854	1544	1280	921	70	4,669		
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	558	1281	1622	1124	84	4,669		
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	768	1491	1364	968	78	4,669		
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	692	1301	1530	1071	75	4,669		
	自分で調べて発表する授業を多くする	393	740	1503	1957	76	4,669		
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	955	1593	1137	898	86	4,669		
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	1314	1564	921	797	73	4,669		
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	1142	1658	1050	744	75	4,669		
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	968	1448	1282	893	78	4,669		
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	1212	1573	1034	766	84	4,669		
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	766	1353	1512	962	76	4,669		
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	1386	1593	951	664	75	4,669		
	電子書籍をもっと普及させる	628	1160	1502	1305	74	4,669		
	本の値段をもっと安くする	2,172	1,409	590	436	62	4,669		
	割合	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=4,669	33.1	41.6	13.1	10.8	1.5	100.0
		教室に自由に読める本を置くようにする	N=4,669	23.0	35.1	24.4	15.8	1.6	100.0
学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする		N=4,669	20.9	36.3	25.1	15.9	1.7	100.0	
学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる		N=4,669	22.2	36.6	23.9	15.6	1.7	100.0	
友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう		N=4,669	18.3	33.1	27.4	19.7	1.5	100.0	
学校で先生からおすすめの本を紹介する		N=4,669	12.0	27.4	34.7	24.1	1.8	100.0	
世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する		N=4,669	16.4	31.9	29.2	20.7	1.7	100.0	
本を読むことの意味や効果を明確に示す		N=4,669	14.8	27.9	32.8	22.9	1.6	100.0	
自分で調べて発表する授業を多くする		N=4,669	8.4	15.8	32.2	41.9	1.6	100.0	
授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する		N=4,669	20.5	34.1	24.4	19.2	1.8	100.0	
学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)		N=4,669	28.1	33.5	19.7	17.1	1.6	100.0	
地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする		N=4,669	24.5	35.5	22.5	15.9	1.6	100.0	
図書館での本の貸し出しをもっと便利にする		N=4,669	20.7	31.0	27.5	19.1	1.7	100.0	
様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする		N=4,669	26.0	33.7	22.1	16.4	1.8	100.0	
地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする		N=4,669	16.4	29.0	32.4	20.6	1.6	100.0	
高校生がゆっくり本を読める場所を増やす		N=4,669	29.7	34.1	20.4	14.2	1.6	100.0	
電子書籍をもっと普及させる		N=4,669	13.5	24.8	32.2	28.0	1.6	100.0	
本の値段をもっと安くする		N=4,669	46.5	30.2	12.6	9.3	1.3	100.0	
割合 (除無回答)		学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=4,601	33.6	42.2	13.3	10.9	-	100.0
		教室に自由に読める本を置くようにする	N=4,593	23.4	35.7	24.8	16.1	-	100.0
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	N=4,588	21.3	36.9	25.5	16.2	-	100.0	
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	N=4,588	22.6	37.2	24.3	15.9	-	100.0	
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	N=4,599	18.6	33.6	27.8	20.0	-	100.0	
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	N=4,585	12.2	27.9	35.4	24.5	-	100.0	
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	N=4,591	16.7	32.5	29.7	21.1	-	100.0	
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	N=4,594	15.1	28.3	33.3	23.3	-	100.0	
	自分で調べて発表する授業を多くする	N=4,593	8.6	16.1	32.7	42.6	-	100.0	
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	N=4,583	20.8	34.8	24.8	19.6	-	100.0	
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	N=4,596	28.6	34.0	20.0	17.3	-	100.0	
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=4,594	24.9	36.1	22.9	16.2	-	100.0	
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	N=4,591	21.1	31.5	27.9	19.5	-	100.0	
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	N=4,585	26.4	34.3	22.6	16.7	-	100.0	
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	N=4,593	16.7	29.5	32.9	20.9	-	100.0	
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	N=4,594	30.2	34.7	20.7	14.5	-	100.0	
	電子書籍をもっと普及させる	N=4,595	13.7	25.2	32.7	28.4	-	100.0	
	本の値段をもっと安くする	N=4,607	47.1	30.6	12.8	9.5	-	100.0	

(2) 保護者向け調査

1. はじめに、お子様のことについてお聞きします

1(1) 「生徒向け調査」に御協力いただいた高校生のお子様の性別

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,044
男性	865	42.2	42.3
女性	1,179	57.6	57.7
無回答	4	0.2	-
全体	2,048	100.0	100.0

1(2) 「生徒向け調査」に御協力いただいた高校生のお子様の高校の種類

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,048
国立	24	1.2	1.2
公立	1,343	65.6	65.6
私立	681	33.3	33.3
無回答	0	0.0	-
全体	2,048	100.0	100.0

1(3) 「生徒向け調査」に御協力いただいた高校生のお子様の学年

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,048
2年	2,048	100.0	100.0
無回答	0	0.0	-
全体	2,048	100.0	100.0

2. あなた(保護者)のことについてお聞きします

2(1) 高校生のお子様からみた続柄

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,044
父親	223	10.9	10.9
母親	1,804	88.1	88.3
祖父	4	0.2	0.2
祖母	9	0.4	0.4
その他	4	0.2	0.2
無回答	4	0.2	-
全体	2,048	100.0	100.0

2(2) あなたの現在の仕事

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,035
常勤職員	583	28.5	28.6
非常勤職員	82	4.0	4.0
自営業・家業手伝い	162	7.9	8.0
パート・アルバイト	779	38.0	38.3
主婦・主夫	395	19.3	19.4
その他	34	1.7	1.7
無回答	13	0.6	-
全体	2,048	100.0	100.0

3. あなた(保護者)の読書習慣等に関することについてお聞きします

3(1) あなたは、1日に平均してどのくらい本を読みますか(マンガ・雑誌、新聞を除く)

			全くしない	30分未満	30分~1時間未満	1時間~2時間未満	2時間~3時間未満	3時間~4時間未満	4時間以上	無回答	全体
件数	平日	紙の本	957	565	380	100	19	3	4	20	2,048
		電子書籍	1713	116	39	17	4	0	0	159	2,048
	休日	紙の本	868	491	384	201	64	16	5	19	2,048
		電子書籍	1,702	101	43	26	8	1	0	167	2,048
割合	平日	紙の本 N=2,048	46.7	27.6	18.6	4.9	0.9	0.1	0.2	1.0	100.0
		電子書籍 N=2,048	83.6	5.7	1.9	0.8	0.2	0.0	0.0	7.8	100.0
	休日	紙の本 N=2,048	42.4	24.0	18.8	9.8	3.1	0.8	0.2	0.9	100.0
		電子書籍 N=2,048	83.1	4.9	2.1	1.3	0.4	0.0	0.0	8.2	100.0
割合 (除無回答)	平日	紙の本 N=2,028	47.2	27.9	18.7	4.9	0.9	0.1	0.2	-	100.0
		電子書籍 N=1,889	90.7	6.1	2.1	0.9	0.2	0.0	0.0	-	100.0
	休日	紙の本 N=2,029	42.8	24.2	18.9	9.9	3.2	0.8	0.2	-	100.0
		電子書籍 N=1,881	90.5	5.4	2.3	1.4	0.4	0.1	0.0	-	100.0

3(2) この1か月でどれくらい本を読みましたか(マンガ・雑誌、新聞を除く)

	件数	割合	
		N=2,048	割合 (除無回答) N=2,041
0冊	915	44.7	44.8
1冊	430	21.0	21.1
2冊	280	13.7	13.7
3冊	177	8.6	8.7
4～6冊	159	7.8	7.8
7～10冊	52	2.5	2.5
11～20冊	22	1.1	1.1
21冊以上	6	0.3	0.3
無回答	7	0.3	-
全 体	2,048	100.0	100.0
平 均	N=2,041	1.61冊	

【3(2)で「0冊」と回答した方のみ】

3(2-1) この1か月間に本を読まなかったのはなぜですか(複数回答)

	件数	割合	
		N=915	割合 (除無回答) N=903
家事・仕事等で時間がなかったから	695	76.0	77.0
趣味等の活動で時間がなかったから	129	14.1	14.3
友人等との遊びや付き合いで時間がなかったから	45	4.9	5.0
TVやインターネットを見ていて時間がなかったから	177	19.3	19.6
ゲームをしていて時間がなかったから	21	2.3	2.3
電話・メール・SNS等をしていて時間がなかったから	45	4.9	5.0
マンガ・雑誌を読んでいて時間がなかったから	38	4.2	4.2
図書館が近くにないから	14	1.5	1.6
図書館に読みたい本がないから	8	0.9	0.9
書店が近くにないから	23	2.5	2.5
本が高いから	42	4.6	4.7
どの本が面白いのかわからないから	52	5.7	5.8
文字を読むのが苦手だから	74	8.1	8.2
読みたいと思う本がないから	227	24.8	25.1
他にしたいことがあったから	216	23.6	23.9
読む必要を感じなかったから	98	10.7	10.9
普段から本を読まないから	284	31.0	31.5
その他	72	7.9	8.0
無回答	12	1.3	-
全 体	2,272	-	-

3(3) あなたはどのような場所で本を読みますか(複数回答)

	件数	割合	
		N=2,048	割合 (除無回答) N=2,039
自宅	1,617	79.0	79.3
ファミリーレストラン・ファーストフード店	41	2.0	2.0
喫茶店・カフェ	163	8.0	8.0
フードコート・お店の休憩スペース	33	1.6	1.6
通勤時・移動時	458	22.4	22.5
職場	237	11.6	11.6
地域の図書館	144	7.0	7.1
書店・古書店等で立ち読み	237	11.6	11.6
その他	121	5.9	5.9
全く読まない	250	12.2	12.3
無回答	9	0.4	-
全 体	3,310	-	-

3(4) 読む本はどのようにして選んでいますか(複数回答)

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,038
書店で見て気になった本を読む	1,171	57.2	57.6
インターネットで見て気になった本を読む	263	12.8	12.9
地域の図書館で見て気になった本を読む	325	15.9	16.0
新聞や電車の広告を見て気になった本を読む	515	25.1	25.3
ベストセラー・話題の本を読む	596	29.1	29.3
アニメやマンガの原作や関連の本を読む	67	3.3	3.3
テレビや映画の原作や関連の本を読む	350	17.1	17.2
自分の好きな作家の本を読む	664	32.4	32.7
自分の好きなジャンルの本を読む	766	37.4	37.7
仕事に関連する分野の本を読む	391	19.1	19.2
配偶者がすすめる本を読む	92	4.5	4.5
友人・同僚等がすすめる本を読む	212	10.4	10.4
子供がすすめる本を読む	243	11.9	12.0
その他	31	1.5	1.5
全く読まない	210	10.3	10.3
無回答	15	0.7	-
全 体	5,911	-	-

3(5) 読む本はどのようにして手に入れていますか(複数回答)

【紙の本】	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,018
書店・古書店で買う	1,643	80.2	81.4
地域の図書館で借りる	593	29.0	29.4
配偶者に借りる	104	5.1	5.2
友人・同僚等に借りる	166	8.1	8.2
子供に借りる	235	11.5	11.6
その他	100	4.9	5.0
紙の本は読んでいない	166	8.1	8.2
無回答	30	1.5	-
全 体	3,037	-	-

【電子書籍】	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=1,636
専用のウェブサイト等で無料の書籍を入手する	172	8.4	10.5
専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う	58	2.8	3.5
その他	0	0.0	0.0
電子書籍は読んでいない	1,436	70.1	87.8
無回答	412	20.1	-
全 体	2,078	-	-

3(6) 普段、どのくらい図書館や書店に行きますか

		ほとんど 毎日	週に2- 3回	週に1回	月に2- 3回	月に1回	3ヶ月に 1回	半年に1 回	年に1回	ほとんど 利用しない	無回答	全体
件数	地域の図書館	7	16	71	190	177	161	157	128	921	220	2,048
	書店・古書店	11	83	240	560	453	206	116	43	226	110	2,048
	オンライン書店	34	44	51	63	96	62	47	43	1,257	351	2,048
割合	地域の図書館 N=2,048	0.3	0.8	3.5	9.3	8.6	7.9	7.7	6.3	45.0	10.7	100.0
	書店・古書店 N=2,048	0.5	4.1	11.7	27.3	22.1	10.1	5.7	2.1	11.0	5.4	100.0
	オンライン書店 N=2,048	1.7	2.1	2.5	3.1	4.7	3.0	2.3	2.1	61.4	17.1	100.0
割合 (除無回答)	地域の図書館 N=1,828	0.4	0.9	3.9	10.4	9.7	8.8	8.6	7.0	50.4	-	100.0
	書店・古書店 N=1,938	0.6	4.3	12.4	28.9	23.4	10.6	6.0	2.2	11.7	-	100.0
	オンライン書店 N=1,697	2.0	2.6	3.0	3.7	5.7	3.7	2.8	2.5	74.1	-	100.0

3(7) あなたは読書が好きですか

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,038
とても好き	296	14.5	14.5
わりと好き	1,014	49.5	49.8
あまり好きではない	527	25.7	25.9
好きではない	201	9.8	9.9
無回答	10	0.5	-
全 体	2,048	100.0	100.0

3(8) 御家庭には本がどれくらいありますか(マンガ・雑誌、新聞、教科書・参考書を除く)

	件数	割合 N=2,048	割合 (除無回答) N=2,043
まったくない	25	1.2	1.2
10冊未満	207	10.1	10.1
10冊～50冊未満	703	34.3	34.4
50冊～100冊未満	416	20.3	20.4
100冊～200冊未満	303	14.8	14.8
200冊～500冊未満	238	11.6	11.6
500冊以上	104	5.1	5.1
わからない	47	2.3	2.3
無回答	5	0.2	-
全体	2,048	100.0	100.0

3(9) 御家庭では、次のようなことを今までにどのくらいしたことがありますか

就学前(小学校入学前)		何度もある	少しある	ほとんどない	無回答	全体	
件数	本や絵本の読み聞かせをする	1548	398	76	26	2,048	
	子供に自分が読んだ本をすすめる	593	541	828	86	2,048	
	子供に本を買ってあげる	1515	417	68	48	2,048	
	子供と一緒に地域の図書館に行く	1007	504	494	43	2,048	
	子供と一緒に書店に行く	1399	472	140	37	2,048	
	子供と読んだ本の内容について話し合う	861	717	430	40	2,048	
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	345	554	1088	61	2,048	
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	256	404	1,338	50	2,048	
割合	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,048	75.6	19.4	3.7	1.3	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=2,048	29.0	26.4	40.4	4.2	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=2,048	74.0	20.4	3.3	2.3	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,048	49.2	24.6	24.1	2.1	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,048	68.3	23.0	6.8	1.8	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=2,048	42.0	35.0	21.0	2.0	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	N=2,048	16.8	27.1	53.1	3.0	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=2,048	12.5	19.7	65.3	2.4	100.0
割合 (除無回答)	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,022	76.6	19.7	3.8	-	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=1,962	30.2	27.6	42.2	-	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=2,000	75.8	20.9	3.4	-	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,005	50.2	25.1	24.6	-	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,011	69.6	23.5	7.0	-	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=2,008	42.9	35.7	21.4	-	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	N=1,987	17.4	27.9	54.8	-	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=1,998	12.8	20.2	67.0	-	100.0

3(9) 御家庭では、次のようなことを今までにどのくらいしたことがありますか

小学校低学年(1～3学年)		何度もある	少しある	ほとんどない	無回答	全体	
件数	本や絵本の読み聞かせをする	822	778	401	47	2,048	
	子供に自分が読んだ本をすすめる	488	724	773	63	2,048	
	子供に本を買ってあげる	1337	556	100	55	2,048	
	子供と一緒に地域の図書館に行く	906	585	513	44	2,048	
	子供と一緒に書店に行く	1342	537	128	41	2,048	
	子供と読んだ本の内容について話し合う	717	821	459	51	2,048	
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	388	816	784	60	2,048	
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	234	485	1,272	57	2,048	
割合	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,048	40.1	38.0	19.6	2.3	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=2,048	23.8	35.4	37.7	3.1	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=2,048	65.3	27.1	4.9	2.7	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,048	44.2	28.6	25.0	2.1	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,048	65.5	26.2	6.3	2.0	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=2,048	35.0	40.1	22.4	2.5	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	N=2,048	18.9	39.8	38.3	2.9	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=2,048	11.4	23.7	62.1	2.8	100.0
割合 (除無回答)	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,001	41.1	38.9	20.0	-	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=1,985	24.6	36.5	38.9	-	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=1,993	67.1	27.9	5.0	-	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,004	45.2	29.2	25.6	-	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,007	66.9	26.8	6.4	-	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=1,997	35.9	41.1	23.0	-	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	N=1,988	19.5	41.0	39.4	-	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=1,991	11.8	24.4	63.9	-	100.0

小学校高学年（４～６学年）		何度もあ る	少しある	ほとんど ない	無回答	全体	
件数	本や絵本の読み聞かせをする	157	448	1385	58	2,048	
	子供に自分が読んだ本をすすめる	339	825	809	75	2,048	
	子供に本を買ってあげる	1109	670	207	62	2,048	
	子供と一緒に地域の図書館に行く	500	650	845	53	2,048	
	子供と一緒に書店に行く	1156	654	195	43	2,048	
	子供と読んだ本の内容について話し合う	467	819	711	51	2,048	
	子供とニュースや時事問題などについて話を する	557	972	456	63	2,048	
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	197	584	1,214	53	2,048	
割合	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,048	7.7	21.9	67.6	2.8	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=2,048	16.6	40.3	39.5	3.7	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=2,048	54.2	32.7	10.1	3.0	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,048	24.4	31.7	41.3	2.6	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,048	56.4	31.9	9.5	2.1	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=2,048	22.8	40.0	34.7	2.5	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話を する	N=2,048	27.2	47.5	22.3	3.1	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=2,048	9.6	28.5	59.3	2.6	100.0
割合 (除無回答)	本や絵本の読み聞かせをする	N=1,990	7.9	22.5	69.6	-	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=1,973	17.2	41.8	41.0	-	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=1,986	55.8	33.7	10.4	-	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=1,995	25.1	32.6	42.4	-	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,005	57.7	32.6	9.7	-	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=1,997	23.4	41.0	35.6	-	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話を する	N=1,985	28.1	49.0	23.0	-	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=1,995	9.9	29.3	60.9	-	100.0

3（9）御家庭では、次のようなことを今までにどのくらいしたことがありますか

中学校		何度もあ る	少しある	ほとんど ない	無回答	全体	
件数	本や絵本の読み聞かせをする	10	54	1919	65	2,048	
	子供に自分が読んだ本をすすめる	279	786	910	73	2,048	
	子供に本を買ってあげる	774	739	472	63	2,048	
	子供と一緒に地域の図書館に行く	137	338	1510	63	2,048	
	子供と一緒に書店に行く	857	711	438	42	2,048	
	子供と読んだ本の内容について話し合う	293	724	981	50	2,048	
	子供とニュースや時事問題などについて話を する	802	903	294	49	2,048	
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	213	705	1,076	54	2,048	
割合	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,048	0.5	2.6	93.7	3.2	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=2,048	13.6	38.4	44.4	3.6	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=2,048	37.8	36.1	23.0	3.1	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,048	6.7	16.5	73.7	3.1	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,048	41.8	34.7	21.4	2.1	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=2,048	14.3	35.4	47.9	2.4	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話を する	N=2,048	39.2	44.1	14.4	2.4	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=2,048	10.4	34.4	52.5	2.6	100.0
割合 (除無回答)	本や絵本の読み聞かせをする	N=1,983	0.5	2.7	96.8	-	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=1,975	14.1	39.8	46.1	-	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=1,985	39.0	37.2	23.8	-	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=1,985	6.9	17.0	76.1	-	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,006	42.7	35.4	21.8	-	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=1,998	14.7	36.2	49.1	-	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話を する	N=1,999	40.1	45.2	14.7	-	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=1,994	10.7	35.4	54.0	-	100.0

高校（現在の学校）に入学してから		何度もあ る	少しある	ほとんど ない	無回答	全体	
件数	本や絵本の読み聞かせをする	6	16	1980	46	2,048	
	子供に自分が読んだ本をすすめる	264	654	1072	58	2,048	
	子供に本を買ってあげる	579	587	834	48	2,048	
	子供と一緒に地域の図書館に行く	70	174	1766	38	2,048	
	子供と一緒に書店に行く	705	644	675	24	2,048	
	子供と読んだ本の内容について話し合う	257	647	1114	30	2,048	
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	929	823	268	28	2,048	
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	227	683	1,114	24	2,048	
割合	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,048	0.3	0.8	96.7	2.2	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=2,048	12.9	31.9	52.3	2.8	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=2,048	28.3	28.7	40.7	2.3	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,048	3.4	8.5	86.2	1.9	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,048	34.4	31.4	33.0	1.2	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=2,048	12.5	31.6	54.4	1.5	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	N=2,048	45.4	40.2	13.1	1.4	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=2,048	11.1	33.3	54.4	1.2	100.0
割合 (除無回答)	本や絵本の読み聞かせをする	N=2,002	0.3	0.8	98.9	-	100.0
	子供に自分が読んだ本をすすめる	N=1,990	13.3	32.9	53.9	-	100.0
	子供に本を買ってあげる	N=2,000	29.0	29.4	41.7	-	100.0
	子供と一緒に地域の図書館に行く	N=2,010	3.5	8.7	87.9	-	100.0
	子供と一緒に書店に行く	N=2,024	34.8	31.8	33.3	-	100.0
	子供と読んだ本の内容について話し合う	N=2,018	12.7	32.1	55.2	-	100.0
	子供とニュースや時事問題などについて話をする	N=2,020	46.0	40.7	13.3	-	100.0
	子供がすすめてくれた本を自分も読む	N=2,024	11.2	33.7	55.0	-	100.0

4. 高校生の読書推進に関する課題等についてお聞きします

4(1) 本調査に御協力いただいた高校生のお子様は普段よく本を読んでいると思いますか

	件数	割合	割合 (除無回答)
		N=2,048	N=2,034
とてもそう思う	248	12.1	12.2
まあそう思う	592	28.9	29.1
あまりそう思わない	740	36.1	36.4
そう思わない	454	22.2	22.3
無回答	14	0.7	-
全 体	2,048	100.0	100.0

4(2) 本調査に御協力いただいた高校生のお子様にとって、本を読むことにはどのような効果があると思いますか(3つまで回答)

4つ以上の項目を選択した回答者は集計対象外とした

	件数	割合	割合 (除無回答)
		N=1,809	N=1,800
気分転換になる	484	26.8	26.9
感動を得ることができる	470	26.0	26.1
物語などを楽しむことができる	437	24.2	24.3
空想したり夢を描いたりすることができる	305	16.9	16.9
時代の動きや流行を知ることができる	87	4.8	4.8
知らない情報を得ることができる	336	18.6	18.7
いろいろな人の考え方に触られる	605	33.4	33.6
視野が広がる	487	26.9	27.1
情報の真偽を見極める力が身に付く	41	2.3	2.3
言葉の表現力をつけることができる	583	32.2	32.4
教養を身に付けることができる	197	10.9	10.9
資格取得に役に立つ	22	1.2	1.2
趣味を深めることができる	93	5.1	5.2
集中力がつく	301	16.6	16.7
文章を読むのが早くなる	127	7.0	7.1
順序立てて考えられるようになる	85	4.7	4.7
物事を深く考えられるようになる	394	21.8	21.9
わからないことを調べるのが得意になる	16	0.9	0.9
他の人と話す話題が増える	119	6.6	6.6
その他	6	0.3	0.3
わからない	11	0.6	0.6
無回答	9	0.5	-
全 体	5,215	-	-

4(3) 本調査に御協力いただいた高校生のお子様ももっと本を読みたくなるようにするためには、どのようなことが有効だと思いますか

		とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わ ない	そう思 わない	無回答	全体	
件数	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	608	1092	234	79	35	2,048	
	教室に自由に読める本を置くようにする	564	1035	331	88	30	2,048	
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	634	1065	244	65	40	2,048	
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	565	1027	350	73	33	2,048	
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	679	1017	274	54	24	2,048	
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	522	1048	377	72	29	2,048	
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	536	1074	348	62	28	2,048	
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	443	873	606	99	27	2,048	
	自分で調べて発表する授業を多くする	344	830	712	132	30	2,048	
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	533	1019	403	60	33	2,048	
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	696	900	354	66	32	2,048	
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	471	955	508	83	31	2,048	
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	408	867	638	103	32	2,048	
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	637	871	439	73	28	2,048	
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	339	798	765	113	33	2,048	
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	519	882	554	62	31	2,048	
	電子書籍をもっと普及させる	216	651	911	241	29	2,048	
	本の値段をもっと安くする	919	752	299	50	28	2,048	
割合	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=2,048	29.7	53.3	11.4	3.9	1.7	100.0
	教室に自由に読める本を置くようにする	N=2,048	27.5	50.5	16.2	4.3	1.5	100.0
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	N=2,048	31.0	52.0	11.9	3.2	2.0	100.0
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	N=2,048	27.6	50.1	17.1	3.6	1.6	100.0
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	N=2,048	33.2	49.7	13.4	2.6	1.2	100.0
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	N=2,048	25.5	51.2	18.4	3.5	1.4	100.0
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	N=2,048	26.2	52.4	17.0	3.0	1.4	100.0
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	N=2,048	21.6	42.6	29.6	4.8	1.3	100.0
	自分で調べて発表する授業を多くする	N=2,048	16.8	40.5	34.8	6.4	1.5	100.0
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	N=2,048	26.0	49.8	19.7	2.9	1.6	100.0
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	N=2,048	34.0	43.9	17.3	3.2	1.6	100.0
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=2,048	23.0	46.6	24.8	4.1	1.5	100.0
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	N=2,048	19.9	42.3	31.2	5.0	1.6	100.0
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	N=2,048	31.1	42.5	21.4	3.6	1.4	100.0
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	N=2,048	16.6	39.0	37.4	5.5	1.6	100.0
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	N=2,048	25.3	43.1	27.1	3.0	1.5	100.0
	電子書籍をもっと普及させる	N=2,048	10.5	31.8	44.5	11.8	1.4	100.0
	本の値段をもっと安くする	N=2,048	44.9	36.7	14.6	2.4	1.4	100.0
割合 (除無回答)	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=2,013	30.2	54.2	11.6	3.9	-	100.0
	教室に自由に読める本を置くようにする	N=2,018	27.9	51.3	16.4	4.4	-	100.0
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	N=2,008	31.6	53.0	12.2	3.2	-	100.0
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	N=2,015	28.0	51.0	17.4	3.6	-	100.0
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	N=2,024	33.5	50.2	13.5	2.7	-	100.0
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	N=2,019	25.9	51.9	18.7	3.6	-	100.0
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	N=2,020	26.5	53.2	17.2	3.1	-	100.0
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	N=2,021	21.9	43.2	30.0	4.9	-	100.0
	自分で調べて発表する授業を多くする	N=2,018	17.0	41.1	35.3	6.5	-	100.0
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	N=2,015	26.5	50.6	20.0	3.0	-	100.0
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	N=2,016	34.5	44.6	17.6	3.3	-	100.0
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=2,017	23.4	47.3	25.2	4.1	-	100.0
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	N=2,016	20.2	43.0	31.6	5.1	-	100.0
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	N=2,020	31.5	43.1	21.7	3.6	-	100.0
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	N=2,015	16.8	39.6	38.0	5.6	-	100.0
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	N=2,017	25.7	43.7	27.5	3.1	-	100.0
	電子書籍をもっと普及させる	N=2,019	10.7	32.2	45.1	11.9	-	100.0
	本の値段をもっと安くする	N=2,020	45.5	37.2	14.8	2.5	-	100.0

(3) 学校向け調査

1. 貴校のことについてお聞きします

1(1) 学校の設置主体

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=128
国立	1	0.8	0.8
公立	88	68.8	68.8
私立	39	30.5	30.5
無回答	0	0.0	-
全 体	128	100.0	100.0

1(2) 学校の全学級数

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=128
199人以下	4	3.1	3.1
200人～399人	27	21.1	21.1
400人～599人	23	18.0	18.0
600人～799人	28	21.9	21.9
800人～999人	26	20.3	20.3
1,000人以上	20	15.6	15.6
無回答	0	0.0	-
全 体	128	100.0	100.0

1(3) 学校の全学級数

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=128
5学級以下	3	2.3	2.3
6学級～8学級	7	5.5	5.5
9学級～11学級	15	11.7	11.7
12学級～14学級	14	10.9	10.9
15学級～17学級	17	13.3	13.3
18学級～20学級	21	16.4	16.4
21学級～23学級	17	13.3	13.3
24学級～26学級	15	11.7	11.7
27学級～29学級	6	4.7	4.7
30学級以上	13	10.2	10.2
無回答	0	0.0	-
全 体	128	100.0	100.0

1(3) 学校の全学級数

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=128
19人以下	1	0.8	0.8
20人～29人	5	3.9	3.9
30人～39人	10	7.8	7.8
40人～49人	17	13.3	13.3
50人～59人	30	23.4	23.4
60人以上	65	50.8	50.8
無回答	0	0.0	-
全 体	128	100.0	100.0

1(4) 学校が設置されている市区町村の人口規模

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=127
1万人未満	1	0.8	0.8
1万人～3万人未満	11	8.6	8.7
3万人～5万人未満	11	8.6	8.7
5万人～10万人未満	24	18.8	18.9
10万人～20万人未満	23	18.0	18.1
20万人～30万人未満	12	9.4	9.4
30万人～50万人未満	21	16.4	16.5
50万人以上	24	18.8	18.9
無回答	1	0.8	-
全 体	128	100.0	100.0

1(5) 大学・短期大学進学率

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=128
5割未満	54	42.2	42.2
5割～7割未満	20	15.6	15.6
7割～9割未満	18	14.1	14.1
9割以上	36	28.1	28.1
無回答	0	0.0	-
全 体	128	100.0	100.0

2. 学校図書館の整備等の状況についてお聞きします

2(1) 学校図書館の蔵書数

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=124
5千冊未満	3	2.3	2.4
5千冊～1万冊未満	4	3.1	3.2
1万冊～1万5千冊未満	13	10.2	10.5
1万5千冊～2万冊未満	15	11.7	12.1
2万冊～2万5千冊未満	31	24.2	25.0
2万5千冊～3万冊未満	18	14.1	14.5
3万冊～3万5千冊未満	12	9.4	9.7
3万5千冊～4万冊未満	4	3.1	3.2
4万冊～4万5千冊未満	9	7.0	7.3
4万5千冊～5万冊未満	4	3.1	3.2
5万冊以上	11	8.6	8.9
無回答	4	3.1	-
全 体	128	100.0	100.0

2(1) 学校図書館の図書購入費

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=125
10万円未満	6	4.7	4.8
10万円～30万円未満	15	11.7	12.0
30万円～50万円未満	16	12.5	12.8
50万円～70万円未満	18	14.1	14.4
70万円～90万円未満	16	12.5	12.8
90万円～110万円未満	15	11.7	12.0
110万円～130万円未満	9	7.0	7.2
130万円～150万円未満	8	6.3	6.4
150万円以上	22	17.2	17.6
無回答	3	2.3	-
全 体	128	100.0	100.0

2(3) 司書教諭が置かれていますか

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=128
はい	105	82.0	82.0
いいえ	23	18.0	18.0
無回答	0	0.0	-
全 体	128	100.0	100.0

2(4) 学校司書が置かれていますか

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=127
常勤職員	7	5.5	5.5
非常勤職員	74	57.8	58.3
自営業・家業手伝い	18	14.1	14.2
パート・アルバイト	28	21.9	22.0
無回答	1	0.8	-
全 体	128	100.0	100.0

2(5) 学校図書館の蔵書をデータベース化していますか

	件数	割合 N=128	割合 (除無回答) N=126
はい	107	83.6	84.9
いいえ	19	14.8	15.1
無回答	2	1.6	-
全 体	128	100.0	100.0

2(6) 学校図書館に生徒が使用可能なコンピュータを整備していますか

	件数	割合 N=128	割合 (除無回答) N=125
はい	86	67.2	68.8
いいえ	39	30.5	31.2
無回答	3	2.3	-
全 体	128	100.0	100.0

2(7) 学校図書館は、1週間あたりおよそ何日ぐらい開館していますか

	件数	割合 N=128	割合 (除無回答) N=128
週に5日(毎日)	124	96.9	96.9
週に4日	1	0.8	0.8
週に3日	1	0.8	0.8
週に2日	0	0.0	0.0
週に1日	0	0.0	0.0
期間限定	1	0.8	0.8
学校に図書館がない	1	0.8	0.8
無回答	0	0.0	-
全 体	128	100.0	100.0

3. 読書推進に関する体制についてお聞きします

3(1) 生徒の読書活動推進に関する基本的な方針や計画を策定していますか

	件数	割合 N=128	割合 (除無回答) N=126
はい	75	58.6	59.5
いいえ	51	39.8	40.5
無回答	2	1.6	-
全 体	128	100.0	100.0

3(2) 学校図書館の利活用に関する基本的な方針や計画を策定していますか

	件数	割合 N=128	割合 (除無回答) N=126
はい	91	71.1	72.2
いいえ	35	27.3	27.8
無回答	2	1.6	-
全 体	128	100.0	100.0

3(3) 生徒の読書活動推進や学校図書館の利活用に関する教職員向けの研修を実施しましたか(複数回答)

	件数	割合 N=128	割合 (除無回答) N=128
学校内で研修会・勉強会を実施した	6	4.7	4.7
校外で行われる研修会・勉強会等に教職員を派遣した	51	39.8	39.8
実施していない	73	57.0	57.0
無回答	0	0.0	-
全 体	130	-	-

4. 読書活動推進に関する取組や学習指導の状況についてお聞きします

4(1) 学級では一斉読書の時間を設けていますか

	件数	割合 N=128	割合 (除無回答) N=125
基本的に毎日行っている	29	22.7	23.2
週に複数回、定期的に行っている	5	3.9	4.0
週に1回、定期的に行っている	3	2.3	2.4
月に数回程度、定期的に行っている	1	0.8	0.8
不定期に行っている	10	7.8	8.0
行っていない	77	60.2	61.6
無回答	3	2.3	-
全 体	128	100.0	100.0

4(2) 学級で一斉読書の時間以外の読書活動推進に関する取組として、実施しているものを教えてください(複数回答)

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=123
図書の読み聞かせの実施	12	9.4	9.8
ブックトークの実施	8	6.3	6.5
ビブリオバトルの実施	17	13.3	13.8
必読書コーナー、推薦図書コーナーの設置	63	49.2	51.2
教室に生徒が自由に読める本を設置	30	23.4	24.4
目標とする読書量の設定	12	9.4	9.8
「読書マラソン」など読書量を競う活動	5	3.9	4.1
読書感想文コンクールへの参加	50	39.1	40.7
学校の先生(図書館の先生以外)による本の紹介	64	50.0	52.0
図書館の先生による本の紹介	73	57.0	59.3
校種間連携による取組	7	5.5	5.7
家庭における読書活動への支援	4	3.1	3.3
読書推進に関するボランティアの活用	3	2.3	2.4
公共図書館との連携	32	25.0	26.0
デジタル教科書や電子黒板の活用	3	2.3	2.4
その他	12	9.4	9.8
特段実施していない	17	13.3	13.8
無回答	5	3.9	-
全 体	417	-	-

4(3) 今年度、学校図書館を活用した授業を計画的に行っていますか

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=125
週に1回程度、またはそれ以上行っている	10	7.8	8.0
月に数回程度行っている	14	10.9	11.2
学期に数回程度行っている	18	14.1	14.4
年に数回程度行っている	33	25.8	26.4
行っていない	50	39.1	40.0
無回答	3	2.3	-
全 体	128	100.0	100.0

5. 高校生の読書推進に関する課題等についてお聞きします

5(1) 貴校の生徒にとって、本を読むことにはどのような効果があるとお考えですか(3つまで回答)

	件数	割合	割合
		N=128	(除無回答) N=127
気分転換になる	23	18.0	18.1
感動を得ることができる	38	29.7	29.9
物語などを楽しむことができる	32	25.0	25.2
空想したり夢を描いたりすることができる	7	5.5	5.5
時代の動きや流行を知ることができる	2	1.6	1.6
知らない情報を得ることができる	31	24.2	24.4
いろいろな人の考え方に触れられる	63	49.2	49.6
視野が広がる	49	38.3	38.6
情報の真偽を見極める力が身に付く	4	3.1	3.1
言葉の表現力をつけることができる	28	21.9	22.0
教養を身に付けることができる	30	23.4	23.6
資格取得に役に立つ	5	3.9	3.9
趣味を深めることができる	7	5.5	5.5
集中力がつく	20	15.6	15.7
文章を読むのが早くなる	2	1.6	1.6
順序立てて考えられるようになる	2	1.6	1.6
物事を深く考えられるようになる	28	21.9	22.0
わからないことを調べるのが得意になる	1	0.8	0.8
他の人と話す話題が増える	6	4.7	4.7
その他	0	0.0	0.0
わからない	0	0.0	0.0
無回答	1	0.8	-
全 体	379	-	-

5(2) 貴校の生徒がもっと本を読みたくなるようにするためには、どのようなことが有効だと思いますか

		とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わ ない	そう思 わない	無回答	全体	
件数	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	49	74	5	0	0	128	
	教室に自由に読める本を置くようにする	28	73	24	3	0	128	
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	64	50	9	5	0	128	
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	58	55	13	2	0	128	
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	68	55	5	0	0	128	
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	56	64	8	0	0	128	
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	37	74	17	0	0	128	
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	33	60	32	3	0	128	
	自分で調べて発表する授業を多くする	38	63	26	1	0	128	
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	38	75	14	1	0	128	
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	40	61	23	3	1	128	
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	11	65	47	5	0	128	
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	17	52	53	6	0	128	
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	18	53	45	10	2	128	
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	17	55	48	8	0	128	
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	33	65	29	1	0	128	
電子書籍をもっと普及させる	4	33	73	18	0	128		
本の値段をもっと安くする	34	59	27	8	0	128		
割合	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=128	38.3	57.8	3.9	0.0	0.0	100.0
	教室に自由に読める本を置くようにする	N=128	21.9	57.0	18.8	2.3	0.0	100.0
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	N=128	50.0	39.1	7.0	3.9	0.0	100.0
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	N=128	45.3	43.0	10.2	1.6	0.0	100.0
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	N=128	53.1	43.0	3.9	0.0	0.0	100.0
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	N=128	43.8	50.0	6.3	0.0	0.0	100.0
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	N=128	28.9	57.8	13.3	0.0	0.0	100.0
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	N=128	25.8	46.9	25.0	2.3	0.0	100.0
	自分で調べて発表する授業を多くする	N=128	29.7	49.2	20.3	0.8	0.0	100.0
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	N=128	29.7	58.6	10.9	0.8	0.0	100.0
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	N=128	31.3	47.7	18.0	2.3	0.8	100.0
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=128	8.6	50.8	36.7	3.9	0.0	100.0
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	N=128	13.3	40.6	41.4	4.7	0.0	100.0
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	N=128	14.1	41.4	35.2	7.8	1.6	100.0
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	N=128	13.3	43.0	37.5	6.3	0.0	100.0
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	N=128	25.8	50.8	22.7	0.8	0.0	100.0
電子書籍をもっと普及させる	N=128	3.1	25.8	57.0	14.1	0.0	100.0	
本の値段をもっと安くする	N=128	26.6	46.1	21.1	6.3	0.0	100.0	
割合 (除無回答)	学校図書館(図書室)に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=128	38.3	57.8	3.9	0.0	-	100.0
	教室に自由に読める本を置くようにする	N=128	21.9	57.0	18.8	2.3	-	100.0
	学校で休み時間や放課後いつでも本を借りられるようにする	N=128	50.0	39.1	7.0	3.9	-	100.0
	学校図書館(図書室)の雰囲気をもっとよくなる	N=128	45.3	43.0	10.2	1.6	-	100.0
	友達同士で読んだ本やおすすめの本を紹介しあう	N=128	53.1	43.0	3.9	0.0	-	100.0
	学校で先生からおすすめの本を紹介する	N=128	43.8	50.0	6.3	0.0	-	100.0
	世の中の高校生がどのような本を読んでいるのかを紹介する	N=128	28.9	57.8	13.3	0.0	-	100.0
	本を読むことの意味や効果を明確に示す	N=128	25.8	46.9	25.0	2.3	-	100.0
	自分で調べて発表する授業を多くする	N=128	29.7	49.2	20.3	0.8	-	100.0
	授業で学校図書館(図書室)をもっと活用する	N=128	29.7	58.6	10.9	0.8	-	100.0
	学校で生徒みんなが必ず読書する時間をつくる(時間を増やす)	N=127	31.5	48.0	18.1	2.4	-	100.0
	地域の図書館に高校生が好む本をもっと置くようにする	N=128	8.6	50.8	36.7	3.9	-	100.0
	図書館での本の貸し出しをもっと便利にする	N=128	13.3	40.6	41.4	4.7	-	100.0
	様々な場所で図書館の本の予約・受取・返却ができるようにする	N=126	14.3	42.1	35.7	7.9	-	100.0
	地域の図書館を増やしたり移動図書館を行ったりする	N=128	13.3	43.0	37.5	6.3	-	100.0
	高校生がゆっくり本を読める場所を増やす	N=128	25.8	50.8	22.7	0.8	-	100.0
電子書籍をもっと普及させる	N=128	3.1	25.8	57.0	14.1	-	100.0	
本の値段をもっと安くする	N=128	26.6	46.1	21.1	6.3	-	100.0	